

保健学部

臨床検査技術学科	127
健康福祉学科	133
救急救命学科	137
看護学科・看護学専攻	
基礎・在宅看護学研究室	137
成人・高齢者看護学研究室	138
母子看護学研究室	138
助産学研究室	138
小児看護学研究室	138
地域看護学研究室	138
精神看護学研究室	140
医療科学Ⅰ研究室	140
医療科学Ⅱ研究室	140
看護学科・看護養護教育学専攻	141
臨床工学科	144
理学療法学科	148
作業療法学科	152
診療放射線技術学科	155

● 臨床検査技術学科 ●

相磯 聡子

講演

1. 上田真樹子, 大西宏明, 大塚弘毅, 渡邊卓, 苅田真, 横山琢磨, 相磯聡子: 肺癌患者血清におけるmiR-21 isoform分子の検出. 第64回日本臨床検査医学会学術集会, 京都, 2017年11月16-19日.
2. 相磯聡子, 上田真樹子, 新井星華, 稲井朱里, 近藤晴彦, 大塚弘毅, 大西宏明: 肺腺癌切除前後の患者血中microRNAのdeep sequencingによる解析. 第46回杏林医学会総会, 三鷹, 2017年11月18日.
3. 相磯聡子, 上田真樹子, 大塚弘毅, 苅田真, 横山琢磨, 松木奈央子, 大西宏明: 肺癌切除前後の血中濃度比較に基づく4種の早期肺癌診断マーカー候補マイクロRNAの評価. 第40回日本分子生物学会年会, 神戸, 2017年12月6-9日.

石井 和夫

講演

1. 木下瑞貴, 小原映, 細田香織, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: きな粉摂取後のヒト血漿中equolとその抱合代謝物の分析. 日本食品化学学会第23回総会・学術大会, 志摩, 2017年6月1-2日.
2. Shibasaki-Hirano H, Adachi R, Yamagata A, Hirano R, Yokokawa A, Hosoda K, Obara A, Ishii K, Furuta T: A sensitive LC-MS/MS method for quantification of fluticasone propionate in human plasma after intranasal administration. 15th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring & Clinical Toxicology, Kyoto, September 24th-27th, 2017.
3. 小原映, 木下瑞貴, 石井和夫: 大豆イソフラボン抱合代謝物は月経周期にどのような影響を及ぼすのか. 第46回杏林医学会総会, 三鷹, 2017年11月18日.
4. 木下瑞貴, 小原映, 細田香織, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: LC-MS/MS によるEquol とその光学異性体を含む抱合代謝物の分析の検討. 日本薬学会第138年会, 金沢, 2018年3月25-28日.

大迫 俊二

講演

1. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉内濾胞星状細胞の新規マーカーの探索. 第90回日本内分泌学会学術総会, 京都, 2017年4月20-22日.
2. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉のS100β陽性細胞が発現するCD抗原の解析. 第32回日本下垂体研究会学術集会, 日光, 2017年8月2-4日.
3. Horiguchi K, Nakakura T, Tsukada T, Yoshida S, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Kato T, Kato Y: Analysis of a novel gene expressed by S100β-positive cells in rat anterior lobe of the pituitary. Fourth World Congress of Reproductive Biology, Ginowan, September 27th-29th, 2017.
4. Ito S, Horiguchi K, Ohsako S, Tanaka K: Cloning and localization of serotonin receptor type I in *Marsupinaeus japonicus*. 第39回日本比較生理生化学会, 福岡, 2017年11月25-26日.
5. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子,

長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: ラット下垂体前葉の*Sox2*を発現するS100β陽性細胞の単離. 第123回日本解剖学会学術総会, 武蔵野, 2018年3月28-30日.

6. 大木翔太, 大迫俊二, 瀧上周: 嗅球の神経活動に対するストレスの影響. 第123回日本解剖学会学術総会, 武蔵野, 2018年3月28-30日.

加藤 英世

講演

1. 加藤英世: いのちの教育第一回. 八王子中学高等学校, 八王子, 2017年4月8日.
2. 加藤英世: 音楽と健康. 練馬西児童館, 東京, 2017年5月3日.
3. 加藤英世: いのちの教育第二回. 八王子中学高等学校, 八王子, 2017年7月19日.
4. 加藤英世: 高齢者のQOLを高める音楽の活用. あきる野, 2017年9月16日.
5. 加藤英世: 養護教諭の研究の意義と方法 (1). 神奈川県教育委員会, 相模原, 2017年9月21日.
6. 加藤英世: 養護教諭の研究の意義と方法 (2). 神奈川県教育委員会, 相模原, 2017年10月1日.
7. 加藤英世: 高齢者のQOLを高める音楽の活用. 三鷹市老人クラブ連合会, 三鷹, 2017年10月21日.
8. 加藤英世: 幼児の感染症. 八王子中村学園なかの幼稚園, 八王子, 2017年10月28日.
9. 加藤英世: 養護教諭の研究の意義と方法 (3). 神奈川県教育委員会, 相模原, 2017年12月12日.
10. 加藤英世: 中学生への性教育の課題. 八王子市立第四中学校, 八王子, 2018年2月15日.
11. 加藤英世: 中学生への命の教育一性の知識を深める一. 八王学園八王子中学校, 八王子, 2018年3月22日.

小林 治

講演

1. 小林治: 感染症を巡る保険診療の適正化. 第91回日本感染症学会総会・学術講演会 第65回日本化学療法学会学術集会合同学会, 東京, 2017年4月6日.
2. 小林治: エボラウイルス病に対するFavipiravirの有効性. 第91回日本感染症学会総会・学術講演会 第65回日本化学療法学会学術集会合同学会, 東京, 2017年4月7日.
3. 小林治: いまさら聞けない保険診療. 杏林大学医学部同窓会学術講演会, 東京, 2017年4月22日.
4. 小林治: 日本のHIV診療 したい事・できない事. 鳥居薬品社内講演会, 東京, 2017年4月27日.
5. 小林治: かぜ診療の注意点. 多摩感染症セミナー, 東京, 2017年5月20日.
6. 小林治: 高齢者肺炎の予防戦略. ワクチンセミナー in YOTSUYA, 東京, 2017年7月6日.
7. 小林治: いまさら聞けない保険診療. 杏林大学医学部同窓会静岡支部講演会, 掛川, 2017年8月26日.
8. 小林治: 感染対策で問題となるワクチン関連疾患; 現状・課題「インフルエンザ」. 2017年度ICD講習会, 東京, 2017年9月18日.
9. 小林治: 今なぜ, 感冒や肺炎に注目すべきか. 第66回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第64回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会, 東京, 2017年11月1日.

- 小林治：風邪診療における抗菌療法．小平市医師会講演会，東京，2018年1月18日．

論文

- 小林治：高齢者への抗インフルエンザ薬早期使用の問題点は？．日本医事新報 4870: 60-61, 2017.
- 小林治：善き臨床医，善き保険医．都医ニュース 619: 4, 2017.
- 北村浩，井戸田一朗，岡山香里，大河戸光章，佐野彰彦，佐野麻里子，小林治，河合伸，古瀬純司：拡大肛門鏡検査によるHIV陽性者の肛門管上皮内病変の診断と治療．日本エイズ学会誌 20(1): 25-31, 2018.

著書

- 小林治：呼吸器感染症の予防内服．最新医学別冊 診断と治療のABC 129 呼吸器感染症．川名明彦企画．大阪，最新医学社，2017．p.239-242.

島田 厚良

講演

- 古川絢子，柿田明美，千葉陽一，樋口善博，亀山茂樹，島田厚良：内側側頭葉てんかん患者の海馬硬化組織におけるタンパク質発現変動解析．第58回日本神経病理学会総会，東京，2017年6月2日．
- 島田厚良，石井さなえ，今村文昭：鼻腔の持続的感染性炎症が嗅球のシナプス減少とグリオーシスを誘発する組織変化の解析．第58回日本神経病理学会総会，東京，2017年6月2日．

論文

- Hasegawa-Ishii S, Shimada A, Imamura F¹ (Pennsylvania State University): Lipopolysaccharide-initiated persistent rhinitis causes gliosis and synaptic loss in the olfactory bulb. Sci Rep 7:11605, 2017. DOI: 10.1038/s41598-017-10229-w.
- Shimada A, Hasegawa-Ishii S: Histological architecture underlying brain-immune cell-cell interactions and the cerebral response to systemic inflammation. Front Immunol 8: 17, 2017. DOI: 10.3389/fimmu.2017.00017.
- Zouikr I¹, Hasegawa-Ishii S, Shimada A (RIKEN): Neuroimmune interface in health and diseases [Editorial]. Fron Immunol 8: 1315, 2017. DOI: 10.3389/fimmu.2017.01315.

著書

- Zouikr I, Hasegawa-Ishii S, Shimada A eds. : Neuroimmune interface in Health and Diseases. Frontiers Media. Switzerland , 2017. DOI: 10.3389/978-2-88945-378-8; ISBN: 978-2-88945-378-8 [E-book].

田口 晴彦

講演

- 蔵田訓，大崎敬子，米澤英雄，花輪智子，田口晴彦，神谷茂：in vitroにおけるMycoplasma pneumoniae抗原感染とTh2免疫応答．第91回日本感染症学会総会・学術講演会，東京，2017年4月6-8日．
- Oka K, Osaki T, Hanawa T, Kurata S, Takahashi M, Tanaka M, Taguchi H, Kamiya S: Establishment of Clostridium difficile associated diarrhea rat model and evaluation of the effects of Clostridium butyricum. The Joint Congress of The 19th International Symposium on Gnotobiology, The 50th

Congress of Japanese Association of Germfree Life and Gnotobiology, and The 39th Congress of the Society for Microbial Ecology and Diseases, Tokyo, June 7th-10th, 2017.

- Osaki T, Tokunaga K, Yonezawa H, Takahashi M, Oka K, Zaman C, Hojo F, Kurata S, Hanawa T, Taguchi H, Kamiya S: The impact of Helicobacter pylori infection on gastric microbiota. The Joint Congress of The 19th International Symposium on Gnotobiology, The 50th Congress of Japanese Association of Germfree Life and Gnotobiology, and The 39th Congress of the Society for Microbial Ecology and Diseases, Tokyo, June 7th-10th, 2017.
- Takahashi M, Osaki T, Hanawa T, Kurata S, Oka K, Taguchi H, Kamiya S: Antagonistic activity against Salmonella enterica serovar Enteritidis infection in vitro and in vivo by the probiotic bacterium Clostridium butyricum MIYAIRI 588 strain. The Joint Congress of The 19th International Symposium on Gnotobiology, The 50th Congress of Japanese Association of Germfree Life and Gnotobiology, and The 39th Congress of the Society for Microbial Ecology and Diseases, Tokyo, June 7th-10th, 2017.
- Kurata S, Osaki T, Yonezawa H, Hanawa T, Taguchi H, Kamiya S: Enhanced effect of Mycoplasma pneumoniae antigens on asthmatic cytokine responses by murine splenocytes. The Joint Congress of The 19th International Symposium on Gnotobiology, The 50th Congress of Japanese Association of Germfree Life and Gnotobiology, and The 39th Congress of the Society for Microbial Ecology and Diseases, Tokyo, June 7th-10th, 2017.
- 田口晴彦：マイコプラズマ肺炎の発症メカニズムとその制御．第24回マクロライド新作用研究会，東京，2017年7月21-22日．
- 蔵田訓，大崎敬子，米澤英雄，花輪智子，田口晴彦，神谷茂：マウスを用いたMycoplasma pneumoniae菌体抗原感染によるTh2ケモカイン産生誘導についての検討．第91回日本細菌学会総会，福岡，2018年3月27-29日．

論文

- 高橋志達¹，田口晴彦，神谷茂² (1ミヤリサン製薬株式会社，2杏林大学・医・感染症学講座)：Clostridium difficile 感染症(CDI)と腸内細菌叢-プロバイオティクスの作用一．日本臨床腸内微生物学会誌19: 31-34, 2017.

その他

- 田口晴彦：「腸から始まる健康ライフ」腸内環境と免疫について解説，TBSラジオ，2017年4月3日．
- 田口晴彦：「腸から始まる健康ライフ」腸内環境と免疫について解説，TBSラジオ，2017年4月10日．
- 田口晴彦：「腸から始まる健康ライフ」腸内環境と免疫について解説，TBSラジオ，2017年4月17日．
- 田口晴彦：「腸から始まる健康ライフ」腸内環境と免疫について解説，TBSラジオ，2017年4月24日．

田中 浩輔

講演

- 伊藤慎，堀口幸太郎，大迫俊二，田中浩輔：Cloning and localization of serotonin receptor type I in Marsupenaeus japonicus. 第39回日本比較生理生化学会大会，福岡，2017年11月25-26日．

論文

- 田中浩輔，船木省吾，伊藤慎：クルマエビ(Marsupenaeus japonicus)の交連神経節のアミン作動性ニューロン．杏

林大学研究報告 35: 39-46, 2018.

中島 哲

講演

1. 中島哲: Next-step心電図を読んで心エコーを究める. 超音波からのメッセージ第37話シーズン2, 東京, 2017年10月30日.
2. 中島哲: 心エコーから心機能を読む. 超音波からのメッセージ第38話シーズン2, 東京, 2017年11月13日.
3. 雨宮諒, 原島敬一郎, 鈴木菜穂, 高橋里奈, 松島里穂, 横山加奈, 政井悠希, 小林昌永, 中島哲, 岸野智則: 食事摂取が血管内皮機能検査RH-PATにおよぼす影響. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.
4. 関根彩華, 原島敬一郎, 中島哲, 小林昌永, 木暮英輝, 渡辺篤志, 嶋津秀昭, 岸野智則: 圧力と時間の可変機能つき持続加圧装置の開発. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.
5. 政井悠希, 原島敬一郎, 久我春菜, 小椋さわの, 石関彩乃, 小林昌永, 中島哲, 岸野智則: 朝食が昼食後の血流動態におよぼす影響—超音波検査による検討—. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.
6. 中島哲: 誰にでもわかる心電図の読み方と心エコーの役割. 第12回丸の内病院医学セミナー, 松本, 2018年1月25日.
7. 中島哲: 頸部血管超音波検査—異常症例の評価法—. 第15回頸動脈・甲状腺実技スクール超音波検査法フォーラム, 東京, 2018年1月28日.

東 克巳

著書

1. 東克巳(分担執筆): 1.1 形態検査/1.2 血液細胞形態の観察/1.3 顕微鏡写真撮像法. 血液細胞症例集. 日本臨床検査技師会監修. 東京, 丸善出版, 2018. p.3-8/p.9-23/p.24-26.
2. 東克巳(分担執筆): 血液細胞のみかた 2 塗抹標本作製および血液の普通染色. 血液細胞アトラス 第6版. 通山薫, 張替秀郎監修. 東京, 文光堂, 2018. p.7-12.

森田 耕司

講演

1. 森田耕司, 渡辺登, 日暮芳己: *blactx-m*をコードするincFプラスミドおよび*blatEM*をコードするincF-incHハイブリッドプラスミドの宿主域と伝達頻度. 第5回医療危機管理研究会, 千葉, 2018年2月25日.

論文

1. 森田耕司: 臨地実習に臨むその前に①—感染対策と安全対策. MEDICAL TECHNOLOGY 46(2): 173-176, 2018.

渡部 和彦

講演

1. 佐久間美帆, 加藤陽一郎, 村田麻喜子, 新井田素子, 柿田明美, 柴田亮行, 渡部和彦: 熱ショック応答による培養ニューロン内TDP-43細胞質凝集体の形成抑制. 第58回日本神経病理学会総会学術研究会, 東京, 2017年6月1-3日.
2. Watabe K, Kato Y, Murata M, Sakuma M, Niida-Kawaguchi M, Kakita A, Shibata N: Heat shock response suppresses adenovirus-induced TDP-43

aggregate formation in cultured neuronal cells. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, September 19th, 2017.

3. Shibata N, Niida-Kawaguchi M, Kato Y, Noguchi N, Kakita A, Watabe K: Soluble iron accumulation makes microglia to overproduce and release glutamate via aconitase 1, TACE and glutaminase C in ALS spinal cords. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, September 16th-21st, 2017.
4. 佐久間美帆, 加藤陽一郎, 村田麻喜子, 新井田素子, 柿田明美, 柴田亮行, 渡部和彦: HSF1による培養ニューロン細胞質TDP-43凝集体の形成抑制. 第12回臨床ストレス応答学会大会, 東京, 2017年11月4日.
5. 新井田素子, 塚原富士子, 須藤則弘, 山本智子, 澤田誠, 丸義朗, 渡部和彦, 柴田亮行: ミクログリアにおけるALS関連変異SOD1蛋白の除去機構の解明. 第12回臨床ストレス応答学会大会, 東京, 2017年11月4日.
6. 柳澤比呂子, 秋山けい子, 石井智裕, 渡部和彦, 遠藤聖太郎, 河上江美子, 小松雅明, 山元大輔, 衛藤義勝: SPNS1はニーマンピック病C型のオートファジー不全と関連している. 2017年度生命科学系学会合同年次大会, 神戸, 2017年12月6-9日.

論文

1. Ishii T^{1,2}, Kawakami E¹, Endo K¹, Misawa H², Watabe K (1Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, 2Keio University): Formation and spreading of TDP-43 aggregates in cultured neuronal and glial cells demonstrated by time-lapse imaging. PLoS One 12(6):e0179375, 2017. DOI: 10.1371/journal.pone.0179375.
2. Ishii T^{1,2}, Kawakami E¹, Endo K¹, Misawa H², Watabe K (1Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, 2Keio University): Myelinating coculture of rodent stem cell line-derived neurons and immortalized Schwann cells. Neuropathology 37(5):475-481, 2017. DOI: 10.1111/neup.12397.
3. Yanagisawa H¹, Ishii H², Endo K³, Kawakami E³, Akiyama K¹, Watabe K, Komatsu M⁴, Yamamoto D⁵, Eto Y¹ (1Institute for Neurological Disorders, 2Keio University, 3Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, 4Niigata University, 5Tohoku University): L-leucine and SPNS1 coordinately ameliorate dysfunction of autophagy in mouse and human Niemann-Pick type C disease. Sci Rep 7(1):15944, 2017. DOI: 10.1038/s41598-017-15305-9.
4. Niimi N¹, Yako H¹, Takaku S¹, Kato H², Matsumoto T², Nishito Y¹, Watabe K, Ogasawara S³, Mizukami H³, Yagihashi S³, Chung SK⁴, Sango K¹ (1Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, 2Sumitomo Dainippon Pharma Co., Ltd, 3Hiroshima University, 4University of Hong Kong): A spontaneously immortalized Schwann cell line from aldose reductase-deficient mice as a useful tool for studying polyol pathway and aldehyde metabolism. J Neurochem 144:710-722, 2018. doi: 10.1111/jnc.14277.

報告書

1. 渡部和彦, 柿田明美: 熱ショック応答による筋萎縮性側索硬化症(ALS)細胞質凝集体の形成抑制. 平成29年度新潟大学脳研究所「脳神経病理標本資源活用の先端的共同研究拠点」共同利用・共同研究報告書. 2018年3月.
2. 渡部和彦: ラット神経幹細胞由来分化ニューロンのTDP43細胞質凝集体形成に関する研究. 国立研究開発法人物質・材料研究機構平成29年度ナノテクノロジープラットフォーム利用報告書. 2018年3月.

その他

1. 渡部和彦：研究会事務局長：第39回神経組織培養研究会，名古屋，2017年11月7-8日。

瀧上 周

講演

1. 堀口幸太郎，吉田彩舟，藤原研，塚田岳大，加藤たか子，長谷川瑠美，瀧上周，大迫俊二，屋代隆，加藤幸雄：下垂体前葉内濾胞星状細胞の新規マーカーの探索．第90回日本内分泌学会学術総会，京都，2017年4月20-22日。
2. 堀口幸太郎，吉田彩舟，藤原研，塚田岳大，加藤たか子，長谷川瑠美，瀧上周，大迫俊二，屋代隆，加藤幸雄：下垂体前葉のS100β陽性細胞が発現するCD抗原の解析．第32回日本下垂体研究会学術集会，日光，2017年8月2-4日。
3. Horiguchi K, Nakakura T, Tsukada T, Yoshida S, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Kato T, Kato Y: Analysis of a novel gene expressed by S100β-positive cells in rat anterior lobe of the pituitary. Fourth World Congress of Reproductive Biology, Ginowan, September 27th-29th, 2017.
4. 堀口幸太郎，吉田彩舟，藤原研，塚田岳大，加藤たか子，長谷川瑠美，瀧上周，大迫俊二，屋代隆，加藤幸雄：ラット下垂体前葉のSox2を発現するS100β陽性細胞の単離．第123回日本解剖学会学術総会，東京，2018年3月28-30日。
5. 大木翔太，大迫俊二，瀧上周：嗅球の神経活動に対するストレスの影響．第123回日本解剖学会学術総会，東京，2018年3月28-30日。

田中 薫

講演

1. 田中薫：溶媒下におけるノニバミドの安定な配座異性体とその成因．日本薬学会第138年会，金沢，2018年3月27日。

八巻 明子

論文

1. Aiso T, Takigami S, Yamaki A, Ohnishi H¹ (¹Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine) : Degradation of serum microRNAs during transient storage of serum samples at 4°C. Ann. Clin. Biochem. 55(1):178-180, 2018. DOI:10.1177/0004563217704233.

新江 賢

論文

1. Tamari M¹, Orimo K², Motomura K³, Arae K, Matsuda A³, Nakae S⁴, Saito H³, Morita H³, Matsumoto K³, (¹Jikei University School of Medicine, ²Tokyo Women's Medical University, ³National Research Institute for Child Health and Development, ⁴The Institute of Medical Science, The University of Tokyo) : The optimal age for epicutaneous sensitization following tape-stripping in BALB/c mice. Allergol Int. 2018. doi: 10.1016/j.alit.2018.01.003. (Epub ahead of print).
2. Suto H¹, Nambu A², Morita H³, Yamaguchi S², Numata T², Yoshizaki T², Shimura E⁴, Arae K, Asada

Y⁵, Motomura K³, Kaneko M⁶, Abe T⁷, Matsuda A⁵, Iwakura Y⁸, Okumura K¹, Saito H³, Matsumoto K³, Sudo K⁹, Nakae S¹⁰, (¹Juntendo University, ²Institute of Medical Science, University of Tokyo, ³National Research Institute for Child Health and Development, ⁴Juntendo University, ⁵Juntendo University, ⁶RIKEN Center for Life Science Technologies, ⁷RIKEN Center for Life Science Technologies, ⁸Tokyo University of Science, ⁹Tokyo Medical University, ¹⁰University of Tokyo, PREST) : IL-25 enhances TH17 cell-mediated contact dermatitis by promoting IL-18 production by dermal dendritic cells. J Allergy Clin Immunol. 2018. doi: 10.1016/j.jaci.2017.12.1007. (Epub ahead of print).

著書

1. 新江賢，中江進（分担執筆）：第2章第3節 動物モデル．呼吸器疾患 診断治療アプローチ 気管支喘息．三嶋理晃，井上博雅編集．東京，中山書店，2017. p.111-118.

伊藤 慎

講演

1. Ito S, Tanaka K: cloning and localization of serotonin receptor type I in *Marsupenaeus japonicus*. 第39回日本比較生理生化学会，福岡，2017年11月26-27日。

論文

1. 田中浩輔，船本省吾，伊藤慎：クルマエビ(*Marsupenaeus japonicus*)の交連神経節のアミン作動性ニューロン．杏林大学研究報告 35:39-46, 2017.

大河戸 光章

講演

1. 池田葉奈，石井保吉，栗原達哲，岡俊郎，窪田真弓，長田詠美子，大河戸光章，大村峯夫，小田瑞恵，藤井雅彦：シユアパス液状処理細胞診(LBC)法と従来法に出現する異型細胞数の比較検討．第58回日本臨床細胞学会春期大会，大阪，2017年5月27日。
2. 坂本一人，大阪康宏，柴田健雄，岡山香里，大河戸光章，笹川寿之：日本における高リスクHPV型の同定と検診への応用の可能性．第58回日本臨床細胞学会春期大会，大阪，2017年5月27日。
3. 大河戸光章，岡山香里，笹川寿之：HPVE6・E7遺伝子領域をターゲットとした型特異的プライマーによるuniplex PCR アッセイ．第56回日本臨床細胞学会秋期大会，福岡，2017年11月18日。
4. 伊藤千恵子，石井保吉，栗原達哲，窪田真弓，小林綾，稲垣真智子，長田詠美子，池田葉奈，大河戸光章，小田瑞恵，大村峯夫，藤井雅彦：病理組織にて中等度異形成(CIN2)と診断された細胞像の検討．第56回日本臨床細胞学会秋期大会，福岡，2017年11月18日。
5. 岡山香里，大河戸光章：婦人科細胞診におけるin situ PCR法．第56回日本臨床細胞学会秋期大会，福岡，2017年11月19日。

論文

1. Okayama K¹, Okodo M, Kitamura H², Itoda I³ (¹Gumma Paz University, ²Department of Medical Oncology, School of Medicine, Kyorin University, ³Shirakaba Clinic): Significance of the cytological signs of human papillomavirus infection in anal Pap smears of human immunodeficiency virus-infected Japanese men who have sex with men. Asian Pac J Cancer Prev. 18:3173-3178, 2017. DOI:10.22034/APJCP.2017.18.11.3173.

- Okodo M, Okayama K¹, Fukui T², Shiina N³, Caniz T³, Yabusaki H³, Fujii M⁴ (1Gumma Paz University, 2Fukui Maternity Clinic, 3ILABO Cyto STD Laboratory, 4Genki Plaza Medical Center for Health Care): Significance of compression in binucleation while differentiating reactive cellular changes between human papillomavirus and Candida Infections. Asian Pac J Cancer Prev. 18:2507-2511, 2017. DOI:10.22034/APJCP.2017.18.9.2507.
- Yaegashi H¹, Shigehara K¹, Itoda I², Okodo M, Nakashima K¹, Kawaguchi S¹, Namiki, M¹ (1Kanazawa University, 2Shirakaba Clinic): Human papillomavirus prevalence in the anus and urine among HIV-infected Japanese men have sex with men. J Infect Chemother. 23: 621-626, 2017. DOI: 10.1016/j.jiac.2017.06.005.
- Okodo M, Kawamura J¹, Okayama K², Kawai K³, Fukui T⁴, Shiina N⁵, Caniz T⁵, Yabusaki H⁵, Fujii M⁶ (1Higashiyamato Hospital, 2Gumma Paz University, 3Pathology Analysis Center, Central Institute for Experimental Animals, 4Fukui Maternity Clinic, 5ILABO Cyto STD Laboratory, 6Genki Plaza Medical Center for Health Care): Cytological Features Associated with Ureaplasma Urealyticum in Pap Cervical Smear. Asian Pac J Cancer Prev. 18:2239-2242, 2017. DOI: 10.22034/APJCP.2017.18.8.2239.
- 大河戸光章, 岡山香里¹ (群馬パース大学): 受講スイッチをONにする試み. 日本臨床検査学教育学会雑誌 9:163-168, 2017.
- 北村浩¹, 井戸田一朗², 岡山香里³, 大河戸光章, 佐野彰彦¹, 佐野麻里子¹, 小林治, 河合伸¹, 古瀬純司¹ (1杏林大・医・腫瘍内科, 2しらかばクリニック): 拡大肛門鏡検査によるHIV陽性者の肛門管上皮内病変の診断と治療. 日本エイズ学会誌 20:25-31, 2018.
- Okodo M, Okayama K¹, Teruya K, Sasagawa T² (1Gumma Paz University, 2Kanazawa Medical University): Uniplex E6/ E7 PCR method detecting E6 or E7 genes in 39 human papillomavirus types. J Med Virol. 90: 981-988, 2018. DOI:10.1002/jmv.25017.

村田 麻喜子

講演

- Watabe K, Kato Y, Murata M, Sakuma M, Niida-Kawaguchi M, Kakita A, and Shibata N: Heat Shock Response Suppresses Adenovirus-induced TDP-43 Aggregate Formation In Cultured Neuronal Cells. XXIII WORLD CONGRESS OF NEUROLOGY (WCN2017), Kyoto, September 16th-21st, 2017.

菰田 照子

著書

- 菰田照子, 坂内久一 (分担執筆): 細菌編クラミジア科クラミジア感染症の診断. 病原細菌・ウイルス図鑑. 新居志郎, 倉田毅, 林英生, 本田武司, 小田紘, 松本明編集. 札幌, 北海道大学出版会, 2018. p.46-47, p.501-507.

西村 伸大

講演

- 長岡亜季, 富田知子, 西村伸大: シャンプー体操およびグレープフルーツ精油芳香による末梢皮膚温への影響に

ついて. 第24回日本未病システム学会学術総会, 横浜, 2017年11月4-5日.

その他

- 西村伸大: 第24回日本未病システム学会学術総会 評議委員会, 2017年11月4日.

原島 敬一郎

講演

- 竹内菜里奈, 三輪隆, 佐野晃士, 末盛敦子, 高田晴子, 藤原真梨子, 奥村貴子, 原島敬一郎, 秋本孝行, 久米雅彦, 志熊淳平, 伊藤裕郎, 添田仁, 林潤一, 金澤真雄, 小田原雅人: 他の持効型製剤からインスリングルゲンU-300への変更が朝食前血糖値変動(バラツキ)に与える影響. 第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋, 2017年5月18-20日.
- 雨宮諒, 原島敬一郎, 鈴木菜穂, 高橋里奈, 松島里穂渚, 横山加奈, 政井悠希, 小林昌永, 中島哲, 岸野智則: 食事摂取が血管内皮機能検査RH-PATにおよぼす影響. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.
- 関根彩華, 原島敬一郎, 中島哲, 小林昌永, 木暮英輝, 渡辺篤志, 嶋津秀昭, 岸野智則: 圧力と時間の可変機能つき持続加圧装置の開発. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.
- 政井悠希, 原島敬一郎, 久我春菜, 小椋さわの, 石関彩乃, 小林昌永, 中島哲, 岸野智則: 朝食が昼食後の血流動態におよぼす影響—超音波検査による検討—. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.

論文

- Aoto Y, Kishino T, Harashima K, Ohnishi H^{1,2}, Fukuta N, Hashimoto S, Seki M, Shimo Y, Sekiguchi K², Takagi Y², Otaki J, Watanabe T^{1,2} (1Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine, 2Department of Clinical Laboratory, Kyorin University Hospital): Influence of eating breakfast on sonographic examination of the gallbladder. 臨床病理 65(11): 1177-1181, 2017.
- 小野川傑, 山本寛, 原島敬一郎, 東克巳: 臨床検査学教育における「学生の考える力」をどうやって引き出すか入学後早期教育の場合. 臨床検査学教育 9(2):169-176, 2017.

報告書

- 小林昌永, 原島敬一郎, 柿崎明日香, 宮島彩, 橋本茂樹, 西嶋周平, 岸野智則: 【学生リサーチ賞】下肢 arterial stiffness index (ASI) の臨床応用への可能性. 杏林医学会雑誌 48 (第6回学生リサーチ賞・トラベルアワード受賞者 受賞報告): s7, 2017.

堀口 幸太郎

講演

- 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉内濾胞星状細胞の新規マーカーの探索. 第90回日本内分泌学会学術総会, 京都, 2017年4月20-22日.
- 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉のS100β陽性細胞が発現するCD抗原の解析. 第32回日本下垂体研究会学術集会, 日光, 2017年8月2-4日.
- 磯和幸延, 塚田岳大, 吉田彩舟, 舎人勢奈, 紀藤圭治, 堀口幸太郎, 藤原研, 屋代隆, 加藤たか子, 加藤幸雄: マウス下垂体由来のTtT/GF細胞におけるTGFβの作用: SILAC解析法を用いたタンパク質の網羅的な比較定量

解析. 第32回日本下垂体研究会学術集会, 日光, 2017年8月2-4日.

4. 塚田岳大, 磯和幸延, 吉田彩舟, 舎人勢奈, 紀藤圭治, 堀口幸太郎, 藤原研, 屋代隆, 加藤たか子, 加藤幸雄: TtT/GF細胞におけるTGFβの作用: SILACを用いた大規模プロテオーム解析. 第44回日本神経内分泌学会学術集会, 日光, 2017年10月21-22日.
5. Horiguchi K, Nakakura T, Tsukada T, Yoshida S, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Kato T, Kato Y: Analysis of a novel gene expressed by S100β-positive cells in rat anterior lobe of the pituitary. Fourth World Congress of Reproductive Biology, Okinawa, September 27th-29th, 2017.
6. 堀口幸太郎: S100β陽性細胞の多様性. 第44回日本神経内分泌学会学術集会, 相模原, 2017年10月21-22日.
7. Ito S, Horiguchi K, Ohsako S, Tanaka K: Cloning and localization of serotonin receptor type I in *Marsupinaeus japonicus*. 第39回日本比較生理生化学会, 福岡, 2017年11月25-26日.
8. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: ラット下垂体前葉の*Sox2*を発現するS100β陽性細胞の単離. 第123回日本解剖学会学術総会, 東京, 2018年3月28-30日.

論文

1. Nakakura T¹, Suzuki T², Horiguchi K, Fujiwara K³, Tsukada T⁴, Asano-Hoshino A¹, Tanaka H¹, Arisawa K¹, Nishijima Y¹, Nekooki-Machida Y¹, Kiuchi Y¹, Hagiwara H¹ (¹Teikyo University, ²Sapporo Medical University, ³Jichi Medical University, ⁴Toho University): Expression and localization of forkhead 1 box protein FOXJ1 in S100β-positive multiciliated cells of the rat pituitary. Medical molecule Morphol 50(2): 59-67, 2017. DOI: 10.1007/s00795-016-0148-1.
2. Yoshida S¹, Kato T¹, Kanno N¹, Nishimura N¹, Nishihara H¹, Horiguchi K, Kato Y¹ (¹Meiji University): Cell type-specific localization of Ephs pairing with ephrin-B2 in the rat postnatal pituitary gland. Cell Tissue Res 370(1): 99-112, 2017. DOI: 10.1007/s00441-017-2646-4.
3. Tsukada T¹, Yoshida S², Fujiwara K³, Yako H¹, Horiguchi K, Isowa Y², Yashiro T³, Kato T², Kato Y² (¹Toho University, ²Meiji University, ³Jichi Medical University): The non-endocrine mouse pituitary cell line TtT/GF can possess pericyte properties in the presence of TGFβ. Cell Tissue Res 371(2): 339-350, 2017. DOI: 10.1007/s00441-017-2758-x.
4. Yoshida S¹, Nishimura N¹, Yurino H², Kobayashi M¹, Horiguchi K, Yano K¹, Hashimoto S², Kato T¹, Kato Y¹ (¹Meiji University, ²Kanazawa University): Differentiation capacities of PS-clusters, adult pituitary stem/progenitor cell clusters located in the parenchymal-niche, of the rat anterior lobe. PLoS ONE 13(4): e0196029, 2017. DOI: 10.1371/journal.pone.0196029.

報告書

1. 堀口幸太郎: 下垂体前葉の生後発達におけるS100β陽性細胞の挙動, 杏林医学会誌48巻4号, pp.53-54, 2017. 第6回杏林医学会研究奨励賞受賞報告書.
2. 堀口幸太郎: 細胞表面抗原を利用した下垂体前葉組織幹細胞の同定と単離, その分化誘導の探索. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)2017年度 研究実施状況報告書.

その他

1. 堀口幸太郎: 第6回杏林医学会研究奨励賞, 三鷹, 2017年11月18日.

渡辺 登

講演

1. 森田耕司, 渡辺登, 日暮芳己: *blactx-m*をコードするincFプラスミドおよび*blatEM*をコードするincF-incHハイブリッドプラスミドの宿主域と伝達頻度. 第5回医療危機管理研究会, 千葉, 2018年2月25日.

長谷川 瑠美

講演

1. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉内濾胞星状細胞の新規マーカーの探索. 第90回日本内分泌学会学術総会, 京都, 2017年4月20-22日.
2. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉のS100β陽性細胞が発現するCD抗原の解析. 第32回日本下垂体研究会学術集会, 日光, 2017年8月2-4日.
3. Horiguchi K, Nakakura T, Tsukada T, Yoshida S, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Kato T, Kato Y: Analysis of a novel gene expressed by S100β-positive cells in rat anterior lobe of the pituitary. Fourth World Congress of Reproductive Biology, Okinawa, September 27th-29th, 2017.
4. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: ラット下垂体前葉の*Sox2*を発現するS100β陽性細胞の単離. 第123回日本解剖学会学術総会, 武蔵野, 2018年3月28-30日.

上田 真樹子

講演

1. 相磯聡子, 上田真樹子, 新井星華, 稲井朱里, 近藤晴彦, 大塚弘毅, 大西宏明: 肺腺癌切除前後の患者血中microRNAのdeep sequencingによる解析. 第46回杏林医学会総会, 三鷹, 2017年11月18日.
2. 上田真樹子, 大西宏明, 大塚弘毅, 渡邊卓, 荻田真, 横山琢磨, 相磯聡子: 肺癌患者血清におけるmiR-21 isoform分子の検出. 第64回日本臨床検査医学会学術集会, 京都, 2017年11月16-19日.
3. 相磯聡子, 上田真樹子, 大塚弘毅, 荻田真, 横山琢磨, 松木奈央子, 大西宏明: 肺癌切除前後の血中濃度比較に基づく4種の早期肺癌診断マーカー候補マイクロRNAの評価. 第40回日本分子生物学会年会, 神戸, 2017年12月6-9日.

小原 映

講演

1. 木下瑞貴, 小原映, 細田香織, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: きな粉摂取後のヒト血漿中equolとその抱合代謝物の分析. 日本食品化学学会第23回総会・学術大会, 志摩, 2017年6月1-2日.
2. Shibasaki-Hirano H, Adachi R, Yamagata A, Hirano R, Yokokawa A, Hosoda K, Obara A, Ishii K, Furuta T: A sensitive LC-MS/MS method for quantification

of fluticasone propionate in human plasma after intranasal administration. 15th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring & Clinical Toxicology, Kyoto, September 24th-27th, 2017.

- 小原映, 木下瑞貴, 石井和夫: 大豆イソフラボン抱合代謝物は月経周期にどのような影響を及ぼすのか. 第46回杏林医学会総会, 三鷹, 2017年11月18日.
- 木下瑞貴, 小原映, 細田香織, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: LC-MS/MSによるEquolとその光学異性体を含む抱合代謝物の分析の検討. 日本薬学会第138年会, 金沢, 2018年3月25-28日.

● 健康福祉学科 ●

出嶋 靖志

論文

- 鳥尾克二, 出嶋靖志: 観光資源の主観的評価票LVIの開発における行政の観光資源評価項目の調査分析. 日本国際観光学会論文集 25: 113-124, 2018.

著書

- 出嶋靖志: ダブルベース HIYAMA ノート～シマンドル習得のために～16刷. 檜山ノート出版委員会編集. 東京, ドレミ出版, 2017.
- 出嶋靖志: 第4章環境と健康. 衛生学・公衆衛生学第2版第14刷. 鈴木庄亮, 高坂宏一, 出嶋靖志, 笹澤吉明共著. 東洋療法学校協会編集. 東京, 医歯薬出版, 2018. p.71-128.
- 出嶋靖志: 第10章消毒法. 衛生学・公衆衛生学第2版第14刷. 鈴木庄亮, 高坂宏一, 出嶋靖志, 笹澤吉明共著. 東洋療法学校協会編集. 東京, 医歯薬出版, 2018. p.201-216.

照屋 浩司

講演

- 松井知子, 大嶺智子, 岡本博照, 照屋浩司, 角田透: 中学校における学校相談体制の構築(第4報) プレゼンティズムへの教職員と心理職の連携. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 2017年10月31日-11月2日.

論文

- 三宅英司, 八並光信, 倉林準, 照屋浩司: バドミントンの障害に関する疫学的研究. 日本臨床スポーツ医学会誌 25(2): 223-231, 2017.
- Ito Y, Teruya K, Kubota H, Yorozu T, Nakajima E: Factors affecting pain assessment scores in patients on mechanical ventilation. Intensive Crit Care Nurs. 42: 75-79, 2017.
- 竹前理映子, 岡本博照, 照屋浩司: 歯科衛生士専門学校に通う女子学生におけるスマートフォン依存性に関する調査研究. 日本歯科衛生教育学会雑誌 8(2): 69-75, 2017.

著書

- 照屋浩司(編著): 最新臨床検査学講座 公衆衛生学 第1版第4刷. 東京, 医歯薬出版, 2018.
- 照屋浩司(分担執筆): II-II-3.身体活動, 運動. エッセンシャル 社会・環境と健康 第2版第10刷. 高島豊, 櫻井裕編集. 東京, 医歯薬出版, 2018. p.114-119.
- 照屋浩司(分担執筆): II-II-4.喫煙行動. エッセンシャル 社会・環境と健康 第2版第10刷. 高島豊, 櫻井裕編集. 東京, 医歯薬出版, 2018. p.118-125.

松井 知子

講演

- 松井知子: 小規模事業所におけるメンタルヘルスの社内研修の進め方. 東京産業保健総合支援センター, 東京, 2017年5月22日.
- 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント・アンガーマネジメント. 練馬区教育委員会初任者研修会セミナー, 東京, 2017年5月11日.
- 松井知子: レジリエンス: 心と身体つながり. 第24回日本産業精神保健学会, 三鷹, 2017年7月1日.
- 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント(リラクセーション). 狛江市立狛江第一小学校教職員セミナー, 狛江, 2017年8月24日.
- 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント(リラクセーション). 東京都立墨田特別支援学校教職員セミナー, 東京, 2017年8月30日.
- 松井知子: 産業・組織領域におけるメンタルヘルス. 茨城県臨床心理士会研修会, 茨城, 2017年11月5日.
- 松井知子: メンタルヘルスの基礎理解と事例検討, 豊島区教育委員会, 2017年11月14日.
- 松井知子: 小規模事業所におけるメンタルヘルスの社内研修の進め方. 東京産業保健総合支援センター, 東京, 2017年12月11日.
- 松井知子: ユニバーサルデザインの視点から生徒の学力向上を目指した教師の指導力向上, ユニバーサルデザインと公衆衛生学のアプローチ. 羽村市立第一中学校, 羽村, 2018年1月17日.
- 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント・アンガーマネジメント. 日野市教育委員会 新規採用教員セミナー, 日野, 2018年1月18日.
- 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント(リラクセーション). 東京都教育委員会学校栄養職員経験者後期(10年次)セミナー, 東京, 2018年2月15日.
- 松井知子: “もやもや”を折れない心にかえる 働く私のセルフマネジメント. 東京ウィメンズプラザ平成29年度働く女性のメンタルヘルス講演会, 東京, 2018年2月23日.
- 松井知子: メンタルヘルスの基礎理解とストレスマネジメント～ストレスへの対処法を知る～. 社会法人至誠学舎新採研修メンタルセミナー, 東京, 2018年3月7日.

論文

- 松井知子: レジリエンス: 心と身体つながり. 産業精神保健25(4): 243-248, 2017.
- 松井知子: ストレスチェック制度の実施から見えてきたこと, 臨床心理士の立場から(補助面接を含む). 産業精神保健25(特別): 92-94, 2017.

著書

- 吉川晴美, 松井知子(編著): 第1章, 第3章, 第5章. 人間関係の理解と心理臨床 家庭・園・学校・施設・職場の問題解決のために. 東京, 慶應義塾大学出版会, 2017.
- 松井知子(分担執筆): ウェルネスのための教育・研修. 職場のメンタルヘルス100のレシピ. 大西守, 廣尚典, 市川佳居編著. 東京, 金子書房, 2017. p.64-65.

朝野 聡

講演

- 朝野聡: 交流分析とライフスキル(全4回). 船橋市市民大 学校公開講座, 船橋, 2017年8月5・7・12日.

論文

- 朝野聡, 荻津真理子, 亀崎路子, 小松陽香: 養護実習レポートのテキストマイニング分析～小・中・高校の比較

を中心として．杏林大学教職課程年報 5：1-15, 2017.

報告書

1. 古本泰之, 太田ひろみ, 進邦徹夫, 富田泰彦, 赤木美智男, 朝野聡, 千田晋治, 中村勇太: 杏林CCRC構想における教育活動, 平成29年度杏林大学CCRC研究所紀要: 100-114, 2018, 2月

岡本 博照

講演

口演

1. 松井知子, 大嶺智子, 岡本博照, 照屋浩司, 角田透: 中学校における学校相談体制の構築 (第4報) プレゼンティズムへの教職員と心理職の連携. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 2017年10月31日-11月2日.

論文

1. 竹前理映子¹, 岡本博照, 照屋浩司 (¹東京西の森歯科衛生士専門学校): 歯科衛生士専門学校に通う女子学生におけるスマートフォン依存性に関する調査研究. 日本歯科衛生教育学会雑誌 8(2): 69-75, 2017.

著書

1. 岡本博照 (分担執筆): エビデンスに基づく保健対策. エssenシャル 社会・環境と健康 第2版第10刷. 高島豊, 櫻井裕編集. 東京, 医歯薬出版, 2018. p.92-96.
2. 岡本博照 (分担執筆): 飲酒行動. エssenシャル 社会・環境と健康 第2版第10刷. 高島豊, 櫻井裕編集. 東京, 医歯薬出版, 2018. p.125-129.

片桐 朝美

著書

1. 片桐朝美, 大木幸子 (分担執筆): 障害者総合支援法・児童福祉法の改正. 看護volume70,number3. 濱田卓男. 東京, 日本看護協会出版会, 2018. p.73-76.

北林 蒔子

講演

1. 荻根文江, 赤羽敦子, 倉持昌弘, 荻津真理子, 北林蒔子: 小学生を対象に取り組んだ「食育体験学習」の実践報告. 第26回日本健康教育学会, 東京, 2017年6月25日.
2. 北林蒔子, 荻津真理子, 荻根文江, 倉持昌弘, 赤羽敦子: 小学生を対象とした食育体験学習の評価. 第26回日本健康教育学会, 東京, 2017年6月25日.
3. 北林蒔子: 自分でつくる健康「骨粗しょう症」. 小金井公民館貫井北分室 学習室A・B, 小金井, 2017年11月17日.
4. 北林蒔子: 自分でつくる健康「高血圧」. 小金井公民館貫井北分室 学習室A・B, 小金井, 2017年11月24日.
5. 北林蒔子: 子どもの心と身体. 健康～坂東市内小学校で取り組んだ食育から学ぶ～. 坂東市観光交流センター秀緑, 坂東, 2018年2月18日.

下島 裕美

講演

1. 下島裕美, 有馬明恵, 竹下美穂: 少数派は自由記述欄の回答を控えるか—PTA調査の結果を沈黙の螺旋理論から考える—. 日本認知心理学会第15回大会, 東京, 2017年6月4日.
2. 下島裕美, 蒲生忍: 日常生活にちょっと役立つポジティ

ブ心理学. 八王子学園都市大学いちよう塾, 八王子, 2017年6月9, 16, 23, 30日.

3. 蒲生忍, 下島裕美: はじめての死生学. 八王子学園都市大学いちよう塾, 八王子, 2017年6月9, 16, 23, 30日.
4. 下島裕美: 死を考える心理学. 日本心理学会公開シンポジウム, 東京, 2017年8月26日.
5. 下島裕美: 死を考える心理学. 日本心理学会公開シンポジウム, 京都, 2017年9月3日.
6. 蒲生忍, 下島裕美: はじめての死生学. 杏林大学CCRC研究所連続講座, 三鷹, 2017年10月5, 12, 19, 26日.
7. 蒲生忍, 下島裕美, 一場浩美: ポッチャ体験会. 杏林大学CCRC研究所セミナー, 三鷹, 2017年10月10日.
8. 下島裕美, 蒲生忍: 日常生活にちょっと役立つポジティブ心理学. 杏林大学CCRC研究所連続講座, 三鷹, 2017年10月12, 19, 26日.
9. 一場浩美, 蒲生忍, 下島裕美: ポッチャ体験会. 杏林大学CCRC研究所セミナー, 三鷹, 2017年11月14日.
10. 下島裕美: 日常生活にちょっと役立つポジティブ心理学. 杏林大学公開講演会・羽村市講演会, 羽村, 2017年11月18日.
11. 有馬明恵, 下島裕美, 竹下美穂: PTA活動における公平性(1)—一般役員の場合—. 日本発達心理学会第29回大会, 仙台, 2018年3月23日.
12. 下島裕美, 有馬明恵, 竹下美穂: PTA活動における公平性(2)—本部役員・委員長の場合—. 日本発達心理学会第29回大会, 仙台, 2018年3月23日.

論文

1. 下島裕美, 大家まゆみ¹, 有馬明恵¹ (¹東京女子大): 教職実践演習(養護教諭)における「発達障害と母国語や貧困の問題等による特別の教育的ニーズ」に関する大学生の視点. 杏林教職課程年報 5: 17-25, 2017.
2. 下島裕美, 大家まゆみ¹, 稲垣勉² (¹東京女子大, ²鹿児島大): 男女共同参画社会を実現する大学のキャリア教育—ワールド・カフェによる大学生の“主体的・対話的で深い学び”を育む試み—. 東京女子大教職・学芸員課程研究 創刊号: 13-23, 2018.
3. 有馬明恵¹, 下島裕美, 竹下美穂¹ (¹東京女子大): PTA活動における負担の公平性: 母親たちが共有する規範. 東京女子大学紀要論集 68(2): 85-104, 2018.
4. 有馬明恵¹, 竹下美穂¹, 下島裕美 (¹東京女子大): 母親役割を強化する装置としての公立学校のPTA活動. 東京女子大学女性学研究所Women's Studies研究報告 39: 1-59, 2018.
5. Shimojima, Y, McCormick, RT¹, Ishikawa, S² (¹University of Washington, ²School of Medicine, Kyorin University): Guided Death Experience increases Zimbardo time perspective inventory scores. 杏林大学研究報告教養部門 35: 73-83, 2018.

竹田 里江

講演

1. 水口克信, 竹田里江, 池田望: 断酒アルコール依存症者における社会的認知機能～断酒者と飲酒者の比較から～. 第48回北海道作業療法学会, 札幌, 2017年6月10-11日.
2. 水口克信, 竹田里江, 池田望: 断酒アルコール依存症者の心の理論と脳活動. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月22-24日.
3. 今勝彦, 土谷里織, 太田久晶, 竹田里江: 左半側空間無視を呈した脳梗塞患者に対するコンピュータを用いた認知機能訓練G-DR taskの効果. 第51回日本作業療法学会,

東京, 2017年9月22-24日.

4. 阿部友子, 竹田里江, 山下聖子: 作業遂行中の精神疲労に対する会話の有用性の検討—NIRSによる検討—. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月22-24日.
5. Morimoto T, Ichihara-Takeda S, Matsuyama K, Ikeda N: Factors related to overestimation and underestimation toward cognitive task performance in patients with schizophrenia. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, Taiwan, 2017年10月20-22日.
6. Sawada I, Ichihara-Takeda S, Ikeda N, Kuroda M, Morimoto T, Ukai W, Matsuyama K: Parenting support needs of mothers visiting a mental clinic for treatment and changes after participating in the group positive parenting group. EAFONS 2017, Korea, 2018年1月11-12日.

論文

1. 竹田里江: わかりやすい論文を書くために—文献の読み方・使い方— 第8回「文献抄読は先人から託されたバトンを丁寧に紐解く作業」. 作業療法36: 142-147, 2017.
2. 村上元¹, 森元隆文², 竹田里江, 西山薫³, 池田望² (1札幌医大, 2札幌医大, 3北星学園大学): 発達障害 (大人)の方のうつ 発達障害とともにうつ症状を患う場合の作業療法. 臨床作業療法14: 106-109, 2017.

その他

1. Sawada I, Ichihara-Takeda S, Ikeda N, Kuroda M, Morimoto T, Ukai W, Matsuyama K: Best Presentation Award, EAFONS 2017, Korea, January 12th, 2018.

古川 佳子

講演

1. Kubota Y, Akimoto M, Furukawa K, Ito J, Tanaka T: A second-person approach through a simulated sandplay therapy session. The 18th International Congress of Neuropsychology, U.K., July 14th-15th, 2017.
2. 秋本倫子, 古川佳子, 伊藤淳子: 脳から見た箱庭療法—箱庭制作から制作後インタビューまで—. 日本箱庭療法学会第31回大会, 東京, 2017年10月8日.
3. 秋本倫子, 古川佳子, 伊藤淳子, 久保田康孝: 箱庭療法における脳活動の計測 その2—個人の特性と相互作用—. 心理臨床学会第36回大会, 横浜, 2017年11月19日.

論文

1. Akimoto M¹, Furukawa K, Ito J² (1Toyo Eiwa University, 2Sanno Institute of Psychology): Exploring the Sandplayer's Brain: A Single Case Study. 箱庭療法学研究 30(3):73-84, 2018.

荻津 真理子

講演

1. 荻根文江, 赤羽敦子, 倉持昌弘, 荻津真理子, 北林蒔子: 小学生を対象に継続的に取り組んだ「食育体験学習」の実践報告. 第26回日本健康教育学会学術大会, 東京, 2017年6月24-25日.
2. 北林蒔子, 荻津真理子, 荻根文江, 倉持昌弘, 赤羽敦子: 小学生を対象とした食育体験学習の効果. 第26回日本健康教育学会学術大会, 東京, 2017年6月24-25日.
3. 鈴木みゆき, 工藤宣子, 稲垣尚美, 宇田川和子, 荻津真理子, 西連寺江里子, 砂村京子, 妻鹿智晃, 山田夕美子: 学校管理下で負傷した子どもを医療機関に受診させる際

の対応モデルの構築—養護教諭の対応事例から—. 日本学校救急看護学会第12回学術集会, 千葉, 2017年11月25-26日.

4. 荻津真理子, 安藝敦子, 砂村京子, 高橋朋子: 学校救急看護のコアコンピテンシーの検討—第1報 文献研究— (中間報告). 日本学校救急看護学会第12回学術集会, 千葉, 2017年11月25-26日.

論文

1. 朝野聡¹, 荻津真理子, 亀崎路子², 小松陽香³ (1杏林大学保健学部健康福祉学科, 2杏林大学保健学部看護学科看護養護教育学専攻, 3立教大学): 養護実習レポートのテキストマイニング分析—小・中・高校の比較を中心として—. 杏林大学教職課程年報 4: 5-15, 2017.
2. 工藤宣子¹, 鈴木みゆき², 稲垣尚美³, 宇田川和子⁴, 荻津真理子, 西連寺江里子⁵, 砂村京子⁶, 妻鹿智晃⁶, 山田夕美子⁷ (1千葉大学, 2養護実践研究センター, 3湘南医療大学, 4千葉県立柏高等学校, 5茨城県筑西市立明野中学校, 6東京医療保健大学, 7千葉県四街道市立四街道中学校): 学校管理下で負傷した子どもを医療機関に受診させる際の対応モデルの構築—養護教諭の対応事例から—. 学校救急看護研究 11(1): 71-80, 2018.
3. 砂村京子¹, 荻津真理子, 安藝敦子², 高橋朋子³, 藤島祥子⁴, 関健介⁵, 稲垣尚美⁶, 妻鹿智晃¹, 湯原裕子⁷, 渡辺美恵⁸ (1東京医療保健大学, 2養護徳島文理中学校・高等学校, 3養護実践研究センター, 4大和郡山市立郡山南中学校, 5杏林大学保健学部診療放射線技術学科, 6湘南医療大学, 7龍ヶ崎市立長山中学校, 8愛知みずほ大学短期大学部): 学校救急看護のコアコンピテンシーの検討 (中間報告). 学校救急看護研究 11(1): 81-85, 2018.

関澤 浩一

講演

1. Sekizawa K, Kato T, Hiraoka A, Shirao M, Tanabe H: Inhibitory effects of various antioxidants on bleomycin-induced chromosomal aberrations. The 68th Annual Meeting of the Society of Chromosome Research, Higashi-Hiroshima, October 5th-7th, 2017.

論文

1. 関澤浩一, 平岡厚¹, 白尾美佳² (1株式会社バイオリサーチ, 2実践女子大学生活科学部): プレオマイシンのFenton反応によるヒト末梢血リンパ球の染色体異常誘発に及ぼす諸抗酸化剤の抑制効果について—培養細胞系を用いた検討—. 日本未病システム学会雑誌 23(2): 11-22, 2017.
2. 関澤浩一, 亀崎路子¹, 海谷千波², 渡辺剛³ (1杏林大学保健学部, 2杏林大学外国語学部, 3杏林大学総合政策学部): 三鷹市・羽村市の小中学校におけるインターンシップ実践報告—養護教諭を目指す杏林大学保健学部のインターンシップ実施学生を対象とした質問紙調査および活動報告書から—. 杏林教職課程年報 4: 85-95, 2017.
3. 亀崎路子¹, 関澤浩一, 海谷千波², 渡辺剛³ (1杏林大学保健学部, 2杏林大学外国語学部, 3杏林大学総合政策学部): 三鷹市・羽村市の小中学校におけるインターンシップ実践報告—養護教諭志望学生の学校体験活動を通じた学びの成果と課題—. 杏林教職課程年報 5: 67-78, 2017.

三浦 大志

講演

1. 三浦大志: 再認判断基準の個人差とリベレーション効果の関連. 日本認知心理学会第15回大会, 東京, 2017年6

月3-4日。

- 伊東裕司, 三浦大志, 島根大輔: 見誤りによる人違い現象の解明に向けて: 目撃した人物を別の既知人物と間違える現象について。日本心理学会第81回大会, 久留米, 2017年9月20-22日。
- 三浦大志: 決められないと不幸になる?: 優柔不断と幸福度の関連。日本心理学会第81回大会, 久留米, 2017年9月20-22日。
- 三浦大志: 直前の無関連課題が記憶判断を変える: リベレーション効果とメタ認知の関係。日本心理学会第81回大会, 久留米, 2017年9月20-22日。
- 松尾加代, 三浦大志: 想起の場所が目撃者遂行型調査に及ぼす影響。法と心理学会第18回大会, 東京, 2017年10月14-15日。
- 島根大輔, 三浦大志, 伊東裕司: 見間違いによる人違い現象の解明に向けた研究一日誌法によるアプローチ。日本基礎心理学会第36回大会, 茨木, 2017年12月1-3日。
- Shimane D, Miura H, Itoh Y: Person misidentification: Discussion on the reliability of eyewitness testimonies that testify about witnessing acquaintances. The 11st East Asian Psychology and Law Conference, Taiwan, December 15th-17th, 2017.
- 三浦大志: 「注意」機能をつなぐー発達・学習・認知・知覚・神経心理学から見た視覚的な注意の捉え方ー。日本発達心理学会第29回大会, 仙台, 2018年3月23-25日。

論文

- Matsuo K¹, Miura H (1Keio Advanced Research Centers): Effectiveness of the Self-Administered Interview and drawing pictures for eliciting eyewitness memories. Psychiatry, Psychology and Law 24: 643-654, 2017.
- 松尾加代¹, 三浦大志 (1慶應義塾大学先端研究センター): 目撃証言を得るための新技法ー目撃者遂行型調査(Self-Administered Interview©: SAI©) の紹介ー。法と心理 17: 77-85, 2017.
- Miura H, Itoh Y¹ (1Keio University): The revelation effect occurs whether or not working memory is occupied. Psychology 9: 204-216, 2018.

井上 敦

論文

- 古本泰之, 井上晶子, 井上敦他: 災害に備えるまちづくり。杏林CCRC研究所紀要 4: 127-137, 2018.

津田 美智子

講演

- 関健介, 津田美智子, 後藤恭一, 金子哲也: 可搬型液体シンチレーション検出器による飲料水中³H定量分析に関する基礎的研究。第75回日本公衆衛生学会学術集会, 鹿児島, 2017年10月31日-11月2日。

著書

- 津田美智子 (分担執筆): 第107回看護師国家試験対策 Pre Test 107-2nd. 株式会社TECOM, 東京, TECOM, 2017. p.309,315,350,401,447,484,502.
- 津田美智子 (分担執筆): 第107回看護師国家試験対策 Pre Test 107-3nd. 株式会社TECOM, 東京, TECOM, 2017. p.553,560,620,625,627,484,763.
- 津田美智子 (分担執筆): 第107回看護師国家試験対策 必修スピードテスト. 株式会社TECOM, 東京, TECOM, 2017. p.28,31,50,52,106,156,157.

平澤 愛

講演

- 平澤愛, 柴田茂貴, 永井久美子, 宮澤太機, 小柴ひとみ, 神崎恒一: 病型別にみた認知症と動脈硬化の関係。第59回日本老年医学会大会, 名古屋, 2017年6月14-16日。
- 宮澤太機, 柴田茂貴, 永井久美子, 平澤愛, 小柴ひとみ, 神崎恒一: 認知症の病型と伝達関数解析から評価した脳血流自己調節機能の関連性。第59回日本老年医学会大会, 名古屋, 2017年6月14-16日。
- 小柴ひとみ, 永井久美子, 平澤愛, 柴田茂貴, 海老原孝枝, 神崎恒一: もの忘れ外来初診患者におけるフレイルの有症率と評価方法による差異。第59回日本老年医学会大会, 名古屋, 2017年6月14-16日。
- 永井久美子, 小柴ひとみ, 平澤愛, 柴田茂貴, 神崎恒一: 高齢者において血清カルニチン値の低下は転倒や歩行機能低下に関連する。第59回日本老年医学会大会, 名古屋, 2017年6月14-16日。
- 永井久美子, 平澤愛, 宮澤太機, 柴田茂貴, 小柴ひとみ, 神崎恒一: 高齢患者における動脈硬化危険因子の集積と脳血流動態との関連。第49回日本動脈硬化学会学術集会, 広島, 2017年7月6-7日。
- 平澤愛, 須田智也, 平吹一訓, 植地貴弘, 畑典孝, 佐野勇貴, 松田剛明, 柴田茂貴: 脳血流自動調節能と繰り返す失神の関係。第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月16-18日。
- 須田智也, 平吹一訓, 畑典孝, 佐野勇貴, 植地貴弘, 平澤愛, 松田剛明, 柴田茂貴: 3次元心臓超音波診断装置を用いた運動群と非運動群における左心室心筋ストレインの比較。第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月16-18日。
- 畑典孝, 平吹一訓, 須田智也, 佐野勇貴, 植地貴弘, 平澤愛, 松田剛明, 柴田茂貴: 3次元心臓超音波法で測定した左室容量と心機能の再現性。第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月16-18日。
- 平吹一訓, 須田智也, 畑典孝, 佐野勇貴, 植地貴弘, 平澤愛, 松田剛明, 柴田茂貴: 若年者における運動経験と失神症候に関するアンケート調査。第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月16-18日。
- Hirasawa A, Shibata S: Relationship between cerebrovascular arteriosclerosis and cognitive impairment. 第95回日本生理学会大会シンポジウム, 高松, 2018年3月28-30日。

論文

- Ogoh S, Hirasawa A, de Abreu S, Denise P, Normand H: Internal carotid, external carotid and vertebral artery blood flow responses to 3 days of head-out dry immersion. Experimental Physiology. 102(10): 1278-1287, 2017.
- Tomoto T, Sugawara J, Hirasawa A, Imai T, Maeda S, Ogoh S: Impact of Short-Term Training Camp on Aortic Blood Pressure in Collegiate Endurance Runners. Front Physiol. 2018. DOI: 10.3389/fphys.2018.00290.

その他

- 平澤愛: 第6回杏林医学会研究奨励賞, 三鷹, 2017年11月18日。

東宮 繁人

講演

- 東宮繁人, 田村優樹, 町田修一, 中里浩一: マウス下腿ギプス固定は体脂肪量を減少させる。第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月16-18日。

論文

1. Tomiya S, Kikuchi N¹, Nakazato K¹ (Nippon Sport Science University): Moderate Intensity Cycling Exercise after Upper Extremity Resistance Training Interferes Response to Muscle Hypertrophy but Not Strength Gains. J Sports Sci Med, 16(3):391-395, 2017.

● 救急救命学科 ●

阪本 奈美子

講演

1. 阪本奈美子: Japanese styleその後. 第12回青森県死後画像研究会, 板柳町, 2018年2月23日.

山田 賢治

講演

1. 吉澤貴弘, 山田賢治, 関谷繁樹, 佐藤文香: Angular stability による橈骨遠位端骨折の整復における Subchondral support pin1列群, 2列群の効果比較. 第60回日本手外科学会学術集会, 名古屋, 2017年4月27日.
2. 山田賢治: 四肢出血に対する止血剤使用について. 杏林救命士会 第6回卒後研修会, 三鷹, 2017年8月9日.
3. 山田賢治: 止血の病態と止血の理論. テロ災害等の対応力向上としての止血に関する試行教育プログラム, 藤沢, 2017年11月8日.
4. 山田賢治: 止血の病態と止血の理論. テロ災害等の対応力向上としての止血に関する試行教育プログラム, 千葉, 2017年11月30日.
5. 山田賢治: 重症熱傷に合併した手熱傷の治療について～重症感染症治療を背景として. 第48回香川整形外科セミナー, 高松, 2018年2月10日.
6. 山田賢治: 止血帯について. 第10回杏林救急セミナー(症例検討会), 三鷹, 2018年2月16日.

論文

1. 佐藤文香¹, 野村英介¹, 吉澤貴弘¹, 関谷繁樹¹, 山田賢治 (赤心堂病院整形外科): 伸筋腱が陥入し整復阻害因子となっていた小児橈骨遠位端骨折の1例. 骨折 39: 920-924, 2017.
2. 吉澤貴弘¹, 山田賢治, 関谷繁樹¹, 佐藤文香¹ (赤心堂病院整形外科): プレートの Angular stability を利用した橈骨遠位端骨折背側転位例の関節面整復における Subchondral support pin 1列群2列群の効果比較. 日本手外科学会雑誌 34: 991-996, 2018.

森 数美

論文

1. 森数美: 単極性うつ病における臨床症状と局所脳血流量との関連. 杏医会誌 48(4): 119-127, 2017.

● 看護学科・看護学専攻 ●

基礎・在宅看護学研究室

講演

1. 柴崎美紀: 看護教育における栄養教育に関する現状と課題. 第9回日本静脈経腸栄養学会首都圏支部学術集会,

横浜, 2017年5月27日.

2. 山本君子, 佐藤智子, 佐藤ユキ子, 太田淳子, 清水典子, 吉村純子: 介護福祉士を目指す学生が捉える“その人らしさ”. 日本マネジメント学会第16回研究大会, 名古屋, 2017年6月15-16日.
3. 荒添美紀, 天野雅美, 齊藤茂子, 金子多喜子: 中堅看護師の職場で求められている能力. 日本看護管理学会学術集会第21回大会, 横浜, 2017年8月19-20日.
4. 中島恵美子, 加賀谷聡子, 森下純子, 吉井真美, 量倫子, 柴崎美紀, 熊野奈津美: がんプロフェッショナル養成基盤推進プランにおける『がん患者コーディネーター養成コース』の成果報告. 日本看護研究学会第43回学術集会, 東海, 2017年8月29-30日.
5. 関谷大輝, 榊原良太, 金子多喜子, 中川紗江, 荻野佳代子: 感情労働研究再考ー心理学分野における感情労働研究のこれからを問い直すー. 日本心理学会第81回大会シンポジウム, 久留米, 2017年9月20-22日.
6. 斉藤茂子, 栗原良子, 金子多喜子: 社会福祉法人恩賜財団済生会主催「平成29年度新人看護職員教育担当者研修」講師, 東京, 2017年10月19-20日.
7. 松崎紗織: 基礎看護学実習における日常生活行動援助実践の教育的支援の構造化. 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台, 2017年12月16-17日.

論文

1. 天野雅美, 佐藤ユキ子, 山本君子: 看護職が看護職に対し暴言をする実態と背景環境の分析. 自立支援介護・パワーリハ学会誌 11(1): 44-55, 2017.
2. 天野雅美, 佐藤ユキ子, 山本君子: 医療機関における看護職が暴言をしたプロセス. 自立支援介護・パワーリハ学会誌 11(1): 56-65, 2017.
3. 金子多喜子, 森田展彰, 伊藤まゆみ, 関谷大輝: 看護師版感情対処傾向尺度の開発ー尺度の信頼性・妥当性の検討. 日本ヒューマン・ケア心理学会 18(1): 25-35, 2017.
4. 関谷大輝, 伊藤まゆみ, 金子多喜子: 看護師業務における感情管理の特徴ーテキストマイニングを用いた面接記録の探索的分析ー. 日本ヒューマン・ケア心理学会 18(2): 97-110, 2018.

著書

1. 加治美幸(分担執筆): 患者と医療者の考えのギャップ. 映像でやさしく学ぶ 生命倫理と看護倫理の基礎 第4巻 倫理的問題の事例検討演習 I 成人看護学・老年看護学. 佐藤みつ子, 森千鶴監修. 東京, 株式会社東京サウンド・プロダクション, 2017. DVD.
2. 柴崎美紀: 「つなげた人たちが出会って起こす化学反応」を楽しんでいた先生. がんになった外科医元ちゃんが伝えたかったこと. 西村元一著. 東京, 照林社, 2017. p.145-147.
3. 佐藤智子(原案): 看護教育シリーズ わかる! できる! バイタルサイン測定 VOL.1 基本的な測定の流れ・体温・意識. 山本君子監修. 東京, 医学映像教育センター, 2017. DVD.
4. 佐藤智子(原案): 看護教育シリーズ わかる! できる! バイタルサイン測定 VOL.2 呼吸・脈拍・血圧・援助を考える. 山本君子監修. 東京, 医学映像教育センター, 2017. DVD.

報告書

1. 金子多喜子(研究代表者), (研究分担者)関谷大輝・伊藤まゆみ, (研究協力者)森田展彰・斎藤環・大谷保和: 看護師の感情マネジメントスキル育成のための教育・介入プログラムの構築. 科学研究費補助金(基盤研究C) 研究成果報告書.

その他

1. 柴崎美紀: 第2回杏林医学会優秀論文賞受賞, 2017年11

月18日。(研究課題名:地域における栄養サポートチームの多職種連携と発展要件)。

- 金子多喜子:一般社団法人茗溪会 第16回茗溪会賞受賞。2018年3月。

成人・高齢者看護学研究室

講演

- 飯岡由紀子, 中島恵美子:大切な大人ががんになったとき～子どもたちを支えるために.第22回日本緩和医療学会, 横浜, 2017年6月23日。
- 小島リベカ, 南川雅子, 飯岡由美子, 中島恵美子:支えるために～そのスキルを磨く～.第22回日本緩和医療学会, 横浜, 2017年6月23日。
- 伊藤有美:重症患者の栄養管理.日本集中治療医学会主催2017年度ICU・CCU看護教育セミナー(初級コース), 大阪, 2017年7月10-12日。
- 佐藤澄子:第2回手術看護実践指導看護師フォローアップ研修.日本手術看護学会主催, 東京, 2017年7月29日。
- 伊藤有美:重症患者の栄養管理.日本集中治療医学会主催2017年度ICU・CCU看護教育セミナー(初級コース), 東京, 2017年8月31日-9月2日。
- 中島恵美子:周術期看護の教授ポイントと臨地実習への展開.メディカ出版主催, 札幌, 2017年9月17日。
- 中島恵美子:周術期看護の教授ポイントと臨地実習への展開.メディカ出版主催, 大阪, 2017年10月7日。
- 伊藤有美:Module7 喪失・悲嘆・死別.日本集中治療医学会主催 ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム看護師教育プログラム, 東京, 2017年11月3-4日。
- 伊藤有美:Module3 症状マネジメント.昭和大学主催 ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム看護師教育プログラム, 東京, 2018年1月13-14日。
- 伊藤有美:Module2 疼痛管理.京都大学大学院主催 ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム指導者養成プログラム, 京都, 2018年2月10-11日。

論文

- Ito Y, Teruya K, Kubota H, Yorozu T, Nakajima E: Factors affecting pain assessment scores in patients on mechanical ventilation. Intensive and Critical Care Nursing 42: 75-79, 2017.
- 百々典子:臨地実習における看護学生の自己効力感をテーマにした文献レビュー.日本看護学教育学会誌 27: 13-27, 2018.

著書

- 量倫子:お父さん,お母さんが自分の病気を子どもたちに伝えてもらうために.がんの親をもつ子どもたちをサポートする本.有賀悦子,南川雅子編集.東京,青海社, 2017. p.36-44.
- 中島恵美子:長続きするカフェ・ファシリチームをつくる一役割とチームビルディング.がんの親をもつ子どもたちをサポートする本.有賀悦子,南川雅子編集.東京,青海社, 2017. p.95-99.
- 熊野奈津美, 中島恵美子, 長島文夫(分担執筆):がん患者の併存疾患を理解する⑦加齢に伴う変化.がん看護第23巻1号.東京,南江堂, 2018. p.27-30.

その他

- 中島恵美子:看護理論家カリスタ・ロイ博士,看護理論分析家ジャクリーン・フォーセット博士来日講演会,ロイ適応協会日本支部・杏林大学共催,三鷹, 2017年9月7日。
- 津波古澄子¹, 筒井真優美², 中島恵美子(¹共立女子大学,²日本赤十字看護大学):座談会「看護学とは何かを」

を考え続ける 2つの講演がなげかけたこと.看護研究 50: 666-673, 2017.

母子看護学研究室

論文

- 山田貴代¹, 松岡恵, 西川浩昭²(¹金沢大大学院, ²静岡県立大):大学院教育と学部教育の妊婦健康診査実習前後の助産実践能力に対する自己評価の比較. Journal of Wellness and Health Care 41(2): 139-150, 2017.

助産学研究室

著書

- 加藤千晶(分担執筆):ここがポイント 助産師国家試験突破のコツ 助産師国家試験予想問題2018.助産師資格試験研究会編集.東京,助産師資格試験研究会, 2017. p.314-325.
- 加藤千晶(分担執筆):第1章ハイリスク妊娠と助産ケア 4.母児の救急搬送.助産師基礎教育テキスト第7巻.遠藤俊子編集.東京,日本看護協会出版会, 2018. p.15-21.

報告書

- 加藤千晶(分担執筆・編集):助産所における連携医療機関確保支援事業報告書(日本助産師会).厚生労働省平成29年度医療関係者研修費等補助金(看護職員確保対策特別事業)助産所における連携医療機関確保支援事業.2018年度。

その他

- 加藤千晶(分担執筆・編集):助産所における連携医療機関確保推進の手引き.厚生労働省 平成29年度医療関係者研修費等補助金(看護職員確保対策特別事業)助産所における連携医療機関確保支援事業.日本助産師会編集.東京,日本助産師会発行, 2018.

小児看護学研究室

講演

- 吉野純:子どもの体調不良をめぐる働く母親の経験.第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台, 2017年12月16-17日。

地域看護学研究室

講演

学会・研究会, ポスターセッション

- 加藤昌代:カウンセリングワークショップ.第631回NPO法人日本精神療法学会, 前橋, 2017年4月22-23日。
- 鶴岡章子, 石丸美奈, 鈴木美和, 鈴木悟子, 雨宮有子, 安藤智子, 鈴木明子, 岡田由美子, 藤井広美, 原田静香, 櫻井しのぶ, 佐藤紀子, 飯野理恵, 宮崎美砂子:大学連携による保健師業務研究サポートの成果—業務研究を研究した保健師の成長の視点から—.第20回日本地域看護学会学術集会, 別府, 2017年8月5-6日。
- 鈴木美和, 石丸美奈, 杉田由加里, 鈴木悟子, 飯野理恵, 雨宮有子, 原田静香, 鶴岡章子, 藤井広美, 鈴木明子, 岡田由美子, 安藤智子, 宮崎美砂子, 佐藤紀子, 櫻井しのぶ:大学間連携による保健師業務研究サポートの成果—研究指導担当教員の研究と社会貢献に関わる能力の変化—.第20回日本地域看護学会学術集会, 別府, 2017年8月5-6日。
- 石丸美奈, 鈴木悟子, 飯野理恵, 宮崎美砂子, 杉田由加里, 雨宮有子, 佐藤紀子, 原田静香, 櫻井しのぶ, 鶴岡

章子, 安藤智子, 鈴木明子, 岡田由美子, 藤井広美, 鈴木美和: 大学間連携による保健師業務研究サポートを効果的に推進するための教員側の要件. 第20回日本地域看護学会学術集会, 別府, 2017年8月5-6日.

5. 鈴木悟子, 石丸美奈, 飯野理恵, 宮崎美砂子, 杉田由加里, 雨宮有子, 佐藤紀子, 原田静香, 櫻井しのぶ, 鶴岡章子, 安藤智子, 鈴木明子, 岡田由美子, 藤井広美, 鈴木美和: 大学間連携による保健師業務研究サポートを効果的に推進するための保健師側の要件. 第20回日本地域看護学会学術集会, 別府, 2017年8月5-6日.
6. 大木幸子, 櫻井尚子, 平野かよ子, 高城智佳, 河西あかね, 松本加代子, 叶内ひとみ, 奥津秀子, 加藤昌代, 小松実弥, 藤井広美: 行政の人材育成担当保健師が新任期中堅前期保健師に対し強化を期待する実践技術. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 2017年10月31日-11月2日.
7. 藤井広美, 加藤昌代, 小松実弥, 大木幸子, 高田京子, 後藤佳子, 小神瞳, 坂田治美, 中田新子, 伊藤力: 地域包括支援センターと大学の協働による卒業研究としての地域診断の取り組み(第1報). 第21回日本健康福祉政策学会学術大会, 三鷹, 2017年11月4-5日.
8. 後藤佳子, 小神瞳, 高田京子, 坂田治美, 中田新子, 伊藤力, 藤井広美, 加藤昌代, 小松実弥, 大木幸子: 地域包括支援センターと大学の協働による卒業研究としての地域診断の取り組み(第2報). 第21回日本健康福祉政策学会学術大会, 三鷹, 2017年11月4-5日.
9. 加藤昌代, 大木幸子, 小松実弥, 榎本晃子: 介護予防から始まる地域づくり～町会単位の高齢者向け筋力トレーニングにおける自主グループ活動を通して～. 第21回日本健康福祉政策学会, 東京, 2017年11月4-5日.
10. 大木幸子, 生島嗣, 樽井正義: 地域の相談支援機関利用による薬物使用HIV陽性者の回復事例の調査. 第31回日本エイズ学会学術集会, 東京, 2017年11月24-26日.
11. 戸ヶ里泰典, 井上洋士, 高久陽介, 矢島嵩, 阿部桜子, 板垣貴志, 細川陸也, 若林チヒロ, 大木幸子: 男性HIV陽性者におけるアルコール依存症の実態と関連要因. 第31回日本エイズ学会学術集会, 東京, 2017年11月24-26日.
12. 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 板垣貴志, 阿部桜子, 細川陸也, 若林チヒロ, 山内麻江, 大木幸子, 片倉直子, 大島岳, 矢島嵩, 高久陽介: HIV Futures Japanプロジェクトにおける5年間の当事者参加型リサーチ(PR)の様相に関する研究者側から見た考察. 第31回日本エイズ学会学術集会, 東京, 2017年11月24-26日.
13. 土屋菜歩, 堅多敦子, 稲垣智一, 石丸雄二, 城所敏英, 三宅慧, 渡部ゆう, 大木幸子, 今村顕史: 東京都内保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第31回日本エイズ学会学術集会, 東京, 2017年11月24-26日.

地域の講演会, 研修会

1. 大木幸子: 保健師の行う地区診断～地域を捉え, 地域と協働する～. 東京都多摩府中保健所, 東京, 2017年5月11日.
2. 大木幸子: 個別支援について考える～家族アセスメントを中心に～. 横浜市保健師1年目研修(第1回), 横浜, 2017年7月12日.
3. 大木幸子: 障害種別とし身体障害について. ヘルパースキルアップ研修, 東京, 2017年7月15日.
4. 大木幸子: 保健師に求められる能力, 視点, 姿勢. 平成26年度青森県初任期保健師研修第1回, 青森, 2017年8月22日.
5. 大木幸子: 地区診断の方法～地域を捉え, 地域と協働する～. 東京都町田市地域介護予防推進員研修, 東京, 2017年8月29日.
6. 大木幸子: 仲間・運動・食事で「こころ」も「からだ」

も健康な地域づくり～90歳代も100歳代も元気に過ごす～地域での健康づくりのすすめかた～地域で暮らし続けるために～. 日の出町健康推進員交流会, 東京, 2017年9月26日.

7. 大木幸子: 自分を育てるキャリアデザイン. 全国保健師長会南関東・東京ブロック研修会, 東京, 2017年9月26日.
8. 大木幸子: 地域を捉え, 地域と協働する地域診断. 町田市地域介護予防推進員研修会, 東京, 2017年10月20日.
9. 大木幸子: セクシュアリティってなんだろう. 感染症医療通訳養成講座, 横浜, 2017年11月18日.
10. 大木幸子: 保健所の仕事と結核・エイズの支援. 感染症医療通訳養成講座, 横浜, 2017年11月18日.
11. 大木幸子: 喀痰吸引や経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援. 重度訪問介護従事者研修, 東京, 2017年12月10日.
12. 大木幸子: 緊急時の対応及び危険防止. 重度訪問介護従事者研修, 東京, 2017年12月10日.
13. 大木幸子: 保健師のキャリアラダーを読み解く. 狭山保健所管内管理期保健師研修, 所沢, 2017年12月12日.
14. 大木幸子: 養育困難や虐待事例への支援. 柏市要保護児童研修会, 柏, 2017年12月19日.
15. 大木幸子: 個人・家族を取り巻く社会環境のアセスメント. 横浜市保健師1年目研修(第2回), 横浜, 2017年12月19日.
16. 大木幸子: 地区活動の評価. 所沢市地域診断中間報告会, 所沢, 2017年12月25日.
17. 大木幸子: 訪問胃腸事業における事例検討について. 横浜市南区訪問支援事業職員研修, 横浜, 2017年12月22日.
18. 大木幸子: 保健師に求められる能力, 視点, 姿勢. 平成26年度青森県初任期保健師研修第2回, 青森, 2018年1月16日.
19. 大木幸子: 気になる子とその親への関わり～育てにくさの要因と支援～. 海老名市児童虐待防止策研修会, 海老名, 2018年2月1日.
20. 大木幸子: 支援を拒否するケースの初めの一歩～扉を開く～. 東京都アウトリーチ支援事業研修, 東京, 2018年2月14日.
21. 大木幸子: 地域包括ケアシステムの動向. 町田市保健所地区診断報告会, 町田, 2018年2月15日.
22. 大木幸子: 児童虐待死亡ゼロを目指した支援のあり方について～死亡事例県初部会報告より～. 東京都子育て支援研修, 東京, 2018年2月28日.
23. 加藤昌代: 産前支援のための妊婦の特性の理解. ホームスタート産前産後支援オーガナイザー研修, 福島, 2018年3月7日.
24. 加藤昌代: 産前支援のための妊婦の特性の理解. ホームスタート産前産後支援オーガナイザー研修, 東京, 2018年3月8日.
25. 大木幸子: 行政における保健師活動の目的と実践において大切なこと. 北多摩西部保健医療圏市町村支援研修, 立川, 2018年3月9日.

論文

1. 大木幸子, 表志津子¹, 桑原ゆみ², 鈴木美和³, 平野美千代⁴, 藤井広美⁵, 荒木田美香子⁶(¹金沢大, ²札幌医科大, ³淑徳大, ⁴北海道大, ⁵杏林大・保・看護・地域看護, ⁶国際医療福祉大): 看護師教育課程における地域看護学教育に関する調査. 保健師教育1(1): 40-51, 2017.
2. 大木幸子, 表志津子¹, 齋藤美和², 澤井美奈子³, 當山裕子⁴, 荒木田美香子⁵, 佐伯和子⁶(¹金沢大, ²高知大, ³湘南医療福祉大, ⁴琉球大, ⁵国際医療福祉大, ⁶北海道大):

「保健師教育評価の指標 全国保健師教育機関協議会版(2016)」の作成。保健師教育1(1): 26-32, 2017.

3. 大木幸子:「家庭訪問」で得た質的データを保健活動に活かす。保健師ジャーナル 73(7): 565-570, 2017.
4. 三ツ井圭子¹, 眞鍋知子¹, 藤井広美, 石塚睦子¹, 根本友見¹, 加藤サツキ¹, 村上京子¹ (了徳寺大): 統合実習で学生が捉えた「看護課題」の構造 看護チームで取り組む看護実践と複数患者受持ちに焦点を当て。日本看護学教育学会誌27: 162, 2017.
5. 片桐朝美¹, 大木幸子 (了徳寺大・保・健康福祉): 障害者総合支援法・児童福祉法の改正。看護70(3): 73-76, 2018.
6. 三ツ井圭子¹, 眞鍋知子¹, 藤井広美, 石塚睦子¹, 根本友見¹, 塩田みどり¹, 村上京子¹, 加藤さつき¹ (了徳寺大): 学生が捉えた統合実習の「看護課題」の構造—看護チームで取り組む看護実践と複数患者受け持ちの学び—。了徳寺大学研究紀要 12: 143-153, 2018.
7. 山口佳子¹, 平野かよ子², 森本典子³, 春山早苗³, 小西かおる⁴, 石川貴美子⁵, 藤井広美, 久佐賀真理², 大神あゆみ⁶, 尾島俊之⁷ (了徳寺大, ²長崎県立大, ³自治医科大, ⁴大阪大学大学院, ⁵神奈川県秦野市, ⁶大原記念労働科学研究所, ⁷浜松医科大): 「未治療・治療中断の精神障害者の受療支援」の質に関する評価指標: 標準化のための検証と改訂。東京家政大学研究紀要 58(2): 45-54, 2018.

著書

1. 大木幸子 (分担執筆): 介護が必要な家族がいる。育てにくさの理解と支援—健やか親子21 (第2次) の重点課題にむけて—。秋山千枝子, 小枝達也, 橋本創一, 堀口寿広編集。東京, 診断と治療社, 2017. p.108-109.
2. 大木幸子 (分担執筆): ひとり親家庭で子どもへの影響が心配。育てにくさの理解と支援—健やか親子21 (第2次) の重点課題にむけて—。秋山千枝子, 小枝達也, 橋本創一, 堀口寿広編集。東京, 診断と治療社, 2017. p.110-111.
3. 大木幸子 (分担執筆): 祖父母の介入が多くて困る。育てにくさの理解と支援—健やか親子21 (第2次) の重点課題にむけて—。秋山千枝子, 小枝達也, 橋本創一, 堀口寿広編集。東京, 診断と治療社, 2017. p.112-113.
4. 大木幸子 (分担執筆): STI患者に対する指導。東京都感染症マニュアル2018。東京都新たな感染症対策委員会監修。東京, 東京都, 2018.
5. 大木幸子 (分担執筆): 第1章 公衆衛生学の概要。製菓衛生師全書21版。東京, 日本菓子教育センター, 2018. p.69-84.
6. 大木幸子 (分担執筆): 第2章 環境衛生。製菓衛生師全書21版。東京, 日本菓子教育センター, 2018. p.85-99.
7. 加藤昌代 (分担執筆): 第3章第1節 感染症の予防。製菓衛生師全書21版。東京, 日本菓子教育センター, 2018. p.100-111.
8. 小松実弥 (分担執筆): 第3章第2節 瀬く習慣病の予防。製菓衛生師全書21版。東京, 日本菓子教育センター, 2018. p.111-117.

報告書

1. 大木幸子: 地域の相談支援機関利用による薬物使用HIV陽性者の回復事例の調査。厚生労働科学研究費補助金 (エイズ対策政策研究事業) 平成29年度 地域においてHIV陽性者と薬物使用者を支援する研究 総括・分担研究報告書総合報告書。
2. 土屋菜歩, 堅多敦子, 稲垣智一, 石丸雄二, 城所敏英, 渡部ゆう, 大木幸子, 今村顕史: 保健所におけるHIV検査・相談の現状評価と課題解決に向けての研究, 厚生労働科学研究費補助金 (エイズ対策政策研究事業) 平成29年度 HIV 検査受検勧奨に関する研究 総括・分担研究報告書。

精神看護学研究室

講演

1. 浅沼奈美: 「心の傷をいやす人との絆〜家族会の役割〜」講師。あおき会 (三鷹市精神障害者家族会) 総会記念講演会, 東京, 2017年5月18日。
2. 江波戸和子: 臨床における暴力とクレーム対応。埼玉県看護協会 臨床実習指導者養成研修会, 鴻巣, 2017年7月4日。
3. 江波戸和子: メンタルヘルスエグザミネーション。日本精神科看護技術協会, 東京, 2017年7月31日。
4. 江波戸和子: 臨床における攻撃性と看護師のメンタルヘルスを考える一頭と心を整理して, それぞれに自分を取り戻す90分。井之頭病院看護部研修会, 三鷹, 2017年9月28日。
5. 吉井秀輝, 高館京宏, 佐藤留美, 広松恭子, 佐藤美保, 浅沼奈美: 町田市ひきこもり者地域支援ネットワーク強化に向けた取り組み。第76回日本公衆衛生学会, 鹿児島, 2018年11月2日。
6. 江波戸和子: 病院と地域の連携—安定して生活するために必要な支援とは—。平成29年度精神保健福祉対策社会復帰促進事業地域連携研修会, 小平, 2018年2月14日。

著書

1. 江波戸和子: 精神科看護薬物道場。学研ナーシングサポート 精神科コース。田中美恵子監修。東京, 学研メディカルサポート, 2017.
2. 浅沼奈美 (分担執筆): 理解して活かす保健師用語「アドヒアランス」。地域保健3月号。東京, 東京法規出版, 2018. p.82-83.

その他

1. 中坂育美, 高桑友美, 浅沼奈美, 長野敏弘: 精神障害にも対応した地域包括システムに保健師はどうかかわるか, 地域保健, 1月号, 東京法規出版, 2018.

医療科学 I 研究室

講演

1. 前橋恭子, 立松依宙, 坂本圭菜, 岩橋桜子, 岩橋公晴: GC/MSを用いた法医学的試料中の正露丸®成分の分析。日本法中毒学会 第36年会, 東京, 2017年7月6-7日。
2. Iwadate S, Hayashi K, Iwadate K: Two Cases of Deaths by Boiling in Japanese-style Bathtubs. NAME 2017 Annual Meeting, USA, October 13th-17th, 2017.
3. Hayashi K, Nakajima N, Iwadate S, Asakura K, Hamamatsu A: Severe Lung Injury Associated with A/H1N1pdm09 Infection in the Post-Pandemic Season. NAME 2017 Annual Meeting, USA, October 13th-17th, 2017.

著書

1. 岩橋桜子 (学術協力): わかる! できる! バイタルサイン測定 VOL.1 基本的な測定の流れ・体温・意識。佐藤智子原作。山本君子監修。東京, 医学映像教育センター, 2017. DVD.

その他

1. 岩橋桜子: 第15回世界ユース女子選手権大会(U-18)引率スタッフ, 帯同ドクター 派遣, アルゼンチン, 2017年8月18-27日。

医療科学 II 研究室

講演

1. 勝又木綿子: 子宮頸がん—発生・検査・結果の解釈—。

全国助産師教育協議会 東京地区研修会, 三鷹, 2017年12月9日.

● 看護学科・看護養護教育学専攻 ●

荒添 美紀

講演

1. 荒添美紀, 天野雅美, 齊藤茂子, 金子多喜子: 中堅看護師の臨床で求められているコンセプトチュアルスキル・ヒューマンスキル・テクニカルスキル尺度 (CHT尺度) の開発. 第21回日本看護管理学会学術集会, 横浜, 2017年8月19-20日.

太田 ひろみ

講演

1. Ishii H, Oohara S, Oya C, Kusuda M, Ohta H, Aihara K: Study for exercise habits of temporary housing residents due to the Great East Japan Earthquake. 23rd International Meeting of Physical Therapy Science & Occupational Therapy Science, Myanmar, August 5th, 2017.
2. 大屋千鶴, 太田ひろみ, 石井博之, 楠田美奈, 相原圭太: 地域在住高齢者の運動開始・継続に関わる要因について. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 2017年11月1日.
3. 楠田美奈, 場家美沙紀, 戸井田千鶴, 井手拓郎, 赤嶺恵理, 佐々木裕子, 太田ひろみ: 発達障がいの子どもと保護者のための余暇活動「きらめきハッピーキャンプ」の支援について. 第21回日本健康福祉政策学会, 東京, 2017年11月4日.
4. 鈴木朋子, 太田ひろみ, 佐々木裕子, 山内亮子, 場家美沙紀: 多胎育児準備クラスの評価—受講有無と産後ストレスとの関連—. 日本双生児研究学会, 大阪, 2018年1月27日.

論文

1. 石野晶子¹, 太田ひろみ², 塚田有美³, 亀崎路子²(¹杏林大・保・母子看護学, ²杏林大・保・精神保健看護学): 発達障害児に対する支援のための医療機関と学校の連携に関する文献研究. 杏林大学教職課程年報 5: 53-66, 2017.
2. 太田ひろみ, 山内亮子¹, 場家美沙紀¹, 石野晶子¹, 鈴木朋子¹, 井上晶子²(¹杏林大・保・母子看護学, ²杏林大): 地域のソーシャルキャピタルと乳幼児を育てる母親の育児不安に関する研究. 杏林大学杏林CCRC研究所紀要 4: 122-124, 2018.
3. 地域交流委員会 (富田泰彦¹, 相原圭太², 太田ひろみ, 柴崎美紀³, 千田晋治⁴, 岡村裕⁵, 八木橋宏男⁶) (¹杏林大・医, 医学教育学, ²杏林大・保・理学療法, ³杏林大・保・看・在宅看護学, ⁴杏林大・保・救急救命, ⁵杏林大・総, ⁶杏林大・外): 杏林CCRC構想における地域活動. 杏林大学杏林CCRC研究所紀要 4: 87-99, 2018.
4. 地域交流委員会 (古本泰之¹, 太田ひろみ, 進邦徹夫², 富田泰彦³) (¹杏林大・外, ²杏林大・総, ³杏林大・医・医学教育学): 杏林CCRC構想における教育活動. 杏林大学杏林CCRC研究所紀要 4: 100-113, 2018.

亀崎 路子

講演

1. 上原美子, 高田恵美子, 亀崎路子: 養護実習における自己評価の分析 (第1報). 日本養護教諭教育学会 第25回学術集会, 金沢, 2017年10月8日.

2. 山中寿江, 上原美子, 亀崎路子, 小林芳枝, 高島洋子, 竹俣由美子: 養護教諭の「養護観」に関する研究 (中間報告) —「養護」の概念に関する文献研究—. 日本学校健康相談学会 第14回学術集会, 三鷹, 2018年3月25日.
3. 古谷明子, 竹俣由美子, 亀崎路子, 上原美子, 河野千枝, 山中寿江, 中川裕子, 大谷尚子: 養護学の構築に向けての基礎的研究 (第3報) —日常対応場面の事例検討で得られた「養護」—. 日本学校健康相談学会 第14回学術集会, 三鷹, 2018年3月25日.

論文

1. 朝野聡¹, 荻津真理子², 亀崎路子, 小松陽香³(¹杏林大・保・健康福祉, ²杏林大・保・健康福祉, ³立教大学): 養護実習レポートのテキストマイニング分析〜小・中・高校の比較を中心として. 杏林大学教職課程年報 4: 5-15, 2017.
2. 関澤浩一¹, 亀崎路子, 海谷千波², 渡辺剛³(¹杏林大・保・健康福祉学科, ²杏林大・外・英語学科, ³杏林大・総合・国際協力研究科): 三鷹市・羽村市の小中学校におけるインターンシップ実践報告〜養護教諭を目指す杏林大学保健学部のインターンシップ実施学生を対象とした質問紙調査及び活動報告書から—. 杏林大学教職課程年報 4: 85-95, 2017.
3. 石野晶子¹, 太田ひろみ², 塚田有美³, 亀崎路子(¹杏林大・保・小児看護学, ²杏林大・保・小児看護学, ³杏林大・保・精神保健看護学): 発達障害児に対する支援のための医療機関と学校の連携に関する文献研究. 杏林大学教職課程年報 5: 53-66, 2017.
4. 亀崎路子, 関澤浩一¹, 海谷千波², 渡辺剛³(¹杏林大・保・健康福祉学科, ²杏林大・外・英語学科, ³杏林大・総合・国際協力研究科): 三鷹市・羽村市の小中学校におけるインターンシップ実践報告—養護教諭志望学生の学校体験活動を通じた学びの成果と課題—. 杏林大学教職課程年報 5: 67-78, 2017.
5. 住吉智子¹, 中島伸子¹, 外山紀子², 向井隆久³, 木内妙子⁴, 前田樹海⁵, 亀崎路子, 山下雅子⁵(¹新潟大学, ²早稲田大学, ³別府大学短期大学部, ⁴東京工科大学, ⁵東京有明医療大学): 全国の総合病院における小児の成長発達に配慮した入院および外来診療環境の実態調査—インフォームド・アセントの視点を加えて—. 小児保健研究 77(2): 175-183, 2018

報告書

1. 荒木田美香子¹, 片田範子², 津島ひろ江³, 池添志乃⁴, 櫻田淳⁵, 亀崎路子, 三森寧子⁶(¹国際医療福祉大学, ²兵庫県立大学, ³関西福祉大学, ⁴高知県立大学, ⁵埼玉県立大学, ⁶聖路加国際大学): 看護学士課程で養成する養護教諭のコアコンピテンシーと卒業時の到達目標. 一般社団法人日本看護系大学協議会養護教諭養成教育検討委員会, 東京, 2017年11月24日発行.
2. 亀崎路子: 子どもが危機を感じる時, 養護教諭が危機を感じる時—事例を通して向き合うこと—. 第13回学術集会基調報告要旨. 学校健康相談研究 14(1): 121-125, 2017.
3. 亀崎路子 (第13回学術集会実行委員会): 第13回学術集会テーマ企画 危機から回復への過程—いじめから自殺に至った事例の検討を振り返って—. 学校健康相談研究 14(1): 137-143, 2017.
4. 中島伸子¹, 亀崎路子, 木内妙子², 住吉智子¹, 外山紀子³, 前田樹海⁴, 向井隆久⁵, 山下雅子⁴(¹新潟大学, ²東京工科大学, ³早稲田大学, ⁴東京有明医療大学, ⁵別府大学短期大学部): 病気やケガの子どもに配慮した医療環境に関する調査報告. 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究B) 病気やケガに関する子どもの理解. 表現と大人の対応に関する研究 (平成27年度-29年度), 2018年3月.

その他

1. 亀崎路子：【養護教諭なんでも相談室】インクルーシブ教育システムの開始に伴う合理的配慮の提供と養護教諭・心とからだの健康，22(1)：36-38，2017年12月12日発行。
2. 亀崎路子：日本学校健康相談学会第14回学術集会主催，三鷹，2018年3月24-25日。
3. 亀崎路子：学校健康相談研究第14巻1号 編集後記，水戸，2017年12月22日発行
4. 亀崎路子：聖徳学園中高生のいじめ防止プログラム推進．日英中トライリンガル育成のための高大接続平成28年度事業報告書，杏林大学高大接続推進室，東京，2017年7月。
5. 亀崎路子：教員採用試験参考書シリーズ養護教諭参考書2019年度版（9自治体を担当）．協同教育研究会編．協同出版，東京。
6. 亀崎路子：教員採用試験過去問シリーズ養護教諭過去問解説2019年度版（13自治体を担当），協同教育研究会編．協同出版，東京。

宿利 真由美

著 書

1. 宿利真由美，加治美幸：映像で優しく学ぶ 生命倫理と看護倫理の基礎 第4巻 倫理的問題の事例検討演習Ⅰ．佐藤みつ子，森千鶴監修．東京，東京サウンドプロダクション，2017．DVD。

佐々木 裕子

講 演

1. 佐々木裕子，高橋眞理：ペアレンティングプログラム「赤ちゃんの寝かしつけ準備講座」WEB教材の開発とその効果．第19回日本母性看護学会学術集会，西宮，2017年6月11日。
2. 佐々木裕子，高橋眞理：Web教材「赤ちゃんの寝かしつけ講座」の介入効果～乳児が泣きやまないときの対応の内容分析から～．第46回日本女性心身医学会学術集会，東京，2017年7月29-30日。
3. 鈴木朋子，太田ひろみ，佐々木裕子，山内亮子，場家美沙紀：多胎育児準備クラスの評価—受講有無と産後ストレスとの関連—．第32回日本双生児研究学会学術集会，大阪，2018年1月27日。

著 書

1. 湯本敦子，永谷実穂，日置智華子，藤本薫，濱谷淑美，永田智子，鈴木紀子，堀金幸栄，佐々木裕子，増田美恵子，大田康江，高島えり子：第11章セルフケア，ヒーリング・エネルギーとその他の補完療法．Women's Health and Wellness Across the Lifespan ウィメンズヘルスとウェルネス—ライフスパンの視点からのアプローチ．高橋眞理，グレンジャー知子監訳．東京，ゆう書房，2017．p.149-161。

佐藤 ユキ子

講 演

1. 山本君子，佐藤智子，太田淳子，大塚弘毅，佐藤ユキ子，清水典子，吉村純子：介護福祉士を目指す学生が捉える“その人らしさ”．第16回日本ケアマネジメント学術集会，名古屋，2017年6月14-16日。
2. 渡辺洋子，古谷麻実子，戸塚恵子，佐藤ユキ子，兎澤恵子：介護家族の介護体験に関する質的研究—男性介護者のナラティブ分析から見えること—．第7回日本在宅看護学会学術集会，甲府，2017年11月25-26日。

論 文

1. 天野雅美¹，佐藤ユキ子，山本君子²（¹東京医科大学，²杏林大・保・看護学部）：看護職が看護職に対し暴言をする実態と背景環境の分析．日本自立支援介護・パワーリハ学会誌 11(1)：44-55，2017。
2. 天野雅美¹，佐藤ユキ子，山本君子²（¹東京医科大学，²杏林大・保・看護学部）：医療機関における看護職が暴言をしたプロセス．日本自立支援介護・パワーリハ学会誌 11(1)：56-65，2017。

角田 ますみ

講 演

1. 角田ますみ：自分らしく生きるヒント—高齢期のアドバンス・ケア・プランニング．杏林大学公開講演会，三鷹，2017年7月8日。
2. 角田ますみ：周手術期に問われる看護師の倫理とは．第2回日本手術看護学会研修会，東京，2017年7月14日。
3. 角田ますみ：いま，考えてほしい看護倫理の問題—周手術期看護倫理とは．第21回日本手術看護学会中堅者研修会，東京，2017年7月14日。
4. 角田ますみ：介護現場における生命倫理．第3回全国老人保健施設協会研修会，東京，2017年7月25日。
5. 角田ますみ：高齢者ケアと生命倫理．第4回全国老人保健施設協会中堅者研修会，大阪，2017年9月6日。
6. Sumita M : Nursing Home Care Workers' Awareness of Ethical Issues and the Current Ethics Education in Japan. 18th Nursing Ethics Conference 3rd International Ethics in Care Conference, Belgium, September 15th, 2017.
7. 角田ますみ：自分らしく生きるヒント—高齢期のアドバンス・ケア・プランニング．智恵の輪主催，大阪，2017年10月10日。
8. 角田ますみ：「私」らしく生きるためのアドバンスケアプランニング—CNC,LLC主催，三鷹，2017年12月2日。
9. 角田ますみ：介護福祉士養成4年課程における介護倫理教育—介護系専門科目内で講義される介護倫理の内容分析を通して—．日本生命倫理学会第29回年次大会，宮崎，2017年12月8日。
10. 角田ますみ：「私」らしく生きるためのアドバンスケアプランニング—自分の人生の最期をどんなふうに計画していますか？—．第3回いのじんセミナー，三鷹，2018年3月10日。

論 文

1. 角田ますみ：介護施設に勤務する介護福祉士の倫理的問題の認識や対処と倫理教育の現状．生命倫理27(1)：26-38，2017。
2. 角田ますみ：認知症ケアにおける看護倫理．看護技術64(6)：4-15，2017。

著 書

1. 角田ますみ，宮崎伸一（監修）：クエスチョンバンク・看護師国家試験問題解説2017．東京，メディックメディア，2017。
2. 金沢善智，角田ますみ（監修）：クエスチョンバンク・ケアマネ試験問題解説2017．東京，メディックメディア，2017。
3. 金沢善智，角田ますみ（監修）：クエスチョンバンク・介護福祉士試験問題解説2017．東京，メディックメディア，2017。
4. 角田ますみ（監修）：介護・看護・医療の現場で役立つシリーズ 介護がわかる1 介護保険のしくみ．東京，メディックメディア，2017。

- 角田ますみ(監修):介護・看護・医療の現場で役立つシリーズ 介護がわかる2 生活を支える制度. 東京, メディックメディア, 2017.

その他

- 角田ますみ:メディカル・マネジメント・プランニング・グループ:運営・経営のワンポイントヒント(217)に2017年12月2日の講演会が紹介された.

戸塚 恵子

講演

- 戸塚恵子:知的障害者の疾病・障害の理解. 東京都指定障害者(児)移動支援従事者養成研修事業, 東京, 2017年8月6日・2018年2月11日.
- 戸塚恵子:世田谷区保健師人材育成プリセプター研修新任期・学生指導 ～新任者(学生)への対応と地域づくりの指導について～. 東京, 2017年8月15日.
- 戸塚恵子, 上谷いつ子, 楠田美奈, 堀江由美, 村井純子, 前田敦子:地域連携委員の看護師が認識している退院支援に関する課題. 第21回日本看護管理学会, 横浜, 2017年8月19-20日.
- 戸塚恵子:誰もが知っておきたい介護の知識～介護者の健康も守るために. まちだ市民大学HATS, 町田, 2017年9月13日.
- 渡辺洋子, 古谷麻実子, 戸塚恵子, 佐藤ユキ子, 兎澤恵子:介護家族の介護体験に関する質的研究—男性介護者のナラティブ分析から見えること—. 第7回日本在宅看護学会, 甲府, 2017年11月25-26日.
- 上谷いつ子, 戸塚恵子, 楠田美奈, 堀江由美, 前田敦子:病棟看護師の在宅療養に向けた退院支援の現状と課題(第1報). 第37回日本看護科学学会, 仙台, 2017年12月16-17日.
- 戸塚恵子, 上谷いつ子, 楠田美奈, 堀江由美, 前田敦子:病棟看護師の在宅療養に向けた退院支援の現状と課題(第2報). 第37回日本看護科学学会, 仙台, 2017年12月16-17日.

石野 晶子

論文

- 石野晶子, 太田ひろみ, 塚田有美, 亀崎路子:発達障害児に対する支援のための医療機関と学校の連携に関する文献研究. 杏林大学教職課程年報 5: 53-66, 2017.

佐野 恵美香

講演

- Tamamoto K, Ueki J, Sano E, Ikeda M, Hino K, Sano Y, Wada H, Kurosawa H: The development of new-generation application software of tablet PC that interactively carry out personalized self-management education to patients with COPD receiving LTOT. Congress of Asian Pacific Society of Respiriology 2017, Australia, November 23rd-26th, 2017.
- 佐野恵美香:改訂ステートメントにみるセルフマネジメント教育の新しい考え方と現況. 第14回呼吸リハビリテーション研修会, 長崎, 2018年3月17日.

寺島 涼子

論文

- 寺島涼子, 菊地由美¹, 藤野秀美¹, 御任充和子¹, 横井郁子¹(¹東邦大学看護学部):都市部の超高齢社会に挑む看護師養成事業—療養環境デザインプログラムにおける看護学生の経験—. 東邦看護学会誌15(2): 57-63, 2018.

鈴木 朋子

講演

- 鈴木朋子, 太田ひろみ, 佐々木裕子, 山内亮子, 場家美沙紀:多胎育児準備クラスの評価—受講有無と産後の育児ストレスとの関連—. 日本双生児研究学会第32回学術講演会, 大阪, 2018年1月27日.

報告書

- 太田ひろみ, 山内亮子, 場家美沙紀, 石野晶子, 鈴木朋子, 井上晶子:地域のソーシャル・キャピタルと乳幼児を育てる母親の育児不安に関する研究. 平成29年度杏林大学杏林CCRC研究所紀要. 2018年3月.

場家 美沙紀

講演

- 楠田美奈, 場家美沙紀, 戸井田千鶴, 井手拓郎, 赤嶺恵理, 佐々木裕子, 太田ひろみ:発達障がいの子どもと保護者のための『きらめきハッピーキャンプ』の支援について. 第21回日本健康福祉政策学会, 三鷹, 2017年11月4日.
- 鈴木朋子, 太田ひろみ, 佐々木裕子, 山内亮子, 場家美沙紀:多胎育児準備クラスの評価—受講有無と産後の育児ストレスとの関連—. 日本双生児研究学会第32回学術講演会, 大阪, 2018年1月27日.

布田 和恵

講演

- 布田和恵:平成29年度介護福祉士受験準備講座こころとからだのしくみ. 横浜市福祉サービス協会, 横浜, 2017年11月11日.

著書

- 布田和恵(分担執筆):こころとからだのしくみ. 2017年度介護福祉士全国統一模擬試験(第1回・第2回). 介護福祉士国家試験対策研究会編集. 東京, 中央法規オンラインショップ e-books, 2017.

古谷 麻実子

講演

- Abe K, Tsujita S, Chiba K, Yamamoto Y, Nitta M, Sasaki M, Furuya M, Ajima Y, Okado J, Tsuruta K: Individual and workplace characteristics relating to Reproductive behaviors among female Japanese hospital nurses. TNMC & WANS International Nursing Research Conference, Thailand, October 20th-22nd, 2017.
- 渡辺洋子, 古谷麻実子, 戸塚恵子, 佐藤ユキ子, 兎澤恵子:介護家族の介護体験に関する質的研究—男性介護者のナラティブ分析から見えること—. 第7回日本在宅看護学会学術集会, 甲府, 2017年11月25-26日.
- 兎澤恵子, 渡辺洋子, 古谷麻実子:高齢者の主体的な情報提供が自尊感情に及ぼす影響に関する研究—GMG情報をケアに活用することの意味—. 第7回日本在宅看護学会学術集会, 甲府, 2017年11月25-26日.

山内 亮子

講演

1. 鈴木朋子, 太田ひろみ, 佐々木裕子, 山内亮子, 場家美紗紀: 多胎育児準備クラスの評価—受講有無と産後ストレスとの関連—. 日本双生児研究学会第32回学術講演会, 大阪, 2018年1月27日.

戸井田 千鶴

講演

1. 大屋千鶴, 太田ひろみ, 石井博之, 楠田美奈, 相原圭太: 地域在住高齢者の運動開始・継続に関わる要因について. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 2017年11月1日.

楠田 美奈

講演

1. Ishii H, Oya C, Aihara K, Oota H, Kusuda M, Oohara S: Study for exercise habits of temporary housing residents due to the Great East Japan Earthquake. 23rd International Meeting of Physical Therapy Science & Occupational Therapy Science. Myanmar, August 5th, 2017.
2. 大屋千鶴, 太田ひろみ, 石井博之, 楠田美奈, 相原圭太: 地域在住高齢者の運動の開始・継続に関わる要因について. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 2017年10月31日-11月2日.
3. 楠田美奈, 場家美紗紀, 戸井田千鶴, 井手拓郎, 赤嶺恵理, 佐々木裕, 太田ひろみ: 発達障がいの子と保護者のための余暇活動『きらめきハッピーキャンプ』の支援について. 第21回日本健康福祉政策学会, 東京, 2017年11月4日.

● 臨床工学科 ●

岸野 智則

講演

1. 森井健司, 岸野智則, 嶋森直子, 本橋美津江, 本谷啓太, 青柳貴之, 田島崇, 大西宏明, 市村正一: 超音波検査による軟部肉腫悪性度判定の試み. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台, 2017年5月18-21日.
2. 森秀明, 西川かおり, 關里和, 川村直弘, 奥山秀平, 小樽二世, 塚田幾太郎, 峯佳毅, 岸野智則, 黒岩紀子: 「到達時間等高線」表示の有用性の検討. 日本超音波医学会第90回学術集会, 宇都宮, 2017年5月26-28日.
3. 森井健司, 岸野智則, 嶋森直子, 本橋美津江, 本谷啓太, 青柳貴之, 田島崇, 大西宏明, 市村正一: 超音波検査による軟部腫瘍手術出血量の術前予測の試み. 第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京, 2017年7月13-14日.
4. Ohtsuka K, Yamasaki S, Matsushima S, Kishino T, Ohnishi H, Watanabe T: Whole genome sequencing of family members with the germline EGFR V843I mutation predisposed to lung adenocarcinoma. The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine WASPaLM2017, Kyoto, November 15th-18th, 2017.
5. Ohnishi H, Ohtsuka K, Kazumi Y, Takii T, Mitarai S, Matsushima S, Yonetani S, Otani S, Yoshiyama T, Kato Y, Hayashi Y, Michiya J, Kida K, Sugihara J, Yamasaki S, Kishino T, Goto H, Watanabe T:

Mycobacterium kyorinense infection: Clinical, biological and genetic features. The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine WASPaLM2017, Kyoto, November 15th-18th, 2017.

6. 宮脇晴子, 岸野智則, 山崎聡子, 大塚弘毅, 伊坂泰嗣, 千葉知宏, 嶋森直子, 関口久美子, 高城靖志, 大西宏明, 渡邊卓: 乳癌甲状腺転移の2例—その超音波画像所見の考察—. 第64回日本臨床検査医学会学術集会, 京都, 2017年11月16-19日.
7. 山崎聡子, 大西宏明, 坂本大典, 小倉航, 松島早月, 大塚弘毅, 岸野智則, 高山信之, 渡邊卓: 再発時にFLT3-ITD+NPM1変異, トリソミー8を認め, M5b→M2へ形質転換したAMLの一例. 第64回日本臨床検査医学会学術集会, 京都, 2017年11月16-19日.
8. 嶋森直子, 岸野智則, 森井健司, 山崎聡子, 大塚弘毅, 青柳貴之, 宮脇晴子, 岡部直太, 関口久美子, 高城靖志, 柴原純二, 大西宏明, 渡邊卓: 脂肪肉腫の組織型と超音波画像の対比. 第64回日本臨床検査医学会学術集会, 京都, 2017年11月16-19日.
9. 雨宮諒, 原島敬一郎, 鈴木菜穂, 高橋里奈, 松島里穂渚, 横山加奈, 政井悠希, 小林昌永, 中島哲, 岸野智則: 食事摂取が血管内皮機能検査RH-PATにおよぼす影響. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.
10. 関根彩華, 原島敬一郎, 中島哲, 小林昌永, 木暮英輝, 渡辺篤志, 嶋津秀昭, 岸野智則: 圧力と時間の可変機能つき持続加圧装置の開発. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.
11. 政井悠希, 原島敬一郎, 久我春菜, 小椋さわの, 石関彩乃, 小林昌永, 中島哲, 岸野智則: 朝食が昼食後の血流動態におよぼす影響—超音波検査による検討—. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.

論文

1. Kawano Y¹, Kishino T, Ohnishi H^{1,2}, Sugiyama M³, Mori H⁴, Nishikawa K⁴, Matsushima S², Ohtsuka K^{1,2}, Mochizuki M⁵, Watanabe T^{1,2} (¹Department of Clinical Laboratory, Kyorin University Hospital, ²Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine, ³Department of Surgery, Kyorin University School of Medicine, ⁴The Third Department of Internal Medicine, Kyorin University School of Medicine, ⁵Department of Pathology, Kyorin University School of Medicine): Mass-forming pancreatitis possibly due to localized obstructive chronic pancreatitis: sonographic characteristics. 臨床病理 65(8): 860-864, 2017.
2. Aoto Y, Kishino T, Harashima K, Ohnishi H^{1,2}, Fukuta N, Hashimoto S, Seki M, Shimo Y, Sekiguchi K², Takagi Y², Otaki J, Watanabe T^{1,2} (¹Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine, ²Department of Clinical Laboratory, Kyorin University Hospital): Influence of eating breakfast on sonographic examination of the gallbladder. 臨床病理 65(11): 1177-1181, 2017.
3. Morii T¹, Kishino T, Shimamori N², Motohashi M², Ohnishi H², Honya K³, Aoyagi T¹, Tajima T¹, Ichimura S¹ (¹Department of Orthopaedic Surgery, Kyorin University Faculty of Medicine, ²Department of Laboratory Medicine, Kyorin University Faculty of Medicine, ³Department of Medical Radiological Technology, Kyorin University Faculty of Health Sciences): Differential diagnosis between benign and malignant soft tissue tumors utilizing ultrasound parameters. J Med Ultrason (2001) 45(1): 113-119, 2018. DOI: 10.1007/s10396-017-0796-3.

4. Morii T¹, Kishino T, Shimamori N², Motohashi M², Ohnishi H², Honya K³, Aoyagi T¹, Tajima T¹, Ichimura S¹ (¹Department of Orthopaedic Surgery, Kyorin University Faculty of Medicine, ²Department of Laboratory Medicine, Kyorin University Faculty of Medicine, ³Department of Medical Radiological Technology, Kyorin University Faculty of Health Sciences) : Preoperative evaluation of intraoperative blood loss during malignant soft tissue tumor resection by ultrasonography. J Orthop Sci 23(2) : 403-407, 2018. DOI: 10.1016/j.jos.2017.12.011.
5. Morii T¹, Kishino T, Shimamori N², Motohashi M², Ohnishi H², Honya K³, Aoyagi T¹, Tajima T¹, Ichimura S¹ (¹Department of Orthopaedic Surgery, Kyorin University Faculty of Medicine, ²Department of Laboratory Medicine, Kyorin University Faculty of Medicine, ³Department of Medical Radiological Technology, Kyorin University Faculty of Health Sciences) : Preoperative ultrasonographic evaluation for malignancy of soft-tissue sarcoma: a retrospective study. Open Orthop J 12 : 75-83, 2018. DOI: 10.2174/1874325001812010075.

報告書

1. 小林昌永, 原島敬一郎, 柿崎明日香, 宮島彩, 橋本茂樹, 西嶋周平, 岸野智則 : 【学生リサーチ賞】下肢 arterial stiffness index(ASI)の臨床応用への可能性. 杏林医学会雑誌 48(第6回学生リサーチ賞・トラベルアワード受賞者 受賞報告) : s7, 2017.
2. 岸野智則 : 【基盤研究 (C) (一般)】脂肪の超音波検査で生活習慣病の病勢を計る(2017年度~2019年度). 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 実施状況報告書(2017年度).

副島 昭典

講演

1. 須田健二, 柏木ともか, 副島昭典 : 実血流量測定装置(QBモニター)の開発—Bluetooth通信への応用—. 第62回日本透析医学会学術集会・総会, 横浜, 2017年6月16日.
2. 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典 : 電気的インピーダンスを用いたシャント血流量の測定に関する実験的検討. 第62回日本透析医学会学術集会・総会, 横浜, 2017年6月17日.
3. 菊田雅宏, 中村敦司, 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典 : 血液透析中に発生する微小気泡と実血流量に関する実験的研究. 第74回三多摩腎疾患治療医会, 三鷹, 2017年12月3日.
4. 菊田雅宏, 中村敦司, 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典 : 血液透析中の脱血圧と微小気泡の測定. 第72回ライフサポート学会フロンティア講演会, 三鷹, 2018年3月9日.

論文

1. 須田健二, 柏木ともか, 菊田雅宏, 副島昭典 : 血液透析中における再循環率の計測と抜針警報装置の開発. 日本透析医学会雑誌 32(3) : 520-531, 2017.

著書

1. 副島昭典(分担執筆) : 医師国家試験問題解説書111. 東京, テコム, 2017.
2. 副島昭典(分担執筆) : CBT問題集TECOMこあかり(新問篇). 東京, テコム, 2017.

四倉 正之

講演

1. 四倉正之 : 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 2017年11月24日.
2. 四倉正之 : 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 2018年3月23日.

小林 博子

講演

1. 濱祐輔, 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭 : 電気刺激を利用した皮膚感覚の誘発と定量的分類評価の試み. 生体医工学シンポジウム2017, 上田, 2017年9月16日.

中島 章夫

講演

1. 中島章夫 : 治療用機器の概要と保守管理 I. 第23回第1種ME技術実力検定試験講習会, 東京, 2017年4月9日.
2. 中島章夫 : 第1種ME技術実力検定試験について. 第23回第1種ME技術実力検定試験講習会, 札幌, 2017年4月23日.
3. 中島章夫 : 安全の基礎とトラブル事例~医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識~. 第39回ME技術講習会 東京A, 東京, 2017年6月24日.
4. 中島章夫 : 光とレーザーの基礎. 第36回日本レーザー医学会 安全教育講習会, 東京, 2017年6月25日.
5. 中島章夫 : 医用レーザーの基礎. 第36回日本レーザー医学会 安全教育講習会, 東京, 2017年6月25日.
6. 中島章夫 : 医療現場における最近の電磁波ノイズ問題の原因と対策. 第92回日本医療機器学会大会マネジメントセミナー, 東京, 2017年6月29日.
7. 中島章夫, 鈴木哲治, 小嶋宏紀 : 電気メス使用時における手術室内電界強度分布の定量解析. 第92回日本医療機器学会大会, 東京, 2017年6月30日.
8. 鈴木哲治, 門倉由莉, 中島章夫 : NPPV用マスクの装着における定量評価に対する基礎検討. 第92回日本医療機器学会大会, 東京, 2017年6月30日.
9. 澤田祐紀, 鈴木哲治, 中島章夫 : プローブ故障予測機能付き簡易的パルスオキシメータチェックの開発. 第92回日本医療機器学会大会, 東京, 2017年7月1日.
10. 中島章夫 : 安全の基礎とトラブル事例~医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識~. 第39回ME技術講習会 東京B, 東京, 2017年7月2日.
11. 中島章夫 : 安全の基礎とトラブル事例~医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識~. 第39回ME技術講習会, 沖縄, 2017年7月22日.
12. 中島章夫 : 安全の基礎とトラブル事例~医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識~. 第39回ME技術講習会 東京C, 東京, 2017年8月19日.
13. 中島章夫 : 電気メスの基礎と原理. 第54回手術用メス安全セミナー 一般社団法人日本医療機器工業会主催, 浜松, 2017年10月14日.
14. 中島章夫 : ハイパースペクトルカメラを用いたレーザー照射時の脳組織判別方法の定量化に関する検討. 第38回日本レーザー医学会総会, 横浜, 2017年11月11日.
15. 中島章夫 : 大学養成課程における医療機器管理業務の実践報告. 第16回日本臨床工学士教育研究会, 東京, 2017年11月11日.
16. 中島章夫 : 医用レーザー機器の安全. 第32回レーザー安

全スクール，東京，2017年11月15日。

17. 中島章夫，鈴木哲治，余川純音：杏林大学付属病院における医療電磁波環境の測定検証．第46回日本福祉設備学会，東京，2017年11月22日。
18. 中島章夫：医療現場における最近の電磁波ノイズ問題の原因と対策．平成30年度MDIC更新ポイント取得セミナー，仙台，2018年1月27日。
19. 中島章夫：医療現場における最近の電磁波ノイズ問題の原因と対策．平成30年度MDIC更新ポイント取得セミナー，東京，2018年3月8日。
20. 中島章夫：医療現場における最近の電磁波ノイズ問題の原因と対策．平成30年度MDIC更新ポイント取得セミナー，名古屋，2018年3月17日。
21. 中島章夫：医療現場における最近の電磁波ノイズ問題の原因と対策．平成30年度MDIC更新ポイント取得セミナー，福岡，2018年3月21日。
22. 中島章夫：医療現場における最近の電磁波ノイズ問題の原因と対策．平成30年度MDIC更新ポイント取得セミナー，大阪，2018年3月24日。

論文

1. 廣瀬稔，工藤元嗣，小鷹丈彦，中島章夫，木村圭幸：臨床工学技士養成課程における高気圧酸素療法に関する教育の現状と課題．日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 52(3)：117-121，2017。
2. 工藤元嗣，小鷹丈彦，中島章夫，木村圭幸，廣瀬稔：臨床工学技士養成課程における血液浄化療法関連教育の現状と課題．医工学治療 30(1)：25-33，2018。

著書

1. 中島章夫（共著）：医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識とトラブル事例と対策．医療機器安全基礎講習会（ME技術講習会）共通テキスト．東京，公益財団法人医療機器センター，2017．p.17-40。
2. 中島章夫：第Ⅱ章1 医療機器の保守点検概要／3 点検用機器／4 電気的安全測定法／第Ⅲ章1 循環関連3：血時計・心拍出量計／3 その他1：内視鏡装置／第Ⅳ章4 手術関連．医療機器安全実践必須ガイド臨床工学編．中島章夫編・著．一般社団法人日本医療機器学会監修．東京，日本エムイー振興協会，2017．p.47-56／p.58-70／p.83-86／p.95-98／p.133-144。
3. 中島章夫，出淵靖志他（共著）：第10章 医療機器に関する関係法規．臨床工学講座 医用機器安全管理学 第2版第4刷．東京，医歯薬出版㈱，2018．p.189-206。
4. 中島章夫，氏平政伸他（共著）：第1章 生体物性序論．臨床工学講座 生体物性・医用材料工学 第1版第9刷．東京，医歯薬出版㈱，2018．p.1-5。
5. 中島章夫（共著）：第3章 光治療器／第6章-1冷凍手術器／第7章-1結石砕石装置．臨床工学講座 医用治療機器学 第1版第13刷．篠原一彦編著．東京，医歯薬出版㈱，2018．p.89-126／p.157-163／p.173-187。
6. 中島章夫：第1章 電気とは／第2章 電流と電圧の関係／第3章 直流回路．臨床工学講座 医用電気工学1第2版第4刷．中島章夫編著．東京，医歯薬出版㈱，2018．p.1-62。
7. 中島章夫：第3章 医療法／第7章 医療関連判例．臨床工学講座 関係法規 第1版第4刷．中島章夫編著．東京，医歯薬出版㈱，2018．p.19-30／p.87-97。
8. 中島章夫：第6章 キャパシタ(コンデンサ)／付録3 コンデンサの種類と構造．臨床工学講座 医用電気工学2 第2版第4刷．中島章夫編著．東京，医歯薬出版㈱，2018．p.71-96／p.191-195。
9. 中島章夫：第1章 半導体とは／第8章 オペアンプ／第9章 電子回路部品・半導体センサ／第15章通信．臨床工学講座 医用電子工学 第2版第4刷．中島章夫編著．東

京，医歯薬出版㈱，2018．p.1-12／p.93-126／p.127-136／p.201-234。

10. 中島章夫：第3章 電気・電子工学の基礎／第4章 医用電子回路／第6章 IV病院電気設備の安全基準／第7章 実習1・4・6・7・9．最新臨床検査学講座 医用工学概論 第1版第1刷．中島章夫編著．東京，医歯薬出版㈱，2018．p.31-94／p.154-162／p.165-167／p.173-174／p.177-181／p.184-186。

特集

1. 中島章夫：特集 循環器領域の臨床実習と学生教育の充実を目指して．Clinical Engineering Vol.28(No.7)．中島章夫編集，東京，㈱学研メディカル秀潤社，2017．p.509。
2. 中島章夫：特集 医療機器シミュレーション教育の最新の現状と課題 特集のねらい．医療機器学 Vol.87(No.5)．東京，日本医療機器学会，2017．p.493。

その他

研究指導

1. 澤田祐紀：故障時期予測可能なパルスオキシメータプローブチェックの基礎研究．Clinical Engineering Vol.28(No.7)．中島章夫編集．東京，㈱学研メディカル秀潤社，2017．p.560-561。

問題解説

1. 中島章夫：第38回第2種ME技術実力検定試験全問解説，Clinical Engineering：東京，㈱学研メディカル秀潤社，2017，Vol.28(No.1)，p.49-70（うち3問）。
2. 中島章夫：第38回第2種ME技術実力検定試験全問解説，Clinical Engineering：東京，㈱学研メディカル秀潤社，2017，Vol.28(No.2)，p.125-146（うち5問）。
3. 中島章夫：第38回第2種ME技術実力検定試験全問解説，Clinical Engineering：東京，㈱学研メディカル秀潤社，2017，Vol.28(No.3)，p.204-225（うち4問）。
4. 中島章夫：第38回第2種ME技術実力検定試験全問解説，Clinical Engineering：東京，㈱学研メディカル秀潤社，2017，Vol.28(No.4)，p.311-334（うち4問）。

学会等活動

1. 中島章夫：一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会 副代表理事。
2. 中島章夫：一般社団法人日本医療福祉設備協会 理事。
3. 中島章夫：一般社団法人日本生体医工学会 代議員，ME技術教育委員会講習会委員長。
4. 中島章夫：公益財団法人医療機器センター 臨床工学技士試験委員（幹事）。
5. 中島章夫：公益社団法人日本臨床工学技士会 教育研究会実行委員会委員。
6. 中島章夫：一般社団法人日本医療機器学会 代議員。
7. 中島章夫：日本レーザー医学会 評議員，安全教育委員会委員。
8. 中島章夫：一般社団法人日本コンピュータ外科学会 評議員。

福長 一義

講演

1. 福長一義：医療機器を安全に扱うための電気のトラブル事例と対策．平成29年度医療機器安全基礎講習会，札幌，2017年7月30日。

論文

1. Sawa Y¹, Matsumiya G², Matsuda K³, Tatsumi E⁴, Abe T⁵, Fukunaga K, Ichiba S⁶, Kishida A⁷, Kokubo K⁸, Masuzawa T⁹, Myoui A¹⁰, Nishimura M¹¹, Nishimura T¹², Nishinaka T¹³, Okamoto E¹⁴,

Tokunaga S¹⁵, Tomo T¹⁶, Tsukiya T⁴, Yagi Y¹⁷, Yamaoka T⁴ (¹Osaka University Graduate School of Medicine, ²Chiba University Graduate School of Medicine, ³University of Yamanashi Hospital, ⁴National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, ⁵Iwate Medical University School of Medicine, ⁶Nippon Medical School Hospital, ⁷Tokyo Medical and Dental University, ⁸Kitasato University School of Allied Health Science, ⁹Ibaraki University, ¹⁰Osaka University Hospital, ¹¹Tottori University, ¹²The University of Tokyo, ¹³Tokyo Women's Medical University, ¹⁴Tokai University, ¹⁵JCHO Kyushu Hospital, ¹⁶Oita University, ¹⁷Kyoto Prefectural University of Medicine): Journal of Artificial Organs 2017: the year in review: Journal of Artificial Organ Editorial Committee. J Artif Organs 21(1): 1-7, 2018.

その他

1. 福長一義:第27回ライフサポート学会フロンティア講演会主催, 三鷹, 2018年3月9-10日.

須田 健二

講演

5. 須田健二, 柏木ともか, 副島昭典:実血流量測定装置(QBモニター)の開発—Bluetooth通信への応用—. 第62回日本透析医学会学術集会・総会, 横浜, 2017年6月16日.
6. 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典:電気的インピーダンスを用いたシャント血流量の測定に関する実験的検討. 第62回日本透析医学会学術集会・総会, 横浜, 2017年6月17日.
7. 菊田雅宏, 中村敦司, 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典:血液透析中に発生する微小気泡と実血流量に関する実験的研究. 三多摩腎疾患治療医会 第74回研究会, 三鷹, 2017年12月3日.
8. 菊田雅宏, 中村敦司, 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典:血液透析中の脱血圧と微小気泡の測定. 第27回ライフサポート学会フロンティア講演会, 三鷹, 2018年3月9日.

論文

1. 須田健二, 柏木ともか, 菊田雅宏, 副島昭典:公募研究助成論文 血液透析中における再循環率の計測と抜針警報装置の開発. 日本透析医会雑誌 32(3): 520-531, 2017.

報告書

1. 石原美弥¹, 高倉照彦², 中島章夫³, 須田健二³, 中村淳史³, 新秀直⁴, 山田紀昭⁵, 櫛引俊宏¹ (¹防衛医大, ²亀田総合病院, ³杏林大・保・臨床工学科, ⁴東大病院, ⁵済生会横浜市東部病院):医療機器保守管理のガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究. 厚生労働行政推進調査事業費地域 医療基板開発推進研究事業「中小医療機関向け医療機器保守点検のあり方に関する研究」平成29年度 総括・分担研究報告書: 18-24, 2018.

瀬野 晋一郎

講演

1. 濱祐輔, 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 小林博子, 嶋津秀昭:電気刺激を利用した皮膚感覚の誘発と定量的分類評価の試み. 生体医工学シンポジウム2017, 上田, 2017年9月15-16日.

中村 淳史

講演

1. 菊田雅宏, 中村淳史, 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典:血液透析中に発生する微小気泡と実血流量に関する実験的研究. 第74回三多摩腎疾患治療医会, 三鷹, 2017年12月3日.
2. 菊田雅宏, 中村淳史, 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典:血液透析中の脱血圧と微小気泡の測定. 第27回ライフサポート学会フロンティア講演会, 三鷹, 2018年3月9-10日.

論文

1. Mukaida H¹, Hayashida M¹, Matsushita S¹, Yamamoto M¹, Nakamura A, Amano A¹ (¹Juntendo University): Brain natriuretic peptide (BNP) may play a major role in risk stratification based on cerebral oxygen saturation by near-infrared spectroscopy in patients undergoing major cardiovascular surgery. PloS One, 2017. DOI: 10.1371/journal.pone.0181154.
2. Mukaida H¹, Matsushita S¹, Inotani T¹, Nakamura A, Amano A¹ (¹Juntendo University): Continuous renal replacement therapy with a polymethyl methacrylate membrane hemofilter suppresses inflammation in patients after open-heart surgery with cardiopulmonary bypass. J Artif Organs 21(2): 188-195, 2018.

渡辺 篤志

講演

1. 濱祐輔, 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭:電気刺激を利用した皮膚感覚の誘発と定量的分類評価の試み. 生体医工学シンポジウム2017, 上田, 2017年9月16日.
2. 関根彩華, 原島敬一郎, 中島哲, 小林昌永, 木暮英輝, 渡辺篤志, 嶋津秀昭, 岸野智則:圧力と時間の可変機能つき持続加圧装置の開発. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.

鈴木 哲治

講演

1. 鈴木哲治, 門倉由莉, 中島章夫: NPPV用マスク装着における定量的評価に対する基礎検討. 第92回日本医療機器学会大会, 東京, 2017年6月30日.
2. 中島章夫, 小嶋宏紀, 鈴木哲治:電気メス使用時における手術室内電界強度分布の定量解析. 第92回日本医療機器学会大会, 東京, 2017年6月30日.
3. 澤田祐紀, 鈴木哲治, 中島章夫:プローブ予測機能付き簡易的パルスオキシメータプローブチェックの開発. 第92回日本医療機器学会大会, 東京, 2017年7月1日.
4. 鈴木哲治, 工藤元嗣, 小鷹丈彦, 中畑碧, 塚尾浩, 池永栄, 中島章夫, 木村主幸:循環器領域におけるより良い臨床実習のために〜日本臨床工学技士教育施設協議会のアンケート結果より〜. 第43回日本対外循環技術医学会大会, 札幌, 2017年10月9日.

著書

1. 鈴木哲治(分担執筆):第4章2-3体外循環(人工心肺装置) 2-4補助循環. 医療スタッフ, 製造業者等のための医療機器安全実践必携ガイド臨床工学編. 一般社団法人日本医療機器学会監修. 東京, 株式会社エム・イー振興協会, 2017. p.119-128.
2. 鈴木哲治(分担執筆):養成施設での教育の現状と課題

①（一社）日本臨床工学技士教育施設協議会のアンケート結果から. *Clinical Engineering* VOL.28 No.7. 東京, 株式会社学研プラス, 2017. p.554-550.

菊田 雅宏

講演

1. 菊田雅宏, 中村淳史, 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典: 血液透析中に発生する微小気泡と実血液流量に関する実験的研究. 第74回三多摩腎疾患治療学会, 三鷹, 2017年12月3日.
2. 菊田雅宏, 中村淳史, 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典: 血液透析中の脱血圧と微小気泡の測定. 第27回ライフサポート学会フロンティア講演会, 三鷹, 2018年3月9日-3月10日.

論文

1. 須田健二, 柏木ともか, 菊田雅宏, 副島昭典: 公募研究助成論文 血液透析中における再循環率の計測と抜針警報装置の開発. *日本透析医会雑誌* 32(3): 520-531, 2017.

木暮 英輝

講演

1. 濱祐輔, 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 電気刺激を利用した皮膚感覚の誘発と定量的分類評価の試み. 生体医工学シンポジウム2017, 上田, 2017年9月16日.
2. 関根彩華, 原島敬一郎, 中島哲, 小林昌永, 木暮英輝, 渡辺篤志, 嶋津秀昭, 岸野智則: 圧力と時間の可変機能つき持続加圧装置の開発. 第4回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2017年11月26日.

● 理学療法学科 ●

中野 尚子

講演

1. 中野尚子: 新生児乳児の自発運動(general movements; GMs)評価, writhing movementsについて. 長野県立こども病院研修会, 安曇野, 2017年5月26日.
2. 儀間裕貴, 島谷康司, 中野尚子, 渡辺はま, 多賀厳太郎: Fidgety movementsの観察評価と四肢自発運動特性-3次元動作解析装置を用いた検討-. 日本赤ちゃん学会第17回学術大会, 久留米, 2017年7月8-9日.
3. 中野尚子: 新生児乳児の自発運動(general movements; GMs)評価, writhing movement評価の実際. 長野県立こども病院研修会, 安曇野, 2017年8月4日.
4. 中野尚子: 脳性麻痺児の評価と治療の実際について. さいたま市療育センターさくら草, さいたま, 2017年8月30日.
5. 中野尚子: 発達障害の傾向を持つ児童~対応や保護者との関係づくりについて~. 杏林大学連携事業研修会, 羽村, 2017年9月12日.
6. 中野尚子: 脳性麻痺の理学療法~家庭でのアプローチ~. 上尾すてっぷの会, 上尾, 2017年9月16日.
7. 中野尚子: 新生児乳児の自発運動(general movements; GMs)評価, fidgety movementについて. 長野県立こども病院研修会, 安曇野, 2017年9月29日.
8. 儀間裕貴, 島谷康司, 中野尚子, 渡辺はま, 多賀厳太郎: 3次元動作解析装置をFidgety movements特性の検討.

第17回鳥取県理学療法士学会, 鳥取, 2017年11月12日.

9. 中野尚子: 新生児乳児の自発運動(general movements; GMs)評価, fidgety movement評価の実際. 長野県立こども病院研修会, 安曇野, 2017年12月1日.
10. 中野尚子: 小児理学療法について. 国立障害者リハビリテーションセンター, 所沢, 2018年1月30日.
11. 中野尚子: 低出生体重児の理学療法フォローアップ. 長野県立こども病院研修会, 安曇野, 2018年3月16日.

論文

1. Gima H, Kihara H, Watanabe H, Nakano H, Nakano J, Konishi Y, Nakamura T, Taga G: Early motor signs of autism spectrum disorder in spontaneous position and movement of the head. *Experimental brain research*, 236: 1139-1148, 2018. doi: 10.1007/s00221-018-5202-x. (Epub).

著書

1. 中野尚子: 第2章 脳性麻痺(痙直型両麻痺). 99のWeb動画付 イラストでわかる小児理学療法学演習. 東京, 医歯薬出版, 2018. p.10-16.

八並 光信

講演

1. 八並光信, 斎藤利恵, 橋立博幸, 一場友実, 崩将基, 渡辺頌太, 斎藤由里, 須村唯那: 大学生と在宅介護者の睡眠悪化リズムの相違点について Actigraphを用いた睡眠パラメーターの比較. 第52回日本理学療法学会大会, 東京, 2017年5月12-14日.
2. 橋立博幸, 藤澤祐基, 八並光信, 斎藤昭彦: 物品運搬課題の有無が座位前方リーチ動作の運動学的特性に及ぼす影響. 第52回日本理学療法学会大会, 東京, 2017年5月12-14日.
3. 宮原拓哉, 一場友実, 原田涼平, 安井加奈, 森迫千晶, 松平結花, 宮川哲生, 八並光信: 頸椎カラーおよび高齢者疑似体験装具を使用した際の呼吸機能と歩行時の呼吸応答および主観的疲労感へ与える影響. 第27回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 仙台, 2017年11月17-18日.

論文

1. 三宅英司¹, 八並光信, 倉林準(¹永生クリニック): パドミントンの傷害に関する疫学的調査. *臨床スポーツ医学会誌* 25(2):223-231, 2017.
2. 八並光信, 斎藤利恵, 橋立博幸, 一場友実, 崩将基¹, 渡辺頌太², 斎藤由里³, 須村唯那⁴(¹順天堂大学, ²代々木病院, ³川崎市病院局, ⁴千葉南病院): 大学生と在宅介護者の睡眠悪化リズムの相違点について Actigraphを用いた睡眠パラメーターの比較. *理学療法学* 44 (Suppl.2): O-ED-04-6, 2017.
3. 橋立博幸, 藤澤祐基, 八並光信, 斎藤昭彦: 物品運搬課題の有無が座位前方リーチ動作の運動学的特性に及ぼす影響. *理学療法学* 44 (Suppl.2): P-KS-22-2, 2017.
4. 宮原拓哉¹, 一場友実, 原田涼平², 安井加奈, 森迫千晶², 松平結花, 宮川哲生³, 八並光信(¹三井記念病院, ²神奈川県総合リハ, ³昭和大): 頸椎カラーおよび高齢者疑似体験装具を使用した際の呼吸機能と歩行時の呼吸応答および主観的疲労感へ与える影響. *日本呼吸ケア・リハビリテーション学会* 27 (Suppl.): 163s, 2017.

榎本 雪絵

講演

学会発表

1. Enomoto Y: The Roles and Activities of Physical

Therapist in the Area: Approaches for an independent operation of a health class by local resident. Asian Society of Human Services Congress 2017, Korea, 2017年9月1-3日.

講演・一般向け公開講座

1. 榎本雪絵: 高齢者のためのストレッチの効果と注意点. 三鷹, 2017年7月22日.
2. 榎本雪絵: 高齢者のためのストレッチの注意点. 三鷹, 2017年9月30日.
3. 榎本雪絵: 高齢者のためのストレッチの注意点. 三鷹, 2017年11月25日.
4. 榎本雪絵: 高齢者が健やかな生活をするために. 八王子, 2018年1月13日.
5. 榎本雪絵: 高齢者のためのストレッチの注意点. 三鷹, 2018年2月10日.
6. 榎本雪絵: ウォーミングアップとクールダウンの基礎とポイント. 三鷹市体育協会平成29年度三鷹市スポーツ指導員一般教養研修会, 東京, 2018年2月10日.
7. 榎本雪絵: 健康増進講座「高齢者のための運動のポイント: いつまでも健やかでいるために」. 三鷹いきいきプラス主催講演会, 東京, 2018年3月30日.

論文

1. 榎本雪絵: 健康教室の実践とその効果～自主運営化を目的とした介入研究. 日本自立支援介護学会誌 10(2): 134-140, 2017.
2. Enomoto Y, Kodaira M¹ (¹International University of Health and Welfare Graduate School): The Influence of Living Environment on Independence level of Special Nursing Home Residents. Asian Journal of Human Services 12: 30-45, 2017.

その他

1. 榎本雪絵: 東京都理学療法協会吸引研修会企画・開催, 2017年11月7日, 11月14日.
2. 榎本雪絵: 2017年度東京都理学療法協会北多摩ブロック部学術大会企画・開催, 2018年2月18日, 東京.
3. 榎本雪絵: 医療と介護と地域をつなぐ会フォーラム企画, 2018年2月17-18日, 東京.

木村 雅彦

講演

1. 木村雅彦: 人工呼吸中の理学療法. 第1回日本呼吸療法医学会医師向けセミナーアドバンスドコース, 東京, 2017年5月20日.
2. 見井田和正, 木村雅彦, 根本充: 障害を限りなく最小化して社会復帰を達成する. 第43回日本熱傷学会, 東京, 2017年5月26日.
3. 木村雅彦: 呼吸理学療法手技を再考する. 第44回日本呼吸療法医学会セミナー, 神戸, 2017年5月27日.
4. 木村雅彦: COPD予防のための呼吸リハビリ体操. 杉並保健所COPD予防教室, 東京, 2017年6月27日.
5. 木村雅彦: いま, セラピストは何を攻略すべきかー病態把握にもとづき障害の最小化を図るリハビリテーション. 社会医学技術学院同窓会研修会, 東京, 2017年7月1日.
6. 木村雅彦: フィジカルアセスメントを用いた治療介入の効果判定. 日本呼吸ケアネットワーク第24回呼吸ケアセミナー, 東京, 2017年7月23日.
7. 木村雅彦: 人工呼吸中の理学療法. 第2回日本呼吸療法医学会医師向けセミナーアドバンスドコース, 京都, 2017年9月16日.

8. 木村雅彦: フィジカルアセスメントを用いた治療介入の効果判定. 日本呼吸ケアネットワーク第25回呼吸ケアセミナー, 福岡, 2017年10月15日.
9. 木村雅彦: 臥床による弊害を最小化して離床を促進するために. 第18回群馬県呼吸リハビリテーション研究会, 前橋, 2017年11月11日.
10. 木村雅彦: 重症広範囲熱傷とリハビリテーション. 第5回JSEPTICリハビリテーション部会セミナー, 千葉, 2017年11月12日.
11. 伊藤汐里, 木村雅彦, 秋保光利, 鈴木秀俊, 池田晋悟, 福田幸人: 術後肺炎を合併し重症化したCOPD合併肺癌症例に対する長期の理学療法経験. 第27回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 仙台, 2017年11月17日.
12. 木村雅彦: 内部障害理学療法における国際貢献. 北海道内部障害リハビリテーション研究会, 八雲町, 2017年12月2日.
13. 木村雅彦: 熱傷治療における理学療法の立場から. 第26回日本熱傷学会関東地方会, 東京, 2018年1月20日.
14. 木村雅彦: ポジショニングと離床. 日本呼吸ケアネットワーク第26回呼吸ケアセミナー, 大阪, 2018年2月4日.

論文

1. 澁谷真香¹, 浅田浩明¹, 木村雅彦, 松永篤彦², 山本晋¹ (¹川崎幸病院, ²北里大): 大動脈瘤人工血管置換術後患者における術前身体機能が術後パス逸脱に及ぼす影響. 心臓リハビリテーション 23(2): 147-151, 2017.
2. 木村雅彦: 呼吸理学療法と早期離床. 救急・集中治療 29(9-10): 761-769, 2017.

著書

1. 木村雅彦(責任編集): 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト内部障害理学療法学循環・代謝第2版. 木村雅彦責任編集. 東京, 中山書店, 2017.
2. 木村雅彦(分担執筆): 循環器疾患の一般的治療. 内部障害理学療法学テキスト改訂第3版. 細田多穂監修. 東京, 南江堂, 2017. p.21-30.
3. 木村雅彦(分担執筆): 人工呼吸を受けた患者さんの神経障害や筋障害とは何ですか? ICU-AWとは?. 人工呼吸ケアQ&A第3版. 岡元和文編集. 東京, 総合医学社, 2017. p.329-330.
4. 木村雅彦(分担執筆): 心電図・不整脈の診かた. 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト内部障害理学療法学循環・代謝第2版. 木村雅彦責任編集. 東京, 中山書店, 2017. p.13-22.
5. 木村雅彦(分担執筆): 運動耐容能とその評価. 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト内部障害理学療法学循環・代謝第2版. 木村雅彦責任編集. 東京, 中山書店, 2017. p.35-44.
6. 木村雅彦(分担執筆): 心臓・腎臓リハビリテーション総論. 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト内部障害理学療法学循環・代謝第2版. 木村雅彦責任編集. 東京, 中山書店, 2017. p.121-132.
7. 木村雅彦(分担執筆): 心・腎・血管疾患および糖尿病患者の評価. 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト内部障害理学療法学循環・代謝第2版. 木村雅彦責任編集. 東京, 中山書店, 2017. p.133-142.
8. 木村雅彦(分担執筆): 試験. 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト内部障害理学療法学循環・代謝第2版. 木村雅彦責任編集. 東京, 中山書店, 2017. p.179-185.
9. 木村雅彦(分担執筆): CHAPTER 23呼吸理学療法[呼吸指導・呼吸介助・効果的な咳嗽とその介助方法]. 尾野敏明監修. ワンポイントEナース. 2017. <http://s-queue.net/program/sque1000/>.
10. 木村雅彦(分担執筆): 重症熱傷に対する早期リハビリテーション. 早期リハビリテーションの実践ー予後改善の

ためのアプローチ．西田修監修．東京，メジカルビュー，2018．p.283-295．

橋立 博幸

講演

学会発表

1. 橋立博幸，鈴木友紀，原田和宏，笹本憲男：地域在住の慢性期脳卒中片麻痺者における視覚的手がかりを用いた歩行練習が歩行パフォーマンスに及ぼす短期的効果．第52回日本理学療法学術大会，千葉，2017年5月12-14日．
2. 橋立博幸，清水夏生，太田智裕，及川真人：回復期リハビリテーション病棟に入院中の脳卒中者における施設内生活空間での身体活動評価と移動能力との関連．第52回日本理学療法学術大会，千葉，2017年5月12-14日．
3. 橋立博幸，藤澤祐基，八並光信，齋藤昭彦：物品運搬課題の有無が座位前方リーチ動作の運動学的特性に及ぼす影響．第52回日本理学療法学術大会，千葉，2017年5月12-14日．
4. 橋立博幸，島田裕之，牧迫飛雄馬，土井剛彦，堤本広大：地域在住高齢者における通常歩行速度の最小可検変化量と年齢による差異．第52回日本理学療法学術大会，千葉，2017年5月12-14日．
5. 八並光信，齋藤利恵，橋立博幸，一場友実，崩将基，渡邊頌太，斎藤由里，洲村唯那：大学生と在宅介護者の睡眠覚醒リズムの相違点について．第52回日本理学療法学術大会，千葉，2017年5月12-14日．
6. 清水夏生，橋立博幸，太田智裕，野口隆太郎，山中誠一郎，齋藤昭彦：入院中の回復期脳卒中者における歩行能力に応じた身体活動量の特性．第52回日本理学療法学術大会，千葉，2017年5月12-14日．
7. 澤田圭祐，橋立博幸，柴田未里，長沼大，甲田智洋，笹本憲男：訪問リハビリテーション利用者における上肢支持の有無による端座位からの立ち上がり動作能力の差異．第52回日本理学療法学術大会，千葉，2017年5月12-14日．
8. 大沼剛，吉松竜貴，原毅，橋立博幸，阿部勉：訪問リハビリテーション利用者における在宅生活中止となる原因の実態調査．第52回日本理学療法学術大会，千葉，2017年5月12-14日．
9. 橋立博幸，鈴木友紀，澤田圭祐，清水夏生，太田智裕，原田和宏：軽度運動麻痺を有する慢性期脳卒中症例における非麻痺側ラインステップ課題を用いた歩行練習効果．第54回日本リハビリテーション医学会学術集会，岡山，2017年6月8-10日．
10. 清水夏生，橋立博幸，太田智裕，山中誠一郎：支柱付き短下肢装具を処方された回復期脳卒中者におけるアウトカム評価の実態と装具処方時期との関連．第54回日本リハビリテーション医学会学術集会，岡山，2017年6月8-10日．
11. 太田智裕，橋立博幸，清水夏生，齋藤昭彦：回復期脳卒中者における金属支柱付き短下肢装具とプラスチック短下肢装具の処方の差異と動作能力との関連．第54回日本リハビリテーション医学会学術集会，岡山，2017年6月8-10日．
12. 山中誠一郎，橋立博幸，太田智裕，清水夏生：回復期脳卒中者における長下肢装具の処方時期はアウトカム評価と関連する．第54回日本リハビリテーション医学会学術集会，岡山，2017年6月8-10日．
13. Ota T, Hashidate H, Shimizu N, Saito A: Differences in improvement of mobility among people with subacute stroke who were prescribed meatal AFO or plastic AFO. The WCPT-AWP & PTAT Congress 2017, Thailand, June 28th-30th, 2017.

14. Shimizu N, Hashidate H, Ota T, Saito A: Reliability of physical activity measurement using an accelerometer in people with subacute stroke at a hospital setting. The WCPT-AWP & PTAT Congress 2017, Thailand, June 28th-30th, 2017.
15. Harada K, Umeki S, Goto J, Okawa N, Hashidate H, Akazawa N: Interim analysis of randomized controlled trial to maximize motor scores of the functional independence measure among patients following stroke in acute rehabilitation. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, September 16th-21st, 2017.
16. 澤田圭祐，橋立博幸，長沼大，甲田智洋，柴田未里，笹本憲男：低栄養状態で生活機能が低下した在宅高齢者に対する訪問リハビリテーションの介入効果の検討．第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会，長野，2017年9月23-24日．

論文

1. 原田和宏¹，平上二九三¹，井上優²，橋立博幸，齋藤圭介¹，香川幸次郎³（¹吉備国際大，²平成倉敷病院，³関西福祉大）：脳卒中理学療法における目標設定が機能改善に及ぼす効果のエビデンス．吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要18：29-33，2017.

著書

1. 橋立博幸（分担執筆）：歩行能力低下．エビデンスに基づく理学療法クイックリファレンス．内山靖編集．東京，医歯薬出版株式会社，2017．p.153-159.
2. 橋立博幸，島田裕之（分担執筆）：血管性認知症のケアとリハビリテーション．認知症予防専門士テキストブック改訂版．日本認知症予防学会監修．東京，徳間書店，2017．p.226-238.

一場 友実

講演

1. 八並光信，齋藤利恵，橋立博幸，一場友実，崩将基，渡邊頌太，斎藤由里，須村唯那：大学生と在宅介護者の睡眠悪化リズムの相違点について．Actigraphを用いた睡眠パラメーターの比較．第52回日本理学療法学術大会，東京，2017年5月12-14日．
2. 一場友実，片岡正教：重度障がい者のスポーツ実習．平成29年度 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会，東京，2017年9月7日．
3. Ichiba T, Miyagawa T: Comparison of 6-minutes walking distance test due to different oxygen conserving devices. 27th European Respiratory Society Annual Congress, Italy, September 9th-13th, 2017.
4. Miyagawa T, Ichiba T: Effects of high frequency chest wall oscillation (HAYEK SCS®) on mucus draining, rheological property and lung mechanics. 27th European Respiratory Society Annual Congress, Italy, September 9th-13th, 2017.
5. 一場友実：ポッチャとは．株式会社AZUMA三鷹市民向け講演会，三鷹，2017年10月3日，11月14日．
6. 一場友実：パラリンピックスポーツを楽しもう ～ポッチャの魅力～．新島地区PTA連合協議会，東京，2017年10月28日．
7. 一場友実，宮川哲夫，宮尾直樹，川島拓馬，荻野直，原田尚子，鈴木慎一郎，高橋太郎，大塚健吾：呼吸同調式レギュレーターの違いによる慢性呼吸不全患者の運動耐容能の変化．第27回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，仙台，2017年11月17-18日．

8. 一場友実, 宮川哲夫: 肺メカニクスと喀痰レオロジーの違いにおけるVibralung®の排痰効果. 第27回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 仙台, 2017年11月17-18日.
9. 宮原拓哉, 一場友実, 原田涼平, 安井加奈, 森迫千晶, 松平結花, 宮川哲夫, 八並光信: 頸椎装具カラー装着及び高齢者疑似体験装具を使用した際の呼吸機能と歩行時の呼吸循環応答及び主観的疲労感へ与える影響. 第27回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 仙台, 2017年11月17-18日.
10. 宮川哲夫, 一場友実: 体位排痰法. 埼玉県看護協会継続教育研修会, さいたま, 2017年11月28日.
11. 一場友実, 飛松好子, 片岡正教: ボッチャクラス分け員養成講習会. 日本ボッチャ協会, 岡山, 2017年12月17日.
12. 一場友実: 介護予防とリハビリテーション呼吸法も取り入れた運動療法の実践. 杏林大学・三鷹ネットワーク大学共催 地(知)の拠点「健康寿命延伸」講座, 三鷹, 2018年1月20日.
13. 一場友実, 奥田邦晴, 宮川哲夫, 片岡正教, 河合俊次, 矢作公佑, 斎藤匠哉: ボッチャ強化指定選手の呼吸機能と心理的競技能力診断検査の検討. 第27回日本障がい者スポーツ学会, 所沢, 2018年1月27-28日.
14. 矢作公佑, 奥田邦晴, 一場友実, 宮川哲夫, 片岡正教, 河合俊次, 居村修司: ボッチャにおける競技能力向上に向けた活動報告～これまでの活動と今後の展望～. 第27回日本障がい者スポーツ学会, 所沢, 2018年1月27-28日.
15. 一場友実: パラリンピックスポーツ ボッチャ. Sun City 吉祥寺, 三鷹, 2018年2月14日.
16. 一場友実: 障がい者スポーツを楽しもう ～ボッチャの魅力～. 東京都理学療法士協会, 三鷹, 2018年2月18日.
17. 一場友実: ボッチャの魅力. 東京都府中市住吉小学校, 東京, 2018年2月22日.
18. 一場友実: ボッチャ体験会. 笑ってげんき会, 三鷹, 2018年2月24日.
19. 一場友実: ボッチャとは. 第9回大学体育指導者養成研修会, 東京, 2018年3月4日.

論文

1. 一場友実: 障がい者スポーツボッチャを通じた地域のスポーツボランティアの育成. 杏林大学杏林CCRC研究所紀要 4: 115-118, 2017.

著書

1. 宮川哲夫, 一場友実 (分担執筆): 第6章3.呼吸リハビリテーション. リハビリテーション 基礎からナビゲーション. 橋詰直孝, 丸山仁司監修. 東京, 第一出版, 2017. p.80-85.

その他

1. 一場友実: 第18回日本ボッチャ選手権大会東日本ブロック予選, 公認クラス分け委員, 千葉, 2017年6月17-18日.
2. 一場友実, 杏林大学: ボッチャ強化へ「医科学合宿」, 大阪府立大学とのボッチャ連携協定, 毎日新聞, 2017年6月24日.
3. 一場友実: 第2回ボッチャ甲子園, 公認上級審判員, 東京, 2017年7月21日.
4. 一場友実: 千葉ボッチャ選手権大会, 公認上級審判員, 千葉, 2017年9月2-3日.
5. 一場友実: 第18回日本ボッチャ選手権大会本大会, 公認クラス分け委員, 大阪, 2017年11月11-12日.
6. 一場友実: ボッチャ体験で夢中, ニッカンスポーツ, 2017年12月5日.

7. 一場友実: 第14回関東ボッチャ選手権大会, 公認上級審判員, 神奈川, 2018年2月3-4日.
8. 一場友実: 高齢者が楽しめるボッチャ競技, ニッカンスポーツ, 2018年3月20日.

倉林 準

講演

1. 倉林準, 高橋芳弘, 土居健次郎, 藤原正之, 井上美幸: 自然なヒトの運動特性を痕跡から解析する新しい足底部計測方法の検討～バドミントン競技を例にして～. 日本臨床バイオメカニクス学会, 松山, 2017年11月24日.
2. 倉林準, 高橋芳弘, 土居健次郎, 藤原正之, 井上美幸: 自然なヒトの運動特性を痕跡から解析する足底部計測方法の検討. 日本福祉工学会, 山形, 2017年11月25日.
3. 藤原正之, 高橋芳弘, 倉林準: 有限要素法を用いたサポーター・装具の効果検証. 日本福祉工学会, 山形, 2017年11月25日.

その他

特許

1. 特許権者(学校法人杏林学園, VKスポーツ株式会社), 発明者(倉林準, 阿部秀夫) [特許取得]: 両面使用シャंकおよび当該シャंकを備えた一対のスポーツシューズ (特願2016-196964, 特許6288687号: 2018年2月16日).

藤澤 祐基

論文

1. 藤澤祐基, 岡島康友¹ (¹杏林大・医・リハビリテーション医学): 巧緻運動障害評価の考え方. リハ医学 54:219-225, 2017.

松村 将司

講演

学会発表

1. 松村将司: 良性発作性頭位めまい症を発症し10日間歩行不可能となったが, 徒手治療にて即時的に歩行可能となった症例. 第52回日本理学療法学術大会, 千葉, 2017年5月12-14日.
2. 栗原靖, 田上未来, 松田雅弘, 高橋哲二, 松村将司, 山田翔太: 革靴着用が歩行に及ぼす影響. 第52回日本理学療法学術大会, 千葉, 2017年5月12-14日.
3. 大石敦史, 瓜谷大輔, 中山孝, 阿久澤弘, 藤井瞬, 後藤健一, 松村将司, 公森隆夫, 佐伯武士, 竹井仁: 徒手理学療法の効果に対するSystematic Review. 第52回日本理学療法学術大会, 千葉, 2017年5月12-14日.
4. 浅田啓嗣, 瓜谷大輔, 公森隆夫, 松村将司, 大石敦史, 亀尾徹, 佐伯武士, 山内正雄, 来間弘展, 白尾泰宏, 原清和, 竹井仁: 徒手理学療法の運動機能・生活機能に対する効果. 第52回日本理学療法学術大会, 千葉, 2017年5月12-14日.

講演

1. 松村将司: 前庭機能障害に対する徒手理学療法～良性発作性頭位めまい症を中心として～. 日本理学療法士学会徒手理学療法部門主催研修会, 岡山, 2017年8月27日.
2. 松村将司: OMPTの歴史と総論, 関節系へのアプローチ. 日本理学療法士学会 徒手理学療法部門主催 認定必須(専門領域理学療法)研修会, 大阪, 2017年9月10日.
3. 松村将司, 山内正雄: 膝関節および足関節のモビライゼーション. 日本理学療法士学会 徒手理学療法部門主催

研修会, 東京, 2017年12月3日.

4. 松村将司:前庭機能障害に対する徒手理学療法～良性発作性頭位めまい症を中心として～.日本理学療法士学会徒手理学療法部門主催研修会, 東京, 2018年2月17日.

論文

1. 栗原靖¹, 田上未来¹, 松田雅弘¹, 高橋哲二², 山田翔太², 松村将司, 桑江豊¹, 河辺信秀¹, 柳澤健¹ (杏城西国際大学, ²北小岩整形外科):革靴着用時とスニーカー着用時による歩行の相違—運動学的・運動力学的比較—.理学療法科学 33(1): 19-23, 2018.

著書

1. 松村将司(分担執筆):半月板損傷. ケースで学ぶ徒手理学療法クリニカルリーズニング. 藤縄理編集. 林寛, 岩貞吉寛編集協力. 東京, 文光堂, 2017. p.286-292.
2. 松村将司(分担執筆):ダンス中に頸部痛を発症し, 環軸椎亜脱臼と診断された関節リウマチ患者に対する理学療法と日常生活指導の経験.そのとき理学療法士はこう考える. 藤野雄次編集. 東京, 医学書院, 2017. p.162-163.

門馬 博

講演

1. 門馬博:ロコモって何?. 井の頭地区住民協議会多世代交流委員会主催講演会, 三鷹, 2017年4月13日.
2. 門馬博: IVESを用いた運動療法～運動学習に向けたアシストデバイスとしての電気刺激の活用～. 運動神経科学研究会第11回脳神経科学セミナー, 東京, 2017年4月16日.
3. 谷口拓也, 武藤沙希, 門馬博:人工膝関節置換術後の膝関節伸展制限に関する後方視的検討～術前可動域, 矯正角度, インプラントの型式に着目して～. 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017年5月12-14日.
4. 元井康弘, 三宅英司, 宮武智子, 鈴木美岐, 和田晃, 小川潤, 馬場烈志, 金子弥樹, 門馬博: バドミントン大会のメディカルサポート報告～東京都八王子市での3年間の活動から～. 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017年5月12-14日.
5. Momma H: The influence of motor imagery ability on spinal excitability during motor imagery. WCPT-AWP2017, Thailand, 2017年6月27-30日.
6. 門馬博:アクティブラーニングを始めよう～教授法の基礎から反転授業動画の作成体験まで～. 全国リハビリテーション学校協会第50回教育研究大会ワークショップ, 新潟, 2017年8月30日.
7. 門馬博:リハビリテーションと“工学”をどう近づけるか. 日本神経理学療法学会参加型フォーラム2017リハ工学SIG, 東京, 2017年11月4日.
8. 門馬博:理学療法教育手法の変革～アクティブラーニングは今～協同学習. 第6回日本理学療法教育学会学術集会, 名古屋, 2017年11月26日.
9. 門馬博, 竹田紘崇, 奥住綾子, 齋藤利恵, 小島雄己, 柳川進:自治体とセラピストの連携による地域ケアのかたち～三鷹市リハビリテーション協議会の取り組み～. 平成29年度日本地域理学療法学会フォーラム, 神戸, 2018年1月28日.
10. 門馬博, 奥住綾子, 前原達也, 柳川進:介護予防介入による筋力とバランスの改善は移動困難感を軽減する～多様な高齢者に対するレジスタントトレーニングを中心とした集団介入の効果～. 第3回日本予防理学療法学会サテライト集会, 東京, 2018年2月4日.

論文

1. 門馬博, 竹林崇¹ (吉備国際大):脳卒中片麻痺患者の理学療法における脳科学と運動学習理論の応用. 理学療

法 34: 396-404, 2017.

2. 門馬博:キャリア教育と協同学習を取り入れた情報リテラシー教育の試み. 杏林大学研究報告(教養部門) 35: 47-53, 2018.

● 作業療法学科 ●

近藤 知子

講演

1. 近藤知子:作業科学研究のための基礎知識—作業科学文献の読み方. 第5回作業科学にまつわる研究法研修会, 長野, 2017年5月20日.
2. 竹嶋理恵, 近藤知子, 澤田有希, 硯川潤:介護保険における高齢者への最適な福祉用具提供に向けて. 第32回リハビリテーション工学カンファレンス, 神戸, 2017年8月23日.
3. 近藤知子, 竹嶋理恵, 澤田有希, 硯川潤:高齢者の居宅支援に際しての福祉用具の選択:ケアマネージャの視点と方法. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月21日.
4. 竹嶋理恵, 近藤知子, 澤田有希, 硯川潤:ハンドル形電動車椅子安全利用のための評価法開発に向けた文献調査—高齢者自動車運転評価との比較—. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月19日.
5. Kondo T, Sakiyama M, Takeshima R, Sawada Y, Suwa M, Inoue T, Suzurikawa J: Collaborative Occupation of Transdisciplinary Process for Assistive Technology Selection. 16th Annual Conference of Society for the Studies of Occupation, USA, October 20th, 2017.

報告書

1. 近藤知子, 竹嶋理恵, 澤田有希, 井上剛伸, 硯川潤:多職種連携とクライアント参加を促進する福祉用具選択支援ツールの開発. 科学研究費補助金(基盤C) 2017年度実施状況報告書.
2. 近藤知子, 岩崎也生子:「家・家事・日常作業の中にある健康と幸福」研究プロジェクト. ミサワホーム委託研究 2017年度 活動成果報告書.

下田 信明

講演

1. 長島泉, 武田湖太郎, 望月秀樹, 原田祐輔, 下田信明:手の心的回転課題における応答時間の加齢変化. 第8回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 富山, 2017年4月22日.
2. 下田信明:認知症のケアとリハビリテーション・作業療法. 八王子学園都市大学いちよう塾, 八王子, 2017年6月9・16・23・30日, 7月7日.
3. 鈴木優喜子, 長澤明, 望月秀樹, 下田信明:アルツハイマー病患者を対象としたFIM, HADLS, AMPSにおける得点分布の分析. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月22日.
4. 原田祐輔, 望月秀樹, 長島泉, 内原基成, 下田信明:脳卒中片麻痺患者における手の心的回転課題の遂行方略. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月22日.

論文

1. Nagashima I¹, Takeda K², Sato Y³, Mochizuki H¹, Harada Y¹, Shimoda N^{*}(Corresponding author) (Department of Occupational Therapy, Kyorin University, ²Fujita Health University, ³Tokushima

University): Difference in response times on hand mental rotation task between the back and palm of the hand in elderly individuals. *Journal of Ergonomic Technology* 17: 60-67, 2017.

その他

1. 下田信明: 日本在宅ケア学会平成29年度第1回公開講座企画・開催, 札幌, 2017年7月16日.

丹羽 正利

講演

1. 村松憲, 玉木徹, 生友聖子, 高村浩司, 丹羽正利: 糖尿病は運動野の体部位支配領域を縮小させる. 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017年5月12-14日.
2. 村松憲, 玉木徹, 生友聖子, 志茂聡, 丹羽正利: 糖尿病は運動野の体部位局在を変化させる. 第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋, 2017年5月18-20日.
3. Muramatsu K, Tamaki T, Ikutomo M, Shimo S, Niwa M: Effect of streptozotocin-induced diabetes on the movement representations in the motor cortex. 第40回日本神経科学大会, 千葉, 2017年7月20-23日.
4. Oshiro N, Muramatsu K, Ikutomo M, Kishino S, Niwa N: Morphological changes in abdominal muscles of streptozotocin-induced diabetes. 第40回日本神経科学大会, 千葉, 2017年7月20-23日.

論文

1. Muramatsu K¹, Ikutomo M¹, Tamaki T¹, Shimo S¹, Niwa M: (Health Science University): Effect of streptozotocin-induced diabetes on motor representations in the motor cortex and corticospinal tract in rats. *Brain Res.* 1680: 115-126, 2018.

望月 秀樹

講演

1. 長島泉, 武田湖太郎, 望月秀樹, 原田祐輔, 下田信明: 手の心的回転課題における応答時間の加齢変化. 第8回ニューロリハビリテーション学会学術集会, 富山, 2017年4月22日.
2. 望月秀樹: パワーリハビリテーション概論・各論. パワーリハビリテーション実務者研修会, 仙台, 2017年5月28日.
3. 鈴木優喜子, 長澤明, 望月秀樹, 下田信明: アルツハイマー病患者を対象としたFIM, HADLS, AMPSにおける得点分布の分析. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月22-24日.
4. 原田祐輔, 望月秀樹, 長島泉, 内原基成, 下田信明: 脳卒中片麻痺患者における手の心的回転課題の遂行方略. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月22-24日.
5. 望月秀樹: パワーリハビリテーション疾患別運営方法. パワーリハビリテーション指導員研修会, 東京, 2017年9月30日-10月1日.
6. 望月秀樹: パワーリハビリテーション概論・各論・評価学. パワーリハビリテーション実務者研修会, 山形, 2017年11月26日.

論文

1. Nagashima I, Takeda K, Sato Y, Mochizuki H, Harada Y, Shimoda N: Difference in response times on hand mental rotation task between the back and palm of the hand in elderly individuals. *J Ergon Technol* 17: 60-67, 2017.

著書

1. 望月秀樹 (分担執筆): 理学療法士・作業療法士の立場

から. 高齢者看護学 第3版. 亀井智子編集. 東京, 中央法規出版, 2018. p.162-163.

報告書

1. 竹内孝仁, 望月秀樹, 小平めぐみ: 『「アジア健康構想」実現に向けた自立支援に資する介護事業のアジア国際展開等に関する調査』における介護職と他の専門職間連携実態の調査. 内閣官房「国際・アジア健康構想協議会」委託事業2017年度 調査報告書.

その他

1. 望月秀樹: 第16回日本自立支援介護・パワーリハ学会大会 企画・開催, 東京, 2017年6月10-11日.

岩崎 也生子

講演

1. 岩崎也生子: 小児期の高次脳機能障害患者が抱える課題の現状分析～成人高次脳機能障害との比較から～. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月23日.
2. Tung W-L, Shiraishi H, Iwasaki Y, Parry ND, Chou Y-C: A Comparison of Japanese and Taiwanese Occupational Therapy Students' Attitudes toward International Exchanges. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, Taiwan, October 21st, 2017.
3. Chou Y-C, Shiraishi H, Tung W-L, Parry ND, Iwasaki Y: The Cross-cultural Learning Experiences in Japan for Taiwan Students. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, Taiwan, October 21st, 2017.
4. Iwasaki Y, Shiraishi H, Tung W-L, Parry ND, Chou Y-C: Experiences of International Fieldwork in Japan from Taiwanese Students. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, Taiwan, October 22nd, 2017.
5. Iwasaki Y, Chou Y-C, Tung W-L, Shiraishi H, Parry ND: A Comparison of International Perspective between Japanese and Taiwanese Occupational Therapy Faculty. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, Taiwan, October 22nd, 2017.

論文

1. 岩崎也生子: 脳卒中後のうつ—脳卒中とともにうつ症状を患う場合の作業療法. 臨床作業療法 14(2):110-114, 2017.

鈴木 健太郎

講演

1. 鈴木健太郎, 北越大輔, 青木壘, 野口颯太, 鈴木雅人: 転倒予防へのロボットを用いたゲームの活用. 第14回東京都作業療法士学会, 東京, 2017年6月25日.
2. 北越大輔, 野口颯太, 鈴木健太郎, 鈴木雅人: A Study on Fall-Prevention System for Older Adults with Communication Robot, ICBACE2017, 京都, 2017年9月17日.
3. 鈴木健太郎, 北越大輔, 清水俊平, 鈴木雅人: タブレット端末を用いた認知訓練システムの考案. 第27回日本保健科学学会, 東京, 2017年9月30日.
4. 青木壘, 北越大輔, 鈴木健太郎, 鈴木雅人: ロボットを用いた対戦型ゲームにもとづく転倒予防システムの開発. 第27回日本保健科学学会, 東京, 2017年9月30日.
5. 鈴木健太郎: シンポジウム・第六次千葉県障害者計画の目指すもの. 第六次千葉県障害者計画フォーラム, 千葉, 2017年12月26日.

その他

1. 鈴木健太郎：NPHC研究会企画・開催，東京，2018年3月10日．

早坂 友成

講演

1. 早坂友成：リワークにおけるOTの眼—その瞬間を捉える．うつ病リワーク研究会年次研究会，福岡，2017年4月22日．
2. 早坂友成：生涯教育研修会現職者選択研修—精神障害領域の作業療法．東京都作業療法士会，東京，2017年5月21日．
3. 早坂友成，長島泉，坪井貴嗣，松本由美，渡邊衡一郎：難治性うつ状態と強迫性パーソナリティ障害が併存する患者の作業遂行特徴．第113回日本精神神経学会，名古屋，2017年6月22日．
4. 早坂友成，長島泉，坪井貴嗣，片桐建志，野崎和博，松本由美，栗原真理子，二田未来，渡邊衡一郎：難治性うつ状態におけるC群パーソナリティ障害併存者の作業遂行特徴．第14回日本うつ病学会，東京，2017年6月22日．
5. 早坂友成：生涯教育研修会・専門作業療法士共通研修会；作業療法導入の種類と実際・選び方．日本作業療法士協会，東京，2017年8月26日．
6. 早坂友成：生涯教育研修会・専門作業療法士共通研修会；作業療法導入のコツ．日本作業療法士協会，東京，2017年8月26日．
7. 早坂友成：生涯教育研修会・専門作業療法士共通研修会；作業療法導入の展開．日本作業療法士協会，東京，2017年8月27日．
8. 早坂友成：愛知県作業療法士会・特別研修会；運動を作業療法の手段とする．日本作業療法士協会，名古屋，2017年9月3日．
9. 早坂友成，長島泉，坪井貴嗣，松本由美，渡邊衡一郎：難治性うつ状態における抑うつ性パーソナリティ障害の作業遂行特徴．第51日本作業療法学会，東京，2017年9月24日．
10. 早坂友成：生涯教育研修会・認定作業療法士共通研修会—管理運営．日本作業療法士協会，札幌，2018年1月27-28日．
11. Hayasaka T, Nagashima I, Tsuboi T, Matsumoto Y, Watanabe K : The Occupational Performance Characteristics of Avoidant Personality Disorder in Treatment-Resistant Depressive State. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, Taiwan, October 20th-22nd, 2017.
12. 早坂友成：生涯教育研修会・認定作業療法士共通研修会—管理運営．日本作業療法士協会，東京，2018年1月27-28日．
13. 早坂友成：大会長講演，うつ病治療における作業療法の未来．第2回日本うつ病作業療法研究会学術大会，東京，2018年3月3日．

論文

1. 早坂友成：気分障害と社会生活を見据えた作業療法．作業療法ジャーナル51(11)：1086-1091，2017．
2. 早坂友成，坪井貴嗣，長島泉，渡邊衡一郎：うつ病とパーソナリティ障害の併存．精神科30(6)：486-490，2017．
3. 早坂友成：抑うつ状態へのアセスメントとアプローチ．臨床作業療法14(2)：96-100，2017．

著書

1. 早坂友成（分担執筆）：第V章精神機能評価法：精神機能作業療法における情報収集：情報収集の目的と留意点／疾患別の評価事例：抑うつ障害および双極性障害．標準作業療法学・専門分野—作業療法評価学 第3版．東京，医学書院，2017．pp.474-477／pp.518-520．

2. 早坂友成（分担執筆）：第5章：精神科リエゾンチームにおける各職種の役割とチームの調整：作業療法士の立場から．精神科リエゾンチームガイドブック．東京，医歯薬出版，2017．pp.67-72．
3. 早坂友成：第1回PT・OT国家試験模擬試験—精神神経系．東京，医歯薬出版株式会社，2017．
4. 早坂友成：2016年度理学療法士・作業療法士国家試験—全国統一模擬試験・秋模試—精神・心理．東京，三輪書店，2017．
5. 早坂友成：第2回PT・OT国家試験模擬試験—精神神経系．東京，医歯薬出版株式会社，2017．
6. 早坂友成：2016年度理学療法士・作業療法士国家試験—全国統一模擬試験・冬模試—精神・心理．東京，三輪書店，2017．

その他

学会主催

1. 早坂友成：第60回作業療法全国研修会．企画・開催．滋賀，2017年10月7・8日．
2. 早坂友成：第61回作業療法全国研修会．企画・開催．新潟，2017年12月9・10日．
3. 早坂友成：第2回日本うつ病作業療法研究会学術大会．企画・開催，2018年3月3・4日．

齋藤 利恵

講演

1. 齋藤利恵，八並光信：睡眠障害を抱える学生の臨床実習中における睡眠覚醒リズムの継時的変化．第50回日本作業療法学会，東京，2017年9月23日．
2. 門馬博，竹田紘崇，奥住綾子，齋藤利恵，小島雄己，柳川進：自治体とセラピストの連携による地域ケアのかたち 三鷹市リハビリテーション協議会の取り組み．平成29年度地域理学療法学会フォーラム，神戸，2018年1月28日．

大城 直美

講演

1. 大城直美，村松憲，生友聖子，岸野寿々帆，丹羽正利：Morphological changes in abdominal muscles of streptozotocin-induced diabetes．長期間の高血糖によって重度に誘発される腹壁筋の形態変化．第40回神経科学学会，千葉，2017年7月20-23日．

鈴木 優喜子

講演

学術集会における発表

1. 鈴木優喜子，長澤明，望月秀樹，下田信明：アルツハイマー病患者を対象としたFIM, HADLS, AMPSにおける得点分布の分析．第51回日本作業療法学会，東京，2017年9月22-24日．

長島 泉

講演

1. 長島泉，武田湖太郎，望月秀樹，原田祐輔，下田信明：手の心的回転課題における応答時間の加齢変化．第8回ニューロリハビリテーション学会学術集会，富山，2017

年4月22日。

2. 長島泉, 早坂友成, 坪井貴嗣, 松本由美, 渡邊衡一郎: 難治性気分障害と境界性パーソナリティ障害が併存する患者の作業遂行特徴. 第113回日本精神神経学会学術総会, 名古屋, 2017年6月22-24日.
3. 早坂友成, 長島泉, 坪井貴嗣, 松本由美, 渡邊衡一郎: 難治性うつ状態と強迫性パーソナリティ障害が併存する患者の作業遂行特徴. 第113回日本精神神経学会学術総会, 名古屋, 2017年6月22-24日.
4. 早坂友成, 長島泉, 坪井貴嗣, 片桐建志, 野崎和博, 松本由美, 栗原真理子, 二田未来, 渡邊衡一郎: 難治性うつ状態におけるC群パーソナリティ障害併存者の作業遂行特徴. 第14回日本うつ病学会総会, 東京, 2017年7月21-23日.
5. 原田祐輔, 望月秀樹, 長島泉, 内原基成, 下田信明: 脳卒中片麻痺患者における手の心的回転課題の遂行方略. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月22-24日.
6. 早坂友成, 長島泉, 坪井貴嗣, 松本由美, 渡邊衡一郎: 難治性うつ状態における抑うつ性パーソナリティ障害の作業遂行特徴. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月22-24日.
7. Hayasaka T, Nagashima I, Katagiri T, Tsuboi T, Matsumoto Y, Watanabe K: Occupational Performance Characteristics of Avoidant Personality Disorder in Treatment-Refractory Depressive State. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy symposium, Taiwan, October 20th-22nd, 2017.
8. 二田未来, 長島泉, 神田優太, 松本由美, 渡邊衡一郎: 具体的な作業を通じて悲しみや不安などの感情表出が可能になった事例. 第2回日本うつ病作業療法研究会学術大会, 東京, 2018年3月3-4日.

論文

1. Nagashima I, Takeda K¹, Sato Y², Mochizuki H, Harada Y, Shimoda N³ (¹Fujita Health University, ²Tokushima University, ³Tokyo Kasei University): Difference in response times on hand mental rotation task between the back and palm of the hand in elderly individuals. Journal of Ergonomic Technology 17(1): 60-67, 2017.

著書

1. 長島泉: II章 精神科作業療法の役割 2 総合病院/IV章 各精神疾患の精神科作業療法 6 摂食障害. 精神科作業療法の理論と技術. 早坂友成編集. 東京, メジカルビュー社, 2018. p.40-46/p.179-190.

原田 祐輔

講演

1. 長島泉, 武田湖太郎, 望月秀樹, 原田祐輔, 下田信明: 手の心的回転課題における応答時間の加齢変化. 第8回ニューロリハビリテーション学会学術集会, 富山, 2017年4月22日.
2. 原田祐輔, 望月秀樹, 長島泉, 内原基成, 下田信明: 脳卒中片麻痺患者における手の心的回転課題の遂行方略. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017年9月22-24日.
3. Kurebayashi Y, Harada Y: The mediating effect of self-compassion on association process recording and self-focus: A pretest-posttest study. Asia-Pacific Conference on Education, Social Studies and Psychology, Taiwan, March 13th-15th, 2018.

論文

1. Nagashima I¹, Takeda K², Sato Y³, Mochizuki H¹, Harada Y, Shimoda N¹ (¹Department of Occupational Therapy, Kyorin University Faculty of Health

Sciences, ²Fujita Health University, ³Tokushima University): Difference in response times on hand mental rotation task between the back and palm of the hand in elderly individuals. J Ergon Technol 17: 60-67, 2017.

前田 直

講演

1. 前田直: 精神障害者の配偶者が抱える生活上の困難さに関する現状調査. 第60回日本病院・地域精神医学会総会, 長野, 2017年11月3-4日.

その他

1. 前田直, 横山恵子, 蔭山正子: 配偶者・子への支援探る. しんぶん赤旗, 2017年9月4日.
2. 前田直: 精神障害者の配偶者支える輪. 毎日新聞, 2017年11月8日.
3. 前田直: 精神に障害がある人の配偶者の生活①. しんぶん赤旗, 2017年11月3日.
4. 前田直: 精神に障害がある人の配偶者の生活②. しんぶん赤旗, 2017年11月10日.
5. 前田直: 精神に障害がある人の配偶者の生活③. しんぶん赤旗, 2017年11月17日.
6. 前田直: 精神に障害がある人の配偶者の生活④. しんぶん赤旗, 2017年11月24日.

● 診療放射線技術学科 ●

岡田 洋二

講演

1. 関健介, 石川純也, 岡田洋二: 一重項酸素に対するフラン脂肪酸の消去活性—速度論的研究—. 第70回日本酸化ストレス学会学術集会, つくば, 2017年6月28-29日.

久原 重英

講演

1. Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Yamada M, Senoo A: 臨床用MR装置を用いた出土木材非破壊的年輪測定のための超高解像度MRI (uHR-MRI) の基礎的検討. 第45回日本磁気共鳴医学会大会, 宇都宮, 2017年9月14-16日.
2. Sato T, Nakayama S, Kamikawa S, Ichinose N, Kuhara S, Kanaya S, Minato K, Nomura C: Motion correction for ECV Map in cardiac MRI. 生体医工学シンポジウム2017, 長野, 2017年9月15-16日.
3. 石出桃子, 森美加, 芝生春菜, 小林邦典, 久原重英: SSFSE法における血流アーチファクトの検討. 第33回日本診療放射線技師学術大会, 函館, 2017年9月22日.
4. Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Yamada M, Senoo A: Feasibility study of visualizing annual ring structures of dried wood with Ultra-Short Echo Time (UTE) magnetic resonance imaging (MRI) for chronological measurements. ESMRMB Congress 2017, Spain, 2017年10月19-21日.
5. Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Yamada M, Senoo A: Feasibility study of ultra-high-resolution magnetic resonance imaging (uHR-MRI) for non-destructive tree-ring measurement of archaeological wood. ESMRMB Congress 2017, Spain, 2017年10月

19-21日.

論 文

1. Sato T^{1,2}, Kamikawa S², Nakayama S², Ichinose N³, Kuhara S, Kanaya S², Minato K², Nomura C^{4,5} (¹Gunma Prefectural College of Health Science, ²Nara Institute of Science and Technology, ³Canon Medical Systems Corporation, ⁴Instituto do Coração, Sao Paulo, Brazil, ⁵University of Sao Paulo Medical School, Sao Paulo, Brazil): Motion Correction for Extracellular Volume Fraction Mapping in Cardiac MRI. Adv Biomed Eng.7:82-87, 2018.
2. Ishikawa H¹, Seino S¹, Takasumi H¹, Kikori K¹, Harata M¹, Kanezawa T¹, Watanabe N¹, Satou T¹, Nishina T², Kuhara S (¹Public University Corporation Fukushima Medical University, ²Toshiba Medical Systems Corporation): The Measurement Precision and Accuracy of T1 Mapping Using Polarity Corrected (PC) TI Prep Tool. Japanese Journal of Radiological Technology 74:13-21, 2018.
3. Takeshima H^{1,2}, Saitoh K², Nitta S², Shiodera T², Takeguchi T², Bannae S³, Kuhara S (¹Research and Development Center, Canon Medical Systems Corporation, ²Corporate Research & Development Center, Toshiba Corporation, ³Healthcare ICT Development Center, Canon Medical Systems Corporation): Estimation of Spatiotemporal Sensitivity Using Band-limited Signals with No Additional Acquisitions for k-t Parallel Imaging. Magn Reson Med Sci. 2018. doi:10.2463/mrms.mp.2017-0132.

黒木 一典

講 演

1. Masuda Y, Kuroki K, Tateishi H, Kariyasu T, Kinoshita Y, Shiga H, Watanabe M, Yokoyama K : Successful balloon-occluded retrograde transvenous obliteration (BRTO) for large gastric varices using selective coil embolization of multiple hepatofugal collateral vessels. Cardiovascular and interventional radiological society of Europe, Denmark, September 16th-20th, 2017.
2. 立石秀勝, 黒木一典, 増田裕, 荻安俊哉, 横山健一, 井上政則, 福岡利仁: 多発筋炎によると考えられた難治性乳糜胸に対しリポドールリンパ管造影が奏功した1例. 東京アンギオ・IVR会, 東京, 2018年1月11日.
3. 黒木一典: 組織診断におけるCTガイド下生検の有用性について. Lung cancer workshop in Mitaka, 三鷹, 2018年1月24日.
4. 立石秀勝, 黒木一典, 増田裕, 荻安俊哉, 木下雄介, 志賀久恵, 渡邊正中, 横山健一: 術前塞栓術が有効であった 咽頭後間隙のCastleman's disease. ER画像・IVR研究会, 東京, 2018年2月2日.
5. 立石秀勝, 五明美穂, 町田治彦, 黒木一典, 横山健一: 結節性硬化症における腎血管筋脂肪腫AMLと腎動脈瘤の画像診断とIVR. 多摩地区結節性硬化症診療ネットワークセミナー, 立川, 2018年2月22日.
6. Kuroki K, Honya K, Kariyasu T, Yokoyama K: Influence of Magnetic Substances on Sensor-based Electromagnetic navigation system. The 24th European Congress of Radiology (ECR), Austria, February 28th,- March 4th, 2018.
7. Ohara A, Shiga H, Machida H, Gomyo M, Yamamura W, Kariyasu T, Masuda Y, Kuroki K, Yokoyama K:

Temporal Bone CT Evaluation of Middle Ear Cholesteatoma with the Latest Ultra-high-resolution CT: What the Radiologist Needs to Know. European Congress of Radiology, Austria, February 28th,- March 4th, 2018.

小林 邦典

講 演

1. Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Yamada M, Senoo A: 臨床用MR装置を用いた出土木材非破壊的年輪測定のための超高解像度MRI (uHR-MRI) の基礎的検討. 第45回日本磁気共鳴医学会大会, 宇都宮, 2017年9月14-16日.
2. 石出桃子, 森美加, 芝生春菜, 小林邦典, 久原重英: SSFSE法における血流アーチファクトの検討. 第33回日本診療放射線技師学術大会, 函館, 2017年9月22日.
3. Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Yamada M, Senoo A: Feasibility study of visualizing annual ring structures of dried wood with Ultra-Short Echo Time (UTE) magnetic resonance imaging (MRI) for chronological measurements. ESMRMB Congress 2017, Spain, 2017年10月19-21日.
4. Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Yamada M, Senoo A: Feasibility study of ultra-high-resolution magnetic resonance imaging (uHR-MRI) for non-destructive tree-ring measurement of archaeological wood. ESMRMB Congress 2017, Spain, 2017年10月19-21日.

中島 延淑

講 演

1. 白川佑也, 山下晃司, 橋本直也, 中井健裕, 中西章仁, 中島延淑: 散乱線補正処理における撮影条件の検討. 第73回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2017年4月13-16日.
2. 白川佑也, 中井健裕, 山下晃司, 首藤淳, 清水藍里, 中島延淑, 中西章仁: 高電圧撮影領域における散乱線補正処理の基礎的検討. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 横浜, 2017年10月19-21日.

橋本 雄幸

講 演

1. Hashimoto T, Kawamura R: The development of the random sampling method using the Hermitian symmetry for compressed sensing MRI. 第113回日本医学物理学会学術大会, 横浜, 2017年4月13-16日.
2. Kawamura R, Hashimoto T: Optimization of random sampling for compressed sensing MRI. 第113回日本医学物理学会学術大会, 横浜, 2017年4月13-16日.
3. Shinohara H, Hashimoto T: Study on the quantitative accuracy of three-dimensional brain MRI using compressed sensing. 第113回日本医学物理学会学術大会, 横浜, 2017年4月13-16日.
4. Shinohara H, Hashimoto T: Study on the cause of edge artifact in PSF-based image reconstruction and its mitigation by Map-EM method with L1 regularization. 第113回日本医学物理学会学術大会, 横浜, 2017年4月13-16日.
5. Shinohara H, Hashimoto T: Development of a text-data based learning tool simulating the contrast of

MR image. 第113回日本医学物理学会学術大会, 横浜, 2017年4月13-16日.

6. 小島慎也, 橋本雄幸, 篠原広行: Compressed Sensing for Three-Dimensional Magnetic Resonance Imaging: A Fundamental Study Using the Projection onto Convex Sets (POCS). 第73回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2017年4月13-16日.
7. 橋本雄幸: 情報科学. 2017年医学物理士ミニマム講習会 (物理工学系), 東京, 2017年6月4日.
8. Kawamura R, Hashimoto T: Optimization of random sampling for compressed sensing MRI. 第45回日本磁気共鳴医学会大会, 宇都宮, 2017年9月14-16日.
9. 橋本雄幸: 教育講演「画像再構成問題と定量性」. 第37回日本核医学技術学会総会学術大会, 横浜, 2017年10月5-7日.
10. 深谷香瑠, 松友紀和, 橋本雄幸, 山本智朗, 佐藤英介: ドパミントランスポータSPECTにおけるcompressed sensingを用いた短時間収集の試み. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月20-22日.

論文

1. 橋本雄幸: 連載 Excelを用いた基礎演習(2). 医学物理 36(4): 236-241, 2017.
2. 橋本雄幸: 連載 Excelを用いた基礎演習(3). 医学物理 37(1): 54-60, 2017.
3. 篠原広行, 橋本雄幸, 竹山信之, 田中絵里子, 林高樹, 橋本東児: 数値および視覚による3次元直交座標サンプリングを用いた圧縮センシングMRIの評価. 医学物理 37(2): 70-84, 2017.
4. 橋本雄幸: 連載 Excelを用いた基礎演習(4). 医学物理 37(2): 126-131, 2017.
5. 篠原広行, 橋本雄幸, 竹山信之, 田中絵里子, 林高樹, 橋本東児: 数値および視覚による2次元直交座標サンプリングを用いた圧縮センシングMRIの評価. 医学物理 37(3): 137-149, 2017.
6. 篠原広行, 橋本雄幸, 竹山信之, 田中絵里子, 林高樹, 橋本東児: 数値および視覚による2次元極座標サンプリングを用いた圧縮センシングMRIの評価. 医学物理 37(3): 150-164, 2017.
7. 橋本雄幸: 誌上講座(連載) 統計学の基礎知識(1). 診療放射線学教育 5(1): 41-45, 2017.
8. 橋本雄幸: 誌上講座(連載) 統計学の基礎知識(2). 診療放射線学教育 5(2): 21-24, 2017.

著書

1. 大西英雄, 橋本雄幸, 山本範泰, 佐保辰典, 松友紀和, 花岡宏平, 甲谷理温: 第6章 統計解析. 核医学画像評価. 東京, オーム社, 2018.

その他

1. 橋本雄幸: 医療統計学「1. 基礎」. 「放射線災害の全時相に対応できる人材育成」履修証明プログラム e-ラーニングコンテンツ, 筑波大学, 2018.
2. 橋本雄幸: 医療統計学「2. 確率」. 「放射線災害の全時相に対応できる人材育成」履修証明プログラム e-ラーニングコンテンツ, 筑波大学, 2018.
3. 橋本雄幸: 医療統計学「3. 多変量解析」. 「放射線災害の全時相に対応できる人材育成」履修証明プログラム e-ラーニングコンテンツ, 筑波大学, 2018.
4. 橋本雄幸: 医療統計学「4. 医学統計」. 「放射線災害の全時相に対応できる人材育成」履修証明プログラム e-ラーニングコンテンツ, 筑波大学, 2018.
5. 橋本雄幸: 医療統計学「5. ROC解析」. 「放射線災害の全時相に対応できる人材育成」履修証明プログラム e-ラーニングコンテンツ, 筑波大学, 2018.

6. 橋本雄幸: 医療統計学「6. 医学統計用ソフトウェア」. 「放射線災害の全時相に対応できる人材育成」履修証明プログラム e-ラーニングコンテンツ, 筑波大学, 2018.

山本 智朗

講演

1. 松友紀和, 山本智朗: 体幹部SPECTにおける定量精度からみた散乱線補正係数の最適化. 日本放射線技術学会第71回東京支部春季学術大会, 東京, 2017年5月20日.
2. 豊崎庄平, 松友紀和, 山本智朗, 佐藤英介: ^{123}I -FP-CIT イメージングにおけるイメージフュージョンを利用した体動補正の有用性. 第37回日本核医学技術学会総会学術大会, 横浜, 2017年10月5-7日.
3. Hirano A, Yamamoto T, Matsutomo N, Sato E: Chronological changing of radiopurity of $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -exametazime using chromatography. The 7th Annual International ASNMT, Yokohama, October 6th, 2017.
4. 佐越美香, 清本龍正, 松友紀和, 山本智朗, 佐藤英介: CT減弱補正においてSPECT画像とX線CT画像の位置ずれが骨SPECTの定量性に与える影響. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月20-22日.
5. 深谷香瑠, 松友紀和, 橋本雄幸, 山本智朗, 佐藤英介: ドパミントランスポータSPECTにおけるcompressed sensingを用いた短時間収集の試み. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月20-22日.
6. 清本龍正, 松友紀和, 山本智朗, 佐藤英介: アミロイドと脳血流の同時評価を目的とした2核種同時SPECT収集の基礎検討—画像再構成条件の最適化—. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月20-22日.

論文

1. Matsutomo N, Matsumoto S, Yamamoto T, Sato E: Validation of a calibration method using the cross-calibration factor and system planar sensitivity in quantitative single-photon emission computed tomography imaging. Radiol Phys Technol. 10(4):439-445, 2017.
2. Matsutomo N, Fukunaga M¹, Onishi H², Yamamoto T (1Kurashiki Central Hospital, 2Prefectural University of Hiroshima): Corneal Dose Reduction Using a Bismuth-coated Latex Shield over the Eyes During Brain SPECT/CT. J Nucl Med Technol. 45(3): 214-218, 2017.

小池 貴久

講演

1. 小池貴久: 核医学に必要な放射線物理学の基礎. 第37回日本核医学技術学会総会学術大会, 横浜, 2017年10月5-7日.

論文

1. 小池貴久: 核医学に必要な放射線物理学の基礎. 日本核医学技術学会誌 38: 69-74, 2018.

関 健介

講演

1. 関健介, 石川純也, 岡田洋二: 一重項酸素に対するフラシ脂肪酸の消去活性—速度論的研究—. 第70回日本酸化ストレス学会学術集会, つくば, 2017年6月28-29日.
2. 関健介, 津田美智子, 後藤恭一, 金子哲也: 可搬型液体シンチレーション検出器による飲料水中 ^3H 定量分析に

関する基礎的研究. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 2017年10月31日-11月2日.

論文

1. 砂村京子¹, 荻津真理子², 安藝敦子³, 高橋朋子⁴, 藤嶋祥子⁵, 関健介, 稲垣尚美⁶, 妻鹿智晃¹, 湯原裕子⁷, 渡辺美恵⁸ (¹東京保健医療大, ²杏林大学保健学部健康福祉学科, ³徳島文理中学・高等学校, ⁴養護実践研究センター, ⁵大和郡山市立郡山南中学校, ⁶湘南医療大学, ⁷龍ヶ崎市立長山小学校, ⁸愛知みずほ大学短期大学部) : 学校救急看護のコアコンピテンシーの検討. 学校救急看護研究 11(1):81-85, 2018.

松友 紀和

講演

1. 松友紀和: フェントム実験の「い」—実験の意義—. 第34回日本核医学技術学会関東地方会総会, 東京, 2017年5月13日.
2. 松友紀和, 山本智朗: 体幹部SPECTにおける定量精度からみた散乱線補正係数の最適化. 日本放射線技術学会第71回東京支部春季学術大会, 東京, 2017年5月20日.
3. 松友紀和: 収集処理条件の考え方—心筋SPECTを中心に—. 第11回Good Job Conference in Niigata, 新潟, 2017年7月5日.
4. Matsutomo N: Validation of compressed sensing-based iterative reconstruction algorithm in dopamine transporter SPECT. 26th Digital Image Scientific Research Meeting in Mihara, Hiroshima, July 15th, 2017.
5. 松友紀和: これだけは押さえておきたいPETの基本. 第35回インフォーマルミーティング, 高崎, 2017年7月29日.
6. 松友紀和: SPECT画像再構成法の基本 —FBP法から圧縮センシングまで—. 第23回岡山技塾, 岡山, 2017年8月26日.
7. 松友紀和: JSNMT基礎講座(4) 英語論文作成のコツ. 第37回日本核医学技術学会総会学術大会, 横浜, 2017年10月5-7日.
8. 豊崎庄平, 松友紀和, 山本智朗, 佐藤英介: ¹²³I-FP-CIT イメージングにおけるイメージフュージョンを利用した体動補正の有用性. 第37回日本核医学技術学会総会学術大会, 横浜, 2017年10月5-7日.
9. Hirano A, Yamamoto T, Matsutomo N, Sato E: Chronological changing of radiopurity of ^{99m}Tc-exametazime using chromatography. The 7th Annual International ASNMT, Yokohama, October 6th, 2017.
10. 佐越美香, 松友紀和, 山本智朗, 佐藤英介: CT減弱補正においてSPECT画像とX線CT画像の位置ずれが骨SPECTの定量性に与える影響. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月20-22日.
11. 深谷香瑠, 松友紀和, 橋本雄幸, 山本智朗, 佐藤英介: ドパミントランスポータSPECTにおけるcompressed sensingを用いた短時間収集の試み. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月20-22日.
12. 清本龍正, 松友紀和, 山本智朗, 佐藤英介: アミロイドと脳血流の同時評価を目的とした2核種同時SPECT収集の基礎検討—画像再構成条件の最適化—. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月20-22日.
13. 松友紀和: 核医学実験の核心に迫る: コンピュータシミュレーション編 Prominence Processor. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月20-22日.
14. 松友紀和: 初学者必見! 臨床に活かせる脳血流定量法の

基本. 第64回群馬核医学研究会, 高崎, 2017年10月28日-11月5日.

15. 松友紀和: そこに診療放射線技師がいる理由. 第35回東京支部秋季学術大会, 東京, 2017年11月23日.
16. Matsutomo N: Effect of scintillation camera uniformity on artifact generation: a simulation study. 27th Digital Image Scientific Research Meeting in Mihara, Hiroshima, December 10th, 2017.
17. 松友紀和: デリバリPET施設の工夫. 第496回定例会東京核医学技術検討会, 東京, 2018年2月28日.

論文

1. Matsutomo N, Matsumoto S¹, Yamamoto T, Sato E (¹Department of Radiology, Kyorin University Hospital): Validation of a calibration method using the cross-calibration factor and system planar sensitivity in quantitative single-photon emission computed tomography imaging. Radiol Phys Technol. 10(4):439-445, 2017.
2. Matsutomo N, Fukunaga M¹, Onishi H², Yamamoto T (¹Kurashiki Central Hospital, ²Prefectural University of Hiroshima): Corneal Dose Reduction Using a Bismuth-coated Latex Shield over the Eyes During Brain SPECT/CT. J Nucl Med Technol. 45(3): 214-218, 2017.
3. 市川肇¹, 加藤豊大¹, 島田秀樹¹, 渡邊洋一¹, 三輪建太², 松友紀和, 三須義直³, 小野口昌久⁴ (¹豊橋市民病院, ²国際医療福祉大学, ³成田記念病院, ⁴金沢大) : 新しい骨シンチグラフィ評価用胸部ファントムを用いた検出能の評価. 核医学技術 37(3):229-238, 2017.
4. 三輪建太¹, 松友紀和, 市川肇² (¹国際医療大, ²豊橋市民病院) : 骨SPECT撮像の標準化に関するガイドライン 1.0. 核医学技術 37(4): 517-530, 2017.
5. 藤埜浩一¹, 櫻井実², 石黒雅伸³, 松友紀和, 中嶋真大⁴, 安部伸和⁵ (¹大阪大, ²日本医大, ³藤田保健大, ⁴岡山大, ⁵広島大) : SPECT/CTにおけるCTの適正使用に関するガイドライン. 核医学技術 37(4): 531-562, 2017.

著書

1. 松友紀和: 第3章 基本画像評価. 標準核医学画像評価. 大西英雄編著. 東京, オーム社, 2018. p.54-89.
2. 松友紀和: 第4章 総合画像評価. 標準核医学画像評価. 大西英雄編著. 東京, オーム社, 2018. p.94-117.

その他

1. 松友紀和: 滝内賞. 日本放射線技術学会, 2017年4月.

佐藤 英介

講演

1. Hakamata Y, Komi S, Moriguchi Y, Izawa S, Motomura Y, Sato E, Mizukami S, Kim Y, Hanakawa T, Inoue Y, Tagaya H: Higher daily cortisol concentration predicts enhanced functional connectivity between amygdala and hippocampus during emotional processing. 13th World Congress of Biological Psychiatry, Denmark, June 18th-22nd, 2017.
2. Hirano A, Yamamoto T, Matsutomo N, Sato E: Chronological changing of radiopurity of ^{99m}Tc-exametazime using chromatography. The 7th Annual International ASNMT, Yokohama, October 5th-7th, 2017.
3. 豊崎庄平, 松友紀和, 山本智朗, 佐藤英介: ¹²³I-FP-CIT イメージングにおけるイメージレジストレーションを利用した体動補正の有用性. 第37回日本核医学技術学会総

会学術大会, 横浜, 2017年10月5日-7日.

- 佐越美香, 松友紀和, 山本智朗, 佐藤英介: ^{123}I -MIBG 定量指標算出における散乱線推定ウィンドウの最適化. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月19-21日.
- 清本龍正, 松友紀和, 山本智朗, 佐藤英介: アミロイドと脳血流の同時評価を目的とした2核種同時SPECT収集の基礎検討—画像再構成条件の最適化—. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月19-21日.
- 深谷香瑠, 松友紀和, 橋本雄幸, 山本智朗, 佐藤英介: ドパミントランスポートSPECTにおけるCompressed Sensingを用いた短時間収集の試み. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島, 2017年10月19-21日.

論文

- Matsumoto N, Matsumoto S¹, Yamamoto T, Sato E (¹Department of Radiology, Kyorin University Hospital): Validation of a calibration method using the cross-calibration factor and system planar sensitivity in quantitative single-photon emission computed tomography imaging. Radiol Phys Technol. 10(4):439-445, 2017.
- Hakamata Y^{1,2}, Komi S³, Moriguchi Y⁴, Izawa S⁵, Motomura Y¹, Sato E, Mizukami S², Kim Y¹, Hanakawa T⁴, Inoue Y², Tagaya H² (¹National Institute of Mental Health, National Center of Neurology and Psychiatry, ²Kitasato University, ³Kitasato University Hospital, ⁴Integrative Brain Imaging Center, National Center of Neurology and Psychiatry, ⁵Occupational Stress Research Group, National Institute of Occupational Safety and Health): Amygdala-centred functional connectivity affects daily cortisol concentrations: a putative link with anxiety. Sci Rep. 7(1):8313, 2017.
- Sato E, Zaboronok A¹, Yamamoto T², Nakai K³, Taskaev S^{4,5}, Volkova O^{5,6}, Mechetina L^{5,6}, Taranin A^{5,6}, Kanygin V^{4,5,7}, Isobe T¹, Mathis BJ¹, Matsumura A¹ (¹University of Tsukuba, ²Yokohama City University, ³Ibaraki Prefectural University of Health Sciences, ⁴Budker Institute of Nuclear Physics, ⁵Novosibirsk State University, ⁶Institute of Molecular and Cell Biology, ⁷Novosibirsk State Medical University): Radiobiological response of U251MG, CHO-K1 and V79 cell lines to accelerator-based boron neutron capture therapy. J Radiat Res. 59(2):101-107, 2018.

著書

- 佐藤英介 (分担執筆): 基礎医学大要. 診療放射線技師ブルー・ノート 基礎編 4th edition. 福士政広編集. 東京, メジカルビュー社, 2017. p.1-256.
- 佐藤英介 (分担執筆): Part1 MR 5章 撮影条件 (パラメータ設定) / 7章 Preparation pulse / 8章 造影剤について / 9章 MRA / 10章 アーチファクト / 13章 各部位におけるMR検査. MR・超音波・眼底 基礎知識図解ノート 第2版. 磯辺智範編集. 東京, 金原出版株式会社, 2018. p.87-93 / p.133-150 / p.151-173 / p.174-194 / p.195-220 / p.274-316 / p.218-224.
- 佐藤英介 (分担執筆): 診療放射線技師 第69回国家試験 (2017年) 対照表ダウンロードサービス 基礎医学大要. 診療放射線技師ブルー・ノート 基礎編 4th edition. 福士政広編集. 東京, メジカルビュー社, 2018. p.1-3.

森 美加

講演

- Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Yamada M, Senoo A: 臨床用MR装置を用いた出土木材非破壊的年輪測定のための超高解像度MRI (uHR-MRI) の基礎的検討. 第45回日本磁気共鳴医学会大会, 宇都宮, 2017年9月14-16日.
- 石出桃子, 森美加, 芝生春菜, 小林邦典, 久原重英: SSFSE法における血流アーチファクトの検討. 第33回日本診療放射線技師学術大会, 函館, 2017年9月22日.
- 高野実幸, 芝生春菜, 森美加: マンモグラフィ用可変型練習ファントムを用いた練習効果および描出能の検討. 第33回日本診療放射線技師学術大会, 函館, 2017年9月22日.
- Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Yamada M, Senoo A: Feasibility study of visualizing annual ring structures of dried wood with Ultra-Short Echo Time (UTE) magnetic resonance imaging (MRI) for chronological measurements. ESMRMB Congress 2017, Spain, 2017年10月19-21日.
- Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Yamada M, Senoo A: Feasibility study of ultra-high-resolution magnetic resonance imaging (uHR-MRI) for non-destructive tree-ring measurement of archaeological wood. ESMRMB Congress 2017, Spain, 2017年10月19-21日.
- 森美加: あなたや大切な人を乳がんから守る～乳がん検診最新事情. 東京都板橋区立中学校PTA連合会, 東京, 2017年11月18日.
- 森美加: 映画で学ぶエックス線撮影の基礎Part2. 東京都診療放射線技師会13地区・多摩放射線技師連合会合同研修会, 国分寺, 2017年12月8日.

石川 純也

講演

- 石川純也: 放射線照射した骨髄細胞における酸化ストレス応答因子とクローン増殖能の変化. 日本保健物理学会第50回研究発表会, 大分, 2017年6月28-30日.
- 服部隆利, 横山須美, 佐々木道也, 赤羽恵一, 阿南徹, 石川純也, 荻野晴之, 酒井一夫, 中村年孝, 橋本周, 保田浩志: 日本保健物理学会国際対応委員会活動報告. 日本保健物理学会第50回研究発表会, 大分, 2017年6月28-30日.
- 石川純也, 高星徳寿, 松村青映, 望月善乃介: マウス造血幹/前駆細胞のクローン増殖能と酸化ストレス応答因子の短期的解析. 若手放射線生物学研究会 平成29年度専門研究会, 東京, 2017年9月2-3日.
- 石川純也, 高星徳寿, 松村青映, 望月善乃介: 放射線照射したマウス造血幹/前駆細胞におけるクローン増殖能と酸化ストレス応答因子の解析. 日本放射線影響学会第60回大会, 千葉, 2017年10月25-28日.
- 石川純也: 放射線ばく露造血幹/前駆細胞における酸化-抗酸化バランスの分析. 第46回杏林医学会, 三鷹, 2017年11月18日.
- Ishikawa J: Reconsideration for the target of hematopoietic reconstruction in radiation casualties. The 8th Annual Meeting of the International Society of Radiation Neurobiology, Tsukuba, February 9th - 10th, 2018.

論文

- 石川純也, 藤通有希¹, 中山貴文², 吉野浩教³ (¹電力中央研究所, ²茨城大, ³弘前大): 平成29年度若手放射線

生物学会専門研究会印象記．放射線生物研究
52:316-320, 2017.

その他

1. Ishikawa J : Young Investigator Award, The 8th Annual Meeting of the International Society of Radiation Neurobiology, Tsukuba, February 9th - 10th, 2018.

坂本 岳士

講演

1. 坂本岳士:放射線治療における生産性向上を目的とした, フラットニングフィルターを外した照射方法の基礎的研究. 第33回日本診療放射線技師学会大会, 函館, 2017年9月22-24日.
2. 湯田紗織, 岩本敏彦, 首藤淳, 坂本岳士, 武内啓誌, 中西章仁:腹部血管領域でのDynamic Density最適化処理を施したDA撮影法の有用性について. 第45回日本放射線技術学会秋季学会大会, 広島, 2017年10月19-21日.
3. Iwamoto T, Yuda S, Sakamoto T, Takeuchi H, Shudo J, Nakanishi A : Utility of the digital angiography method that gave the dynamic density optimization processing in the abdominal angiography. European Congress of Radiology 2018, Austria, 2018年2月28日-3月4日.

論文

1. 高久啓志¹, 坂本岳士, 白川佑也¹, 安達卓哉¹, 賀山恒², 高橋正勝¹, 市川浩三¹ (¹杏林大学医学部附属病院放射線部, ²杏林大学医学部附属病院放射線部(現医療法人社団和久慈会鳥海ペインクリニック)) : 胸部CTにおける息止めできない患者のスキャンパラメータの最適化. 日本放射線技術学会誌 74(2): 133-139, 2018.